SEKISUI

セキスイエコキュート

ユーリッチ®

取扱説明書

自然冷媒CO_2家庭用ヒートポンプ給湯機
460L 1 缶式多機能タイプ

システム形式	CTF-46MK1 460L 1缶式多機能タイプ
貯湯ユニット	TFT-46MK1
ヒートポンプユニット	CFH-6011T
台所リモコン	CFR-MDH11AD-W
浴室リモコン	CFR-BDH11AD-W
床暖房リモコン(別売品)	DFC-W01

- このたびは、自然冷媒 CO_2 家庭用ヒートポンプ給湯機をお買い上げいただきまことにありがとうございます。
- この取扱説明書には、使用上の注意事項を記載しております。正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずお読みください。そのあとは、「保証書」と一緒に必要になったときにいつでもお読みになれるよう大切に保管してください。
- お買い上げの機種の形式は、「保証書」の表示または貯湯ユニットの銘板ラベルをご確認ください。

もくじ

はじめに

エコキュートの上手な使い方 ・・・・・・・・・・・・・・ 1
安全上のご注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
ご使用にあたってのお願いとご注意 ・・・・・・・・・・ 8
製品構成と各部のなまえ ・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
台所リモコンの時刻を合わせる ・・・・・・・・・・・・・18
床暖房リモコンの時刻を合わせる ・・・・・・・・・・・・19

給湯とおふろの使い方

お湯・シャワーを使う ・・・・・・・・・・・・・・・・・20
お湯を使う ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21
お湯がたりないとき ・・・・・・・・・・・・・・・・・・22
今日の湯増しを休止する（その日だけ有効な機能）・・・24
ふろ運転機能の使い方（こんなときは）・・・・・・・・・25
ふろ自動運転 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・25
ふろ自動運転（おふろを沸かす）・・・・・・・・・・・・27
おふろの温度を設定する ・・・・・・・・・・・・・・・・29
おふろの量を設定する ・・・・・・・・・・・・・・・・・30
おふろの湯温をあげる（追いだき）・・・・・・・・・・・31
おふろの湯温をあげる（高温さし湯）・・・・・・・・・・32
おふろの湯温をさげる（さし水）・・・・・・・・・・・・33
浴槽のお湯をふやす（たし湯）・・・・・・・・・・・・・34
貯湯量表示について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・35
通話をする ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・36
通話音量を変える ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・37

床暖房の使い方

床暖房運転のしかた ・・・・・・・・・・・・・・・・・・38
床暖房温度の設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・40
運転面を切り替える ・・・・・・・・・・・・・・・・・・42
タイマー運転のしかた ・・・・・・・・・・・・・・・・・43
ロック機能について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・47

メニュースイッチによる設定

設定項目と設定方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・48
運転モードについて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・50
運転モードの変更 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・51
ナビモード ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・53
湯はりの予約（ふろ予約）・・・・・・・・・・・・・・・55
休止設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・57
リモコンの自動消灯設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・59
オプション設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・61
電力契約の設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・65

このようなときは

冬期の凍結予防について ・・・・・・・・・・・・・・・・66
長期間お湯を使用しないとき ・・・・・・・・・・・・・・69
次にご使用になるとき（タンクに水がないとき）・・・・71
非常用取水栓の使い方 ・・・・・・・・・・・・・・・・・73
停電したときや断水・水道工事がおこなわれるとき ・・74
定期点検（有料）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・75
お手入れと日常点検 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・77
よくあるご質問 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・83
故障かなと思ったら ・・・・・・・・・・・・・・・・・・84
仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・90
保証とアフターサービス ・・・・・・・・・・・・・・・・92

エコキュートの上手な使い方

より省エネで経済的にご使用いただくためのポイント

エコキュートは、過去のお湯の使用量を学習してお湯を沸かしますが、リモコンの設定により、多めに沸かすことも、少なめに沸かすこともできます。**1**～**5**を参考に、必要な量だけお湯を沸かし、上手に使い切ることが省エネ・省コストのポイントです。

1 お買い上げ時の運転モードの設定は、最も省エネとなる「おまかせ省エネ」モードになっています。

- お湯がたりなくなりそうなときには、リモコンの タンク湯増し を押して必要な湯量を確保してください。（→ 22 ページ）
- ひんぱんにお湯がたりなくなる場合は、運転モードを「おまかせ」に変更してお使いください。（→ 51 ページ）

2 今日の使うお湯の量が十分な場合は、 今日の湯増し休止 を押して昼間の湯増し運転を休止することができます。（→ 24 ページ）

3 ぬるくなったおふろの湯温をあげるときは、「追いだき」 追いだき 高温さし湯（3秒押し） よりも「高温さし湯」（ 追いだき 高温さし湯（3秒押し） 3 秒以上の長押し）のほうが省エネになります。（→ 32 ページ）

4 リモコンの表示を消灯することにより、待機時の消費電力を減らせます。（→ 59 ページ）

5 旅行などで不在となるとき（～ 15 日間）には、「休止設定」で沸上げを休止してください。（→ 57 ページ）

- 16 日間以上休止するときは、漏電ブレーカの電源レバーを「OFF」にして貯湯ユニットおよびヒートポンプユニットの水を抜いてください。（→ 69 ページ）

安全上のご注意

●ここに示した注意事項は、お使いになる方や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示	表示の意味
⚠ 警告	“取り扱いを誤った場合､使用者が死亡または重傷（※1）を負うことが想定されること”を示します。
⚠ 注意	“取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷（※2）を負うことが想定されるか、または物的損害（※3）の発生が想定されること”を示します。

※1 重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
※2 軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。
※3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

●本文中で使われる図記号の意味は次のとおりです。

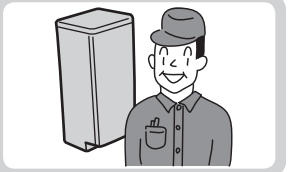
図記号	図記号の意味	図記号	図記号の意味	図記号	図記号の意味
⃠	禁止指示に従う	⏚	アース工事実施		やけど注意
❗	指示に従う		分解禁止		

据付時・移設時・修理時のご注意

⚠ 警告

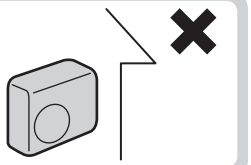
❗ 専用業者

●据え付けは販売店または工事店に依頼する
ご自分で据付工事をされ不備があると、火災・感電・水漏れの原因になります。



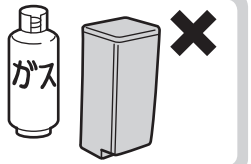
⃠ 禁止

●ヒートポンプユニットは屋内に設置しない
万一冷媒が漏れると、酸欠により死亡または重傷事故（脳機能障害等）に至ることがあります。



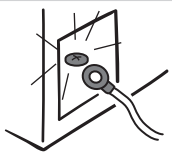
⃠ 禁止

●可燃性ガスや引火物の近くに設置しない
発火や火災になることがあります。



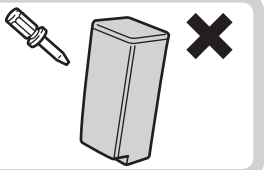
⏚ アース工事

●アース工事を確認する
アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。工事に不備があると、故障や漏電のとき感電の原因になります。



⃠ 禁止

●ご自分での修理・改造や再設置をしない
感電したり、異常動作してけがをすることがあります。



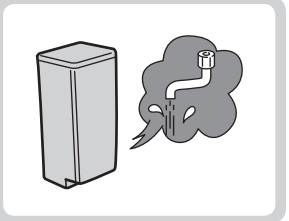
安全上のご注意

据付時・移設時・修理時のご注意

⚠ 注意

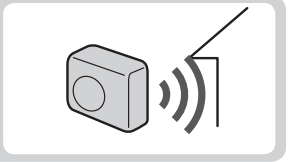
上水道

●水道水を使用する（温泉水・井戸水は使用不可）
水道水を使用しないと、故障や水漏れの原因になります。
また、水道水であっても塩分、石灰分、その他不純物が多く含まれていたり、酸性水質の地域ではエコキュートの使用を避けてください。
水経路の詰まり、腐食等により不具合となる場合があります。



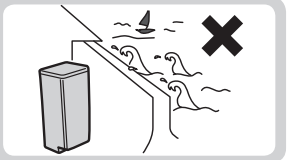
確認

●設置は隣家に配慮した場所を選ぶ
運転音や振動が伝わりにくい場所、隣家の迷惑にならない場所をお選びください。



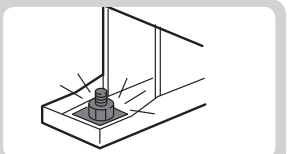
禁止

●塩害のおそれのある海岸付近や腐食性ガス発生のおそれのある温泉地等には設置しない
機器故障の原因になります。



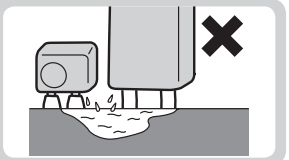
確認

●貯湯ユニット脚部がアンカーボルトで固定されているか確認する
脚部前方の穴側で固定されていることを確認してください。
U 溝側で固定されていると、地震などで倒れるおそれがあります。



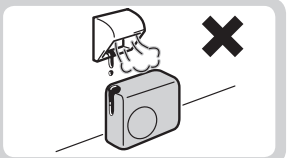
確認

●床面が防水・排水処理されているか確認する
水漏れが起きたとき、大きな被害の原因になります。



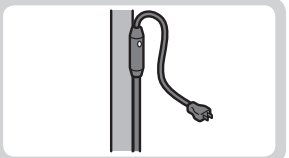
禁止

●キッチンの換気扇の近くには設置しない
油分の付着や排気により、性能低下や機器故障の原因になります。



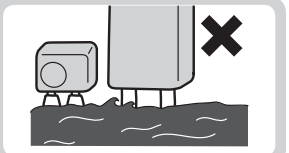
確認

●配管の凍結防止対策を確認する
凍結すると機器が破損したり配管が破裂し、やけどや水漏れをすることがあります。



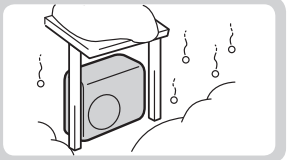
禁止

●冠水するところには設置しない
冠水すると漏電や感電することがあります。



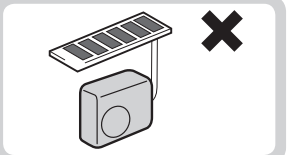
確認

●積雪地域では防雪カバー、屋根などの防雪対策をする
機器に積雪すると誤作動や故障の原因になります。
吹雪でヒートポンプユニットに雪が付着するような場所に設置しないでください。



禁止

●太陽熱温水器には接続しない
機器故障の原因や異常運転によりやけどをすることがあります。



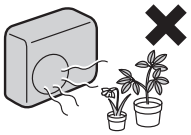
安全上のご注意

据付時・移設時・修理時のご注意

⚠ 注意

禁止

●**動植物に直接風が当たる場所に設置しない**
動植物に悪影響をおよぼす原因になることがあります。



確認

●**シャワー水栓は必ずサーモスタット付き湯水混合栓を使用する**
サーモスタット付き湯水混合栓を使用しないと、やけどの原因になります。

使用時のご注意

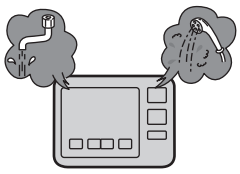
⚠ 警告

確認

●**入浴するときやシャワー使用時は、湯温を確認する**
●**お湯を使う前には、湯温を確認する**
やけどをすることがあります。

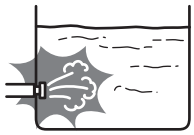
確認

●**給湯温度を変更するときは、他の湯水混合栓の使用状況を確認する**
やけどをすることがあります。



確認

●**自動保温中、追いだきおよび高温さし湯のときに、浴槽循環口から熱いお湯が出るので、入浴するときは浴槽循環口から離れる**
●**おふろにお湯がない場合は、追いだきスイッチを押さない**
やけどをすることがあります。

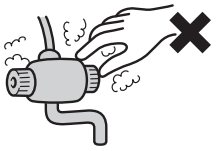


禁止

●**浴槽循環口のカバーをはずしたまま使用しない**
●**子供の入浴に注意する**
浴槽循環口付近で、もぐらないでください。特に小さなお子様には注意してください。思わぬ事故の原因になります。

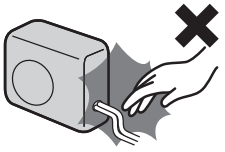
やけど注意

●**給湯時は湯水混合栓本体に手を触れない**
やけどをすることがあります。



やけど注意

●**ヒートポンプ配管および接続口には手を触れない**
やけどをすることがあります。



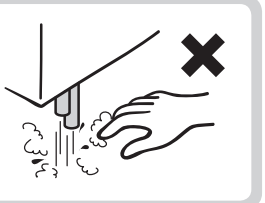
安全上のご注意

使用時のご注意

⚠ 警告

やけど注意

●**排水時および取水時にはお湯や排水ホースに手を触れない**
●**貯湯ユニットの内部配管および凍結防止ヒータには手を触れない**
やけどをすることがあります。

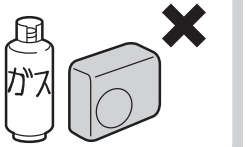


やけど注意

●**逃し弁点検時は内部の配管に手を触れない**
やけどをすることがあります。

禁止

●**近くに可燃性ガスや引火物を置かない**
発火や火災になることがあります。

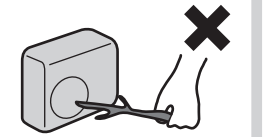


禁止

●**ヒートポンプユニットの熱交換器のフィンには触らない**
フィンでけがをすることがあります。

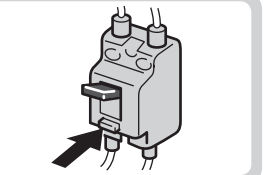
禁止

●**ヒートポンプユニットの空気吸込口・吹出口に棒や手を入れない**
内部でファンが回転していますので、けがをすることがあります。



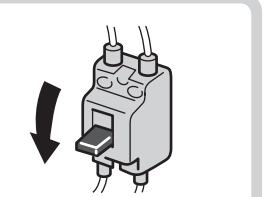
動作確認

●**漏電ブレーカのテストボタンを押して、動作を確認する**
故障のまま使用すると、感電することがあります。
●**漏電ブレーカを操作するときは、ぬれた手でおこなわない**
感電することがあります。



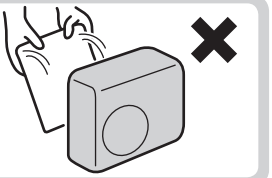
確認

●**異常時は漏電ブレーカの電源レバーを下げて電源を切る**
異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因になります。



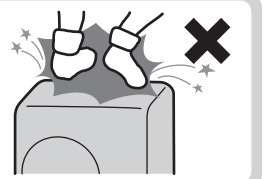
禁止

●**取りはずす指定のないカバーは取りはずさない**
高温部によるやけどや感電することがあります。



禁止

●**ヒートポンプユニットや貯湯ユニットの上に乗ったり、配管に力を加えない**
機器が転倒したり、配管が破損して、死亡または重傷事故（大けが・大やけど等）に至ることがあります。特に小さなお子様には注意してください。



安全上のご注意

使用時のご注意

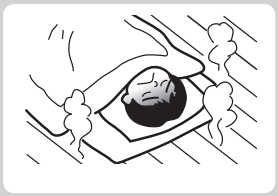
⚠ 警告

禁止

●低温やけどに注意する

床暖房パネルの上で長時間寝ていたり、床暖房の温度を高くして触れていると、低温やけどをすることがあります。
特に次のような方が使用する場合は、まわりの人が注意してあげることが必要です。

・乳幼児、お年寄り、病人など、自分の意志で体を動かせない方。
・深酒、疲労の激しいときや眠気を誘う薬（風邪薬など）を服用された方。
・皮膚の弱い方や皮膚感覚の弱い方。

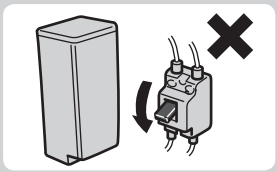


⚠ 注意

禁止

●電源を「OFF」にしない

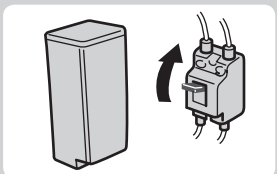
冬期は凍結して機器が破損することがあります。電源を「OFF」にする場合は、貯湯ユニットとヒートポンプユニットの排水をしてください。



満水確認

●貯湯ユニット・ヒートポンプユニットを満水にしてから電源を入れる

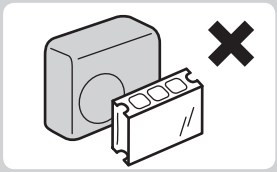
満水にしないで電源を入れると故障の原因になります。



禁止

●ヒートポンプユニットの周囲に通風の妨げになるものを置かない

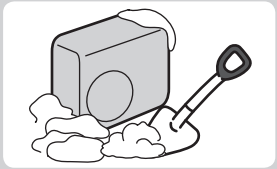
通風が妨げられると性能低下や故障の原因になります。



確認

●積雪時には除雪をする

ヒートポンプユニットや貯湯ユニットの周囲に積雪すると、誤作動や故障の原因になります。

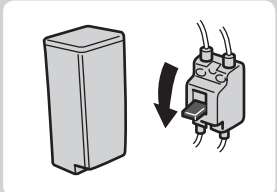


電源確認

●旅行などの不在で使用しない場合は、1 ～ 15 日間の沸上げを休止できます

●16 日間以上使用しないときは、漏電ブレーカの電源レバーを下げて電源を切ってから、貯湯ユニットとヒートポンプユニットの排水をする

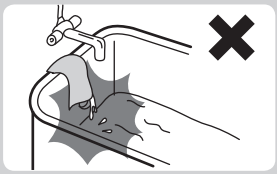
排水をしないと、水質が劣化することがあります。また冬期は凍結して機器が破損することがあります。



禁止

●浴槽循環口はふさがない

ふさぐと誤作動や故障の原因になります。



安全上のご注意

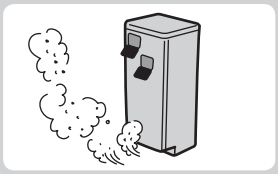
使用時のご注意

⚠ 注意

カバーは閉

●貯湯ユニットの操作カバーは閉じる

開けたままにしておくと雨水やゴミが入り、漏電や感電することがあります。



禁止

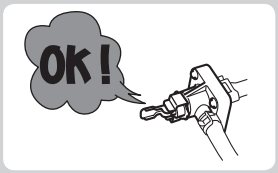
●硫黄・酸・アルカリを含んだ入浴剤や洗剤を使用しない

貯湯ユニットや配管が故障し、水漏れすることがあります。入浴剤や洗剤を使用するときは、その注意書きにしたがってください。

点検

●逃し弁の点検をする

正しく作動しないと、貯湯ユニットや配管が破損したり、逃し弁から水漏れしたりすることがあります。

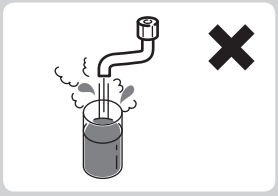


禁止

●そのまま飲用に用いない

長期間のご使用により、タンク内に水アカがたまったり、配管材料の劣化により、水質が変わることがあります。飲用される場合は次の点に注意し、必ず一度やかんなどで沸騰させてからにしてください。

・必ず水道水を使用してください。
・熱いお湯が出てくるまでの水（配管内にたまっていた水）は、雑用水としてお使いください。
・固形物や変色・にごり・悪臭などがあった場合は、飲用には使用せずに、直ちに点検の依頼をおこなってください。



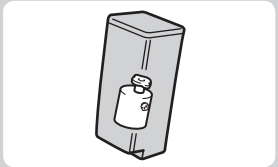
点検

●循環液（不凍液）の交換

循環液（不凍液）は３年に１度、指定の循環液（不凍液）に交換してください。
交換せずに使用された場合は凍結防止と防錆の効果がなくなり、機器や床暖房が破損するおそれがあります。
交換の際は、販売店へご相談ください。

●循環液（不凍液：長寿命タイプ）の交換

循環液（不凍液）は 10 年に１度、指定の循環液（不凍液）に交換してください。
交換せずに使用された場合は凍結防止と防錆の効果がなくなり、機器や床暖房が破損するおそれがあります。
交換の際は、販売店へご相談ください。



●防錆循環液（エコスタミナ）の補充

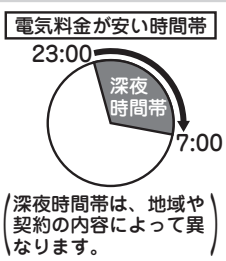
防錆循環液(エコスタミナ)は３年に１度､補充してください。
補充せずに使用された場合は防錆の効果がなくなり、機器や床暖房が破損するおそれがあります。
また、凍結のおそれのある地域では使用しないでください。
破損や故障の原因になります。
補充の際は、販売店へご相談ください。

ご使用にあたってのお願いとご注意

お願い

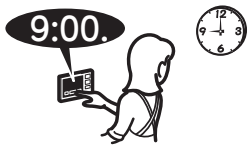
●深夜時間帯のご使用について

この給湯機は、おもに深夜時間帯にお湯を沸かしますので、冬期などはこの時間帯に給湯やふろ運転や床暖房運転をおこなうと、不足分を昼間に湯増し運転をおこない電気代が高くなる場合があります。



●リモコンの時刻を確認する

リモコンの時刻がずれている場合は、台所リモコンで時刻を合わせてください。
時刻がずれていると、電気料金が高くなる場合があります。

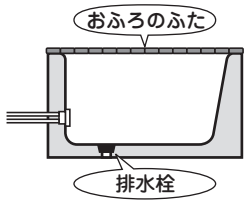


●お湯を上手に使う

1日に使用できるお湯の量は限りがあります。
流しっぱなしで使用せず、こまめに止めましょう。
・シャワーは止めながら（髪を洗っているときなどは止めましょう）
・洗いものをするときは止めながら

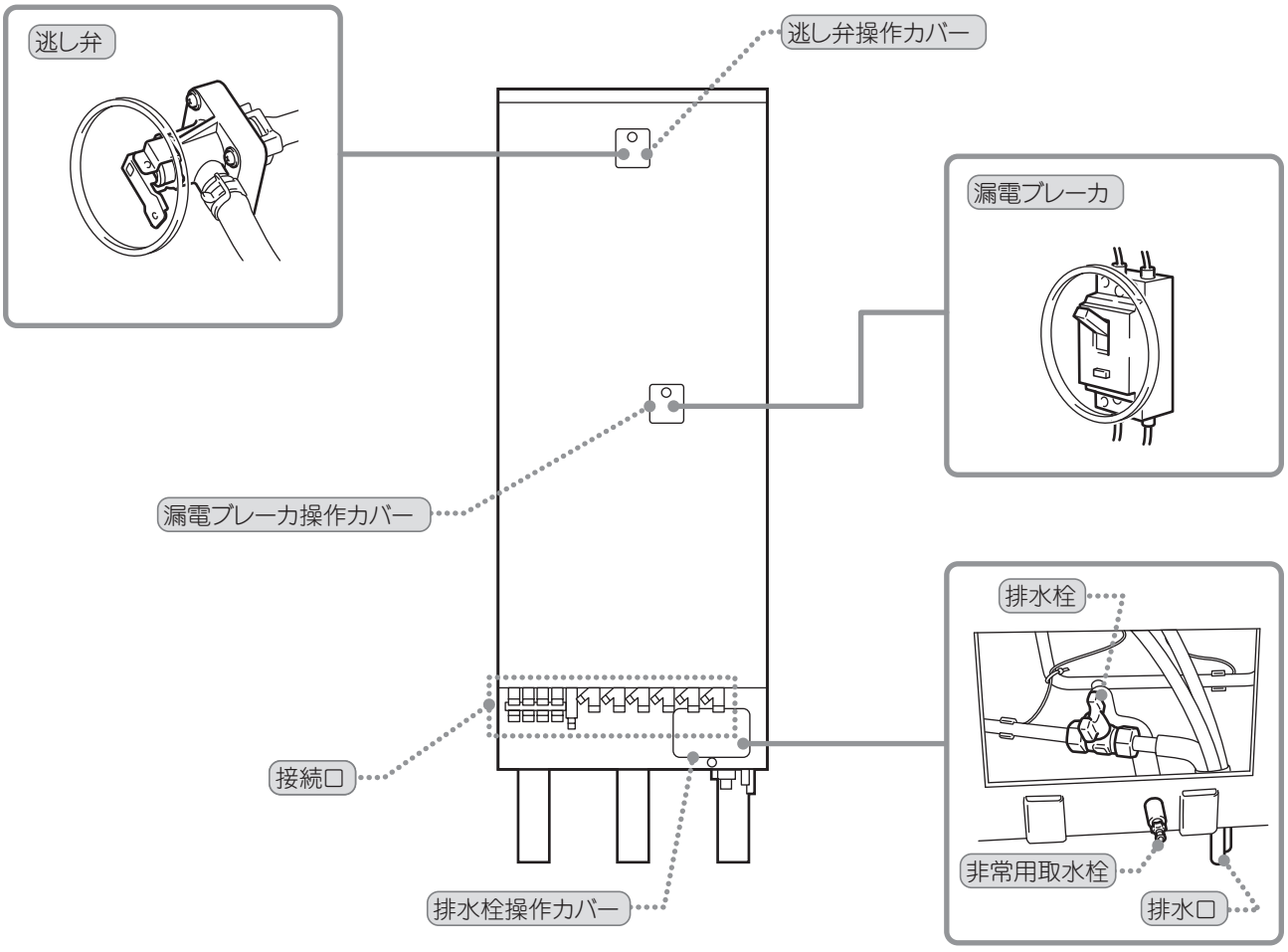
●湯はりをするときのお願い

湯はりをするときは次のことを確認してください。
・おふろの排水栓を閉じる
・おふろのふたをする（お湯を冷めにくくするため）

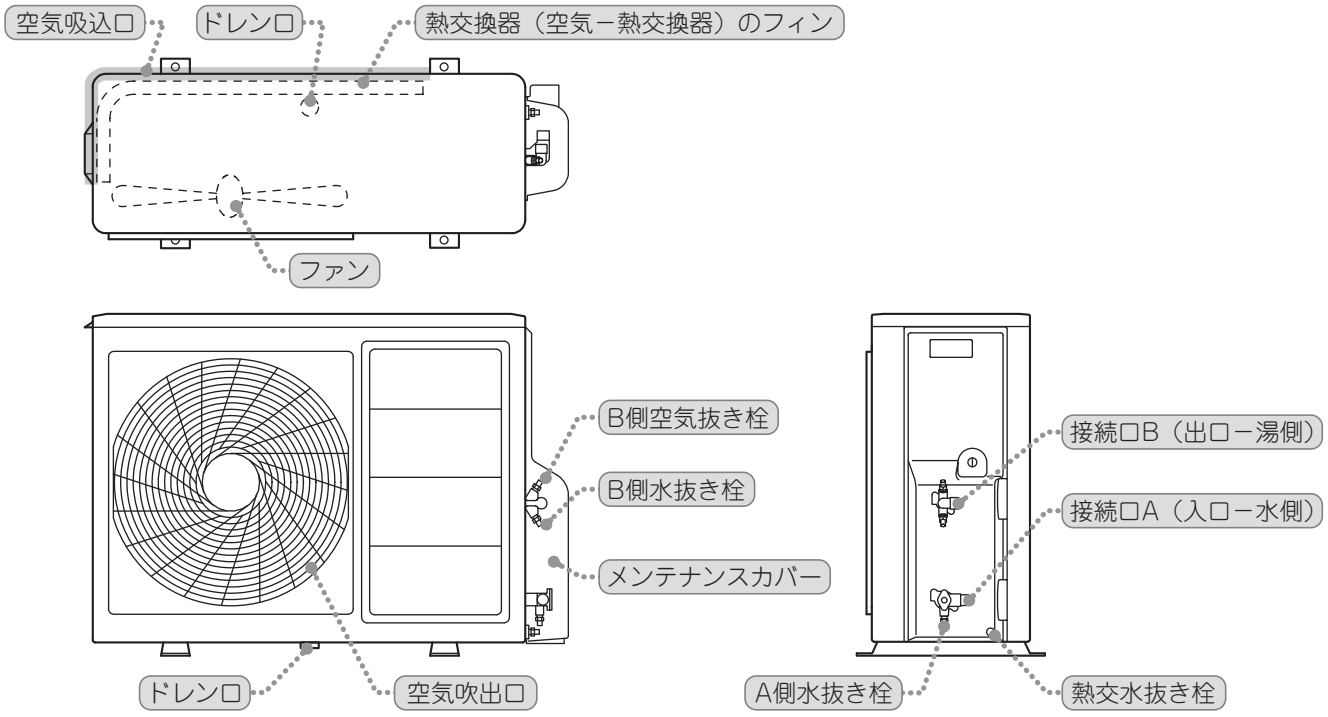


製品構成と各部のなまえ

貯湯ユニット

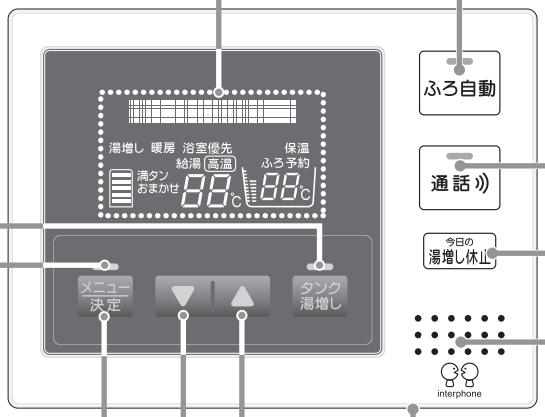


ヒートポンプユニット



製品構成と各部のなまえ

台所リモコン／増設リモコン



表示部

・表示部（→13ページ）
・一定時間スイッチ操作や給湯しないときは、自動的に消灯します。（スイッチ操作や給湯をすると、再び表示します。）お買い上げ時の設定では、1分で消灯します。（→59ページ）

ふろ自動スイッチ／ランプ

・おふろにお湯をはり、完了後は保温とたし湯を自動でおこないます。（→25ページ）

通話スイッチ／ランプ

・浴室リモコンと通話ができます。（→36ページ）
※増設リモコンには 通話 スイッチはありません。

タンク湯増しスイッチ／ランプ

・貯湯タンクのお湯を湯増しします。（→22ページ）

今日の湯増し休止スイッチ

・今日の昼間の湯増し運転を休止することができます。（→24ページ）
※増設リモコンには 今日の湯増し休止 スイッチはありません。

表示消灯ランプ

・表示部が消灯中に点灯します。（→59ページ）

▼／▲スイッチ

・給湯温度を変更します。（→21ページ）
・選んだ設定の内容を変更します。

マイク

※増設リモコンにはマイクはありません。

スピーカー

メニュー／決定スイッチ

・メニューの設定や情報を見ることができます。（→48ページ）

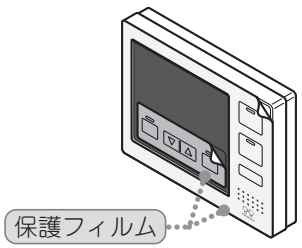
1. **運転モードの変更**（→51ページ）
   「運転モード」を決定した後、「ふろ保温」の種類の選択と「ふろ保温時間」を設定します。
2. **ナビモード**　（→53ページ）
   「使用可能湯量」
   「1週間使用量」
   「保温残り時間」
   「サービス店 TEL」の情報を表示します。
3. **ふろ予約の設定**　（→55ページ）
   入浴できる時刻を設定します。
4. **休止設定**　（→57ページ）
   旅行などの不在で使用しないとき、1～15日間の沸上げを休止できます。
5. **現在時刻設定**　（→18ページ）
   現在時刻を設定します。
6. **自動消灯設定**　（→59ページ）
   表示の自動消灯／常時点灯の設定をします。

メニュー／決定スイッチ 3秒以上長押し

・オプション設定の選択ができます。（→49、61ページ）

お知らせ

・リモコンには保護フィルムが貼ってあります。必要に応じてはがしてください。

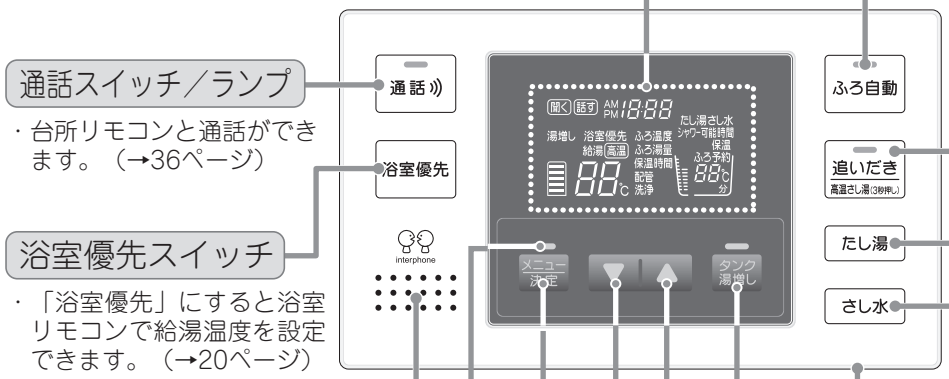


お願い

●台所リモコン・増設リモコンは水のかからない所に取り付け、水をかけないでください。
防水タイプではありませんので、故障の原因になります。

製品構成と各部のなまえ

浴室リモコン



表示部

・表示部（→14ページ）
・一定時間スイッチ操作や給湯しないときは、自動的に消灯します。（スイッチ操作や給湯をすると、再び表示します。）お買い上げ時の設定では、1分で消灯します。（→59ページ）

ふろ自動スイッチ／ランプ

・おふろにお湯をはり、完了後は保温とたし湯を自動でおこないます。（→25ページ）

追いだきスイッチ／ランプ

・おふろのお湯をあつくします。（→31、32ページ）

通話スイッチ／ランプ

・台所リモコンと通話ができます。（→36ページ）

浴室優先スイッチ

・「浴室優先」にすると浴室リモコンで給湯温度を設定できます。（→20ページ）

たし湯スイッチ

・おふろにお湯をたします。（→34ページ）

スピーカー

マイク

表示消灯ランプ

・表示部が消灯中に点灯します。（→59ページ）

さし水スイッチ（ふろ配管洗浄）

・おふろのお湯をぬるくします。（→33ページ）
・スイッチを3秒以上長押しすると、ふろ配管に水（お湯）を流してふろ配管を洗浄します。（→80ページ）

メニュー／決定スイッチ

・メニューの設定や情報を見ることができます。（→48ページ）

1. **ふろ温度の設定**
   おふろの湯はり温度を設定します。
2. **ふろ湯量の設定**（→30ページ）
   おふろの量を設定します。
3. **保温時間の設定**
   ふろ自動運転の保温時間を設定します。
4. **シャワー可能時間**
   シャワーが使える時間の目安を表示します。

タンク湯増しスイッチ／ランプ

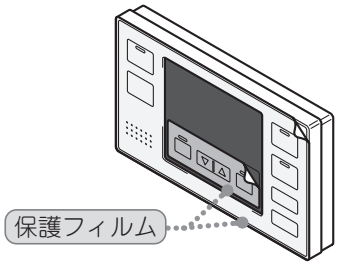
・貯湯タンクのお湯を湯増しします。（→22ページ）

▼／▲スイッチ

・給湯温度を変更します。（「浴室優先」点灯時）（→20ページ）
・ふろ温度を変更します。（「浴室優先」消灯時）（→29ページ）
・選んだ設定の内容を変更します。

お知らせ

・リモコンには保護フィルムが貼ってあります。必要に応じてはがしてください。



お願い

●浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。
故障の原因になります。

製品構成と各部のなまえ

床暖房リモコン

運転ランプ

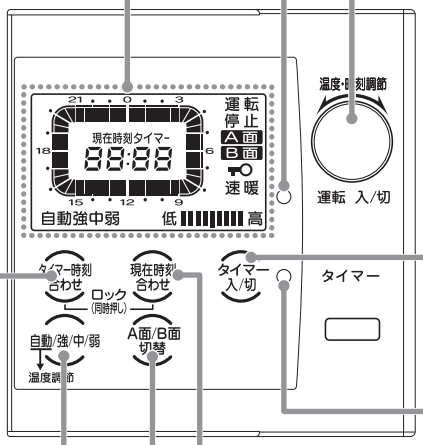
・床暖房運転中に緑色に点灯します。
速暖運転中は、赤色に点灯します。
速暖運転は、オプション設定で設定します。
（→49、61、63ページ）
・貯湯量不足で床暖房を中断しているときは
緑色で点滅します。

表示部

・現在の状態やタイマー運転の時間
帯などを表示します。
（→15ページ）

運転入／切スイッチ、ダイヤル

運転入／切スイッチ
・床暖房の運転･停止をします。
（→38ページ）
ダイヤル
・床暖房の温度を調節します。
（→40ページ）
・現在時刻、タイマー運転の時間帯を設定し
ます。（→19、45ページ）



タイマー時刻合わせスイッチ

・タイマー運転の時間帯を設定します。
（→45ページ）

タイマー入／切スイッチ

・タイマー運転の入･切を切り替えます。（→43ページ）

タイマーランプ

・タイマー予約中に点灯します。
（→43ページ）

自動／強／中／弱スイッチ

・床暖房の温度設定の切り替えや温度
調節をします。（→40ページ）

現在時刻合わせスイッチ

・現在時刻を設定します。
（→19ページ）

A面／B面切替スイッチ

・床暖房を運転する面を切り替えます。
（→42ページ）

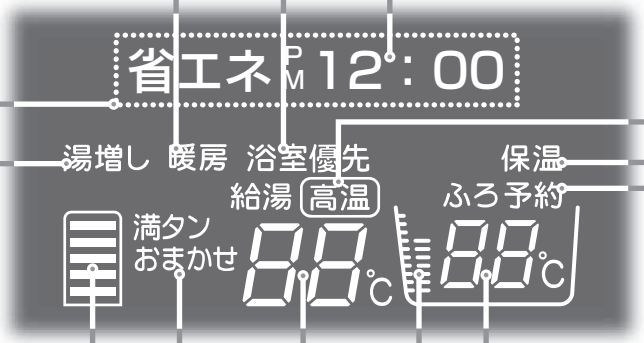
お願い

●床暖房リモコンに水をかけないでください。
防水タイプではありませんので、故障の原因になります。

製品構成と各部のなまえ

表示部（台所リモコン／増設リモコン）

○表示部は説明のため全点灯状態にしてあります。
（ただし、各種表示部は一部点灯状態です。）



浴室優先表示
・浴室リモコンに給湯温度変更の優先権があるときに表示します。

暖房表示
・床暖房運転中に表示します。
・貯湯量不足で床暖房を中断しているときは点滅します。
（→39ページ）

各種表示
・次の項目を表示します。
・運転モード
・メニュー項目
・ナビモード項目
・オプション設定項目
・休止日数
・通話中の状態など

湯増し表示
・ヒートポンプユニットの沸上げ運転中に表示します。

貯湯量表示
・貯湯タンク内のお湯の量の目安を表示します。

運転モード表示
・現在の運転モードを表示します。

給湯温度表示
・給湯の設定温度を表示します。

時刻表示
・現在時刻を表示します。

高温表示
・給湯設定温度が60℃のときに表示します。

保温表示
・ふろ保温中に表示します。

ふろ予約表示
・ふろ予約中に表示します。

ふろ温度表示
・ふろ設定温度を表示します。

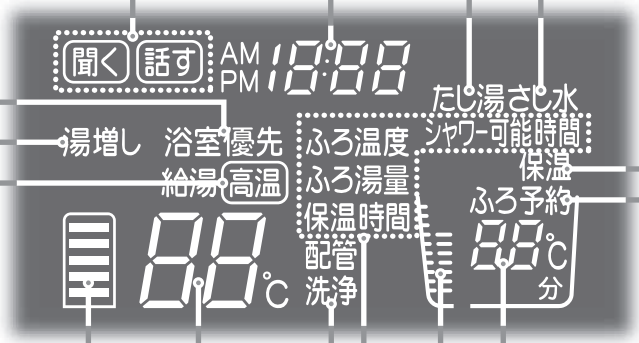
ふろ注湯表示
・おふろに注湯しているときは、ふろ注湯表示バーが順番に点灯します。

貯湯量表示（約50℃以上のお湯の量）	（点滅）					
貯湯量（目安）	50L未満	50L以上	100L以上	150L以上	200L以上	300L以上

製品構成と各部のなまえ

表示部（浴室リモコン）

○表示部は説明のため全点灯状態にしてあります。



時　刻　表　示
・現在時刻を表示します。

通話中状態表示
・通話中の状態を表示します。

浴室優先表示
・浴室リモコンに給湯温度変更の優先権があるときに表示します。

湯増し表示
・ヒートポンプユニットの沸上げ運転中に表示します。

高　温　表　示
・給湯設定温度が60℃のときに表示します。

貯　湯　量　表　示
・貯湯タンク内のお湯の量の目安を表示します。

給湯温度表示
・給湯の設定温度を表示します。

配管洗浄表示
・配管洗浄中に表示します。

メニュー表示
・各種メニューを表示します。

たし湯表示
・たし湯中に表示します。

さし水表示
・さし水中に表示します。

保　温　表　示
・ふろ保温中に表示します。

ふろ予約表示
・ふろ予約中に表示します。

ふろ温度
ふろ湯量
保温時間
シャワー可能時間
・各設定値を表示します。
・シャワー可能時間を表示します。

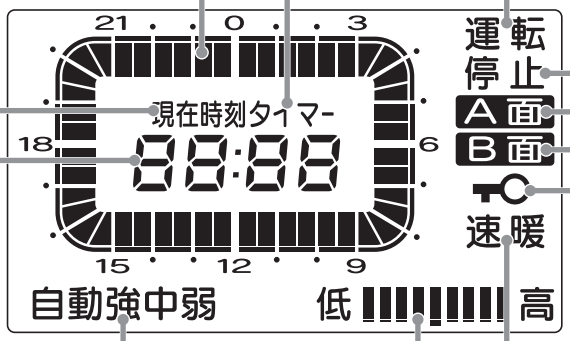
ふろ注湯表示
・おふろに注湯しているときは、ふろ注湯表示バーが順番に点灯します。
・追いだき、高温さし湯、配管洗浄中に点滅します。

貯湯量表示（約50℃以上のお湯の量）						
貯湯量（目安）	50L未満	50L以上	100L以上	150L以上	200L以上	300L以上

製品構成と各部のなまえ

表示部（床暖房リモコン）

○表示部は説明のため全点灯状態にしてあります。



タイマー表示

・タイマー運転時間帯の設定中に表示します。

タイマー設定表示

・タイマー運転をする時間帯を表示します。

運転表示

・床暖房運転中に表示します。

現在時刻表示

・現在時刻設定中に表示します。

停止表示

・床暖房停止中に表示します。

運転面表示

・床暖房を運転する面を表示します。

時刻表示

・現在時刻を表示します。

ロック表示

・操作ロック中に表示します。

速暖表示

・速暖運転中に表示します。

自動／強／中／弱表示

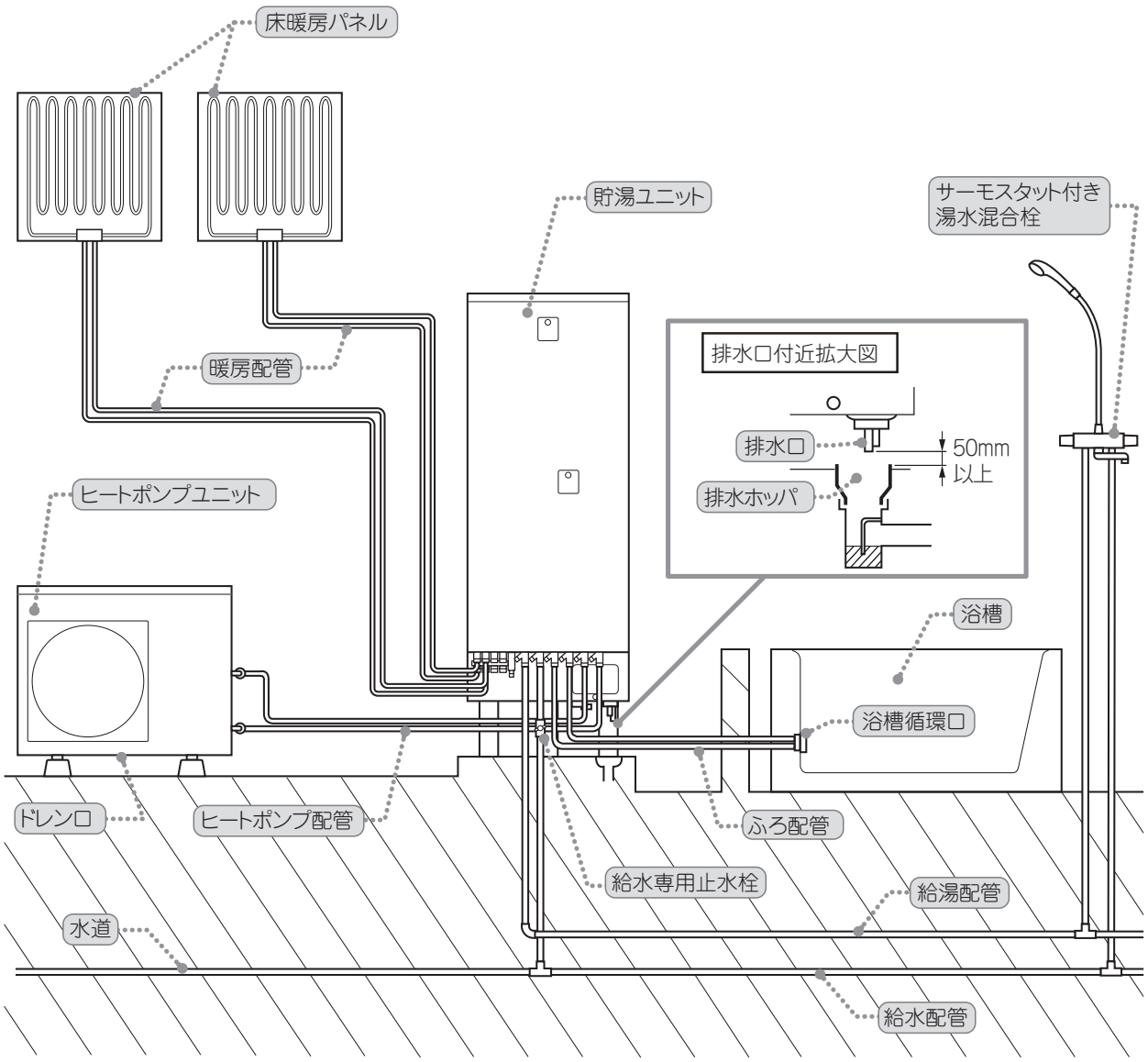
・床暖房の温度設定を表示します。

温度表示

・床暖房の温度設定が自動のとき、設定温度の目安を9段階のバーで表示します。

製品構成と各部のなまえ

接続配管例



お願い

●水栓は湯水混合栓を使用してください。またシャワー用はやけど防止のため、サーモスタット付き湯水混合栓を使用してください。

●水栓は逆止弁付き湯水混合栓を使用してください。逆止弁の付いていない湯水混合栓を使用した場合は、逃し弁よりお湯が排水される場合があります。

お知らせ

・沸上げ運転中および沸上げ停止後しばらくの間は、ヒートポンプユニット下部のドレン口から結露水が出ます。また、貯湯タンク内の水の温度が上昇したときの膨張分が、貯湯ユニットの排水口から出ます。

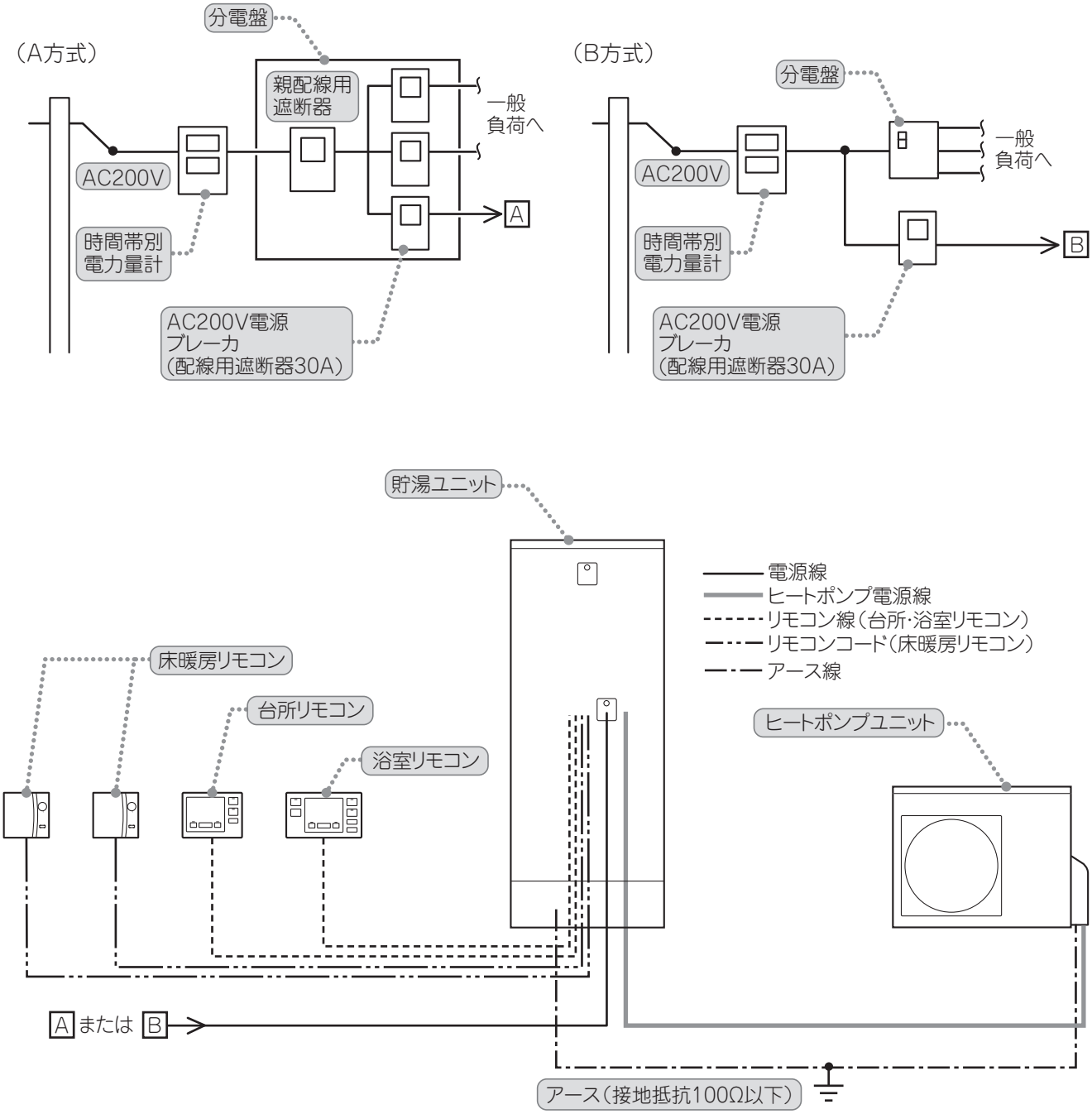
・シングルレバー湯水混合栓および手元ストップシャワー、マッサージシャワーなどのシャワーヘッドを使用すると、出湯量が少なくなることがあります。

製品構成と各部のなまえ

接続配線例

（時間帯別電灯契約または季節別時間帯別電灯契約専用）

●引込み配線方式（A方式、B方式）を確認していただき、これに合わせた配線工事をおこなってください。

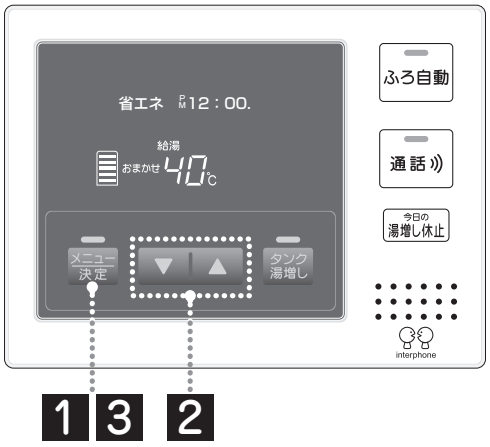


台所リモコンの時刻を合わせる

時刻がずれている場合は、合わせてください。
（時刻がずれていると、電気料金が高くなる場合があります。）

- 時刻は 12 時間表示で、午前は「AM」、午後は「PM」で表示します。
- 増設リモコンからも設定をおこなうことができます。

■台所リモコン



1 メニュー決定 を押して「5 現在時刻設定」を選び、表示させる。

- 「時刻を合わせてください」と音声でお知らせして、その後「時・分」が点滅します。

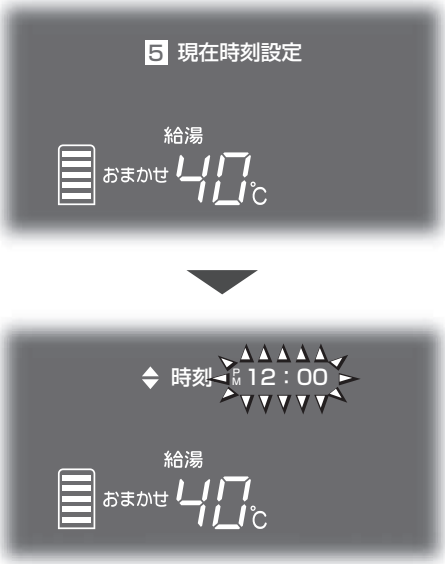
2 ▼ または ▲ で現在時刻を合わせる。

- ▲ を押すと 1 分ずつ進みます。
  ▼ を押すと 1 分ずつ戻ります。
- 押し続けると 10 分単位で切り替わります。

3 メニュー決定 を押して決定する。

- 「設定されました」と音声と表示でお知らせします。
- 浴室リモコンにも設定した現在時刻が自動的に表示されます。
- スイッチ操作が 60 秒以上ないときは、設定は決定されず、通常表示に戻ります。再度 メニュー決定 を押してから設定してください。

■台所リモコン表示部



お知らせ

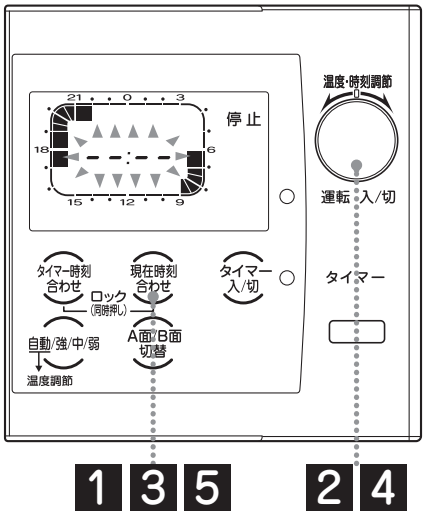
- 時刻は、ずれることがあります。1 ヵ月に 1 回程度確認して、時刻を設定しなおしてください。時刻がずれていたり、午前「AM」と午後「PM」を間違えると、電気料金が高くなる場合がありますので、正確に設定してください。
- 昼の 12 時は「PM12:00」、夜の 12 時は「AM12:00」と表示します。

床暖房リモコンの時刻を合わせる

必ず現在時刻の設定をしてください。設定しないとタイマー運転ができません。

- すべての床暖房リモコンで時刻合わせをしてください。
- 時刻がずれているときやリセットされているときは、時刻合わせをしてください。

■床暖房リモコン



1 現在時刻合わせ **を押す。**

- 「現在時刻」、「0:00」が表示され「時」が点滅します。

2 **をまわして「時」を合わせる。**

- 右へまわすと 1 時間ずつ進みます。
- 左へまわすと 1 時間ずつ戻ります。

3 現在時刻合わせ **を押す。**

- 「時」が決定され、「分」が点滅します。
- 現在時刻合わせ を押さずに 30 秒以上経過すると、時刻が決定され通常表示に戻ります。

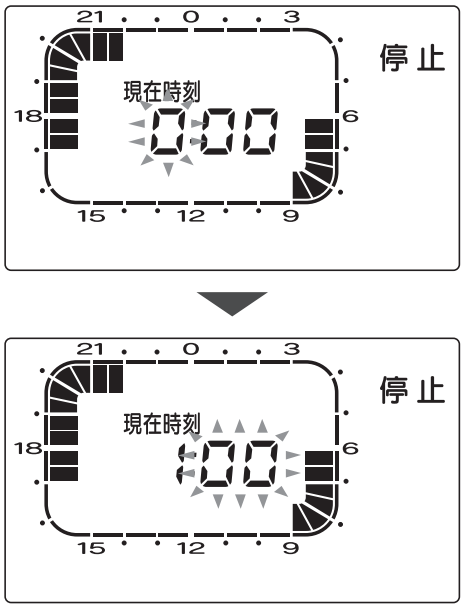
4 **をまわして「分」を合わせる。**

- 右へまわすと 1 分ずつ進みます。
- 左へまわすと 1 分ずつ戻ります。

5 現在時刻合わせ **を押す。**

- 時刻が決定され、「現在時刻」が消灯します。
- 現在時刻合わせ を押さずに 30 秒以上経過すると、時刻が決定され通常表示に戻ります。

■床暖房リモコン表示部



お知らせ

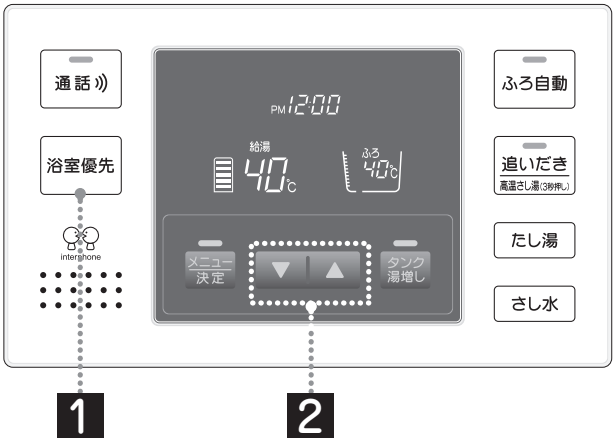
・時刻は、ずれることがあります。1 ヵ月に 1 回程度確認して、時刻を設定しなおしてください。

お湯・シャワーを使う

浴室リモコン

●浴室でお湯・シャワーを使う場合は必ず、浴室リモコンの浴室優先を押し「浴室優先」を表示させてから使用してください。他のリモコンで高温設定されると、浴室でも熱いお湯が出てやけどをすることがあります。
●お買い上げ時の設定は、40℃です。

■浴室リモコン



⚠警告

●シャワーをあびる前には必ず湯温を確認する
やけどをすることがあります。
●「浴室優先」の設定をおこなうときや給湯温度を変更するときは、台所など他の湯水混合栓の使用状況を確認する
やけどをすることがあります。

1 浴室優先を押す。

●浴室優先にした場合は、「浴室優先に変更されました」と音声でお知らせし、「浴室優先」を表示します。

2 ▼または▲を押して、給湯温度を設定する。

●給湯温度を変更すると「給湯温度が変更されました」と音声でお知らせします。
●60℃に設定した場合は、音声で「あついお湯がでます」とお知らせし、「高温」を表示して注意を促します。

■浴室リモコン表示部

設定範囲（℃）	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	60
																	高温

●シャワーの湯温が安定しない・シャワーの勢いが弱いとき

サーモスタット付き湯水混合栓を使用の場合は、シャワーの設定温度（約 40℃）よりリモコンの給湯温度設定を 5 ～ 10℃高い 45 ～ 50℃に設定することで、安定した湯温となり、シャワーの湯量も増えます。

お知らせ

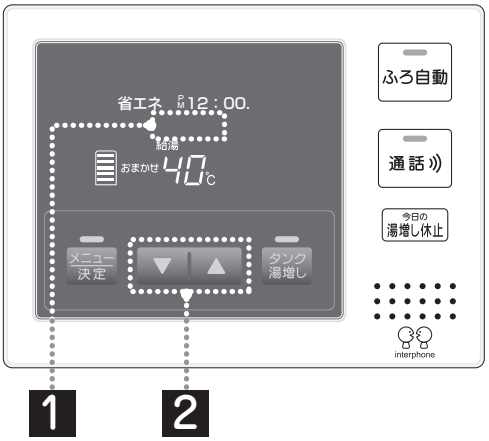
・給湯温度は配管放熱により変動します。リモコンの給湯温度設定は目安としてお使いください。
・蛇口を開いた直後は、配管内にたまっていた冷たい水が出ることがあります。
・貯湯タンク内の湯温が低いときは、お湯がぬるくなることがあります。

お湯を使う

台所リモコン

●台所リモコン・増設リモコンで給湯温度を設定する場合は、「浴室優先」が消灯していることを確認してください。
●お買い上げ時の設定は、40℃です。

■台所リモコン



⚠警告

●お湯を使う前には必ず湯温を確認する
やけどをすることがあります。
●給湯温度を変更するときは、浴室やシャワーなど他の湯水混合栓の使用状況を確認する
やけどをすることがあります。

1 「浴室優先」が消灯していることを確認する。

●「浴室優先」が点灯しているときは、浴室リモコンの 浴室優先 を押して「浴室優先」を消灯してください。

2 ▼ または ▲ を押して、給湯温度を設定する。

●給湯温度を変更すると「給湯温度が変更されました」と音声でお知らせします。
●60℃に設定した場合は、「あついお湯がでます」と音声でお知らせし、「高温」と表示して注意を促します。

■台所リモコン表示部

設定範囲（℃）	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	60
																	高温

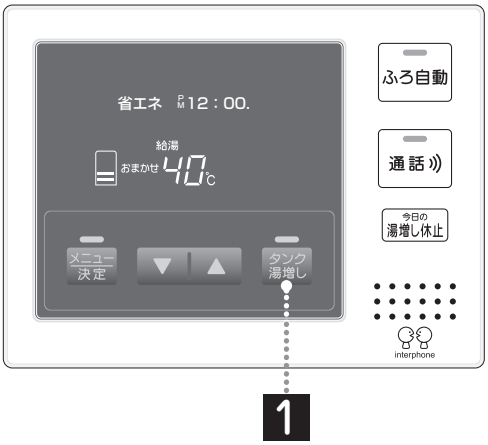
お知らせ

・「浴室優先」が点灯している場合、▼ ▲ の操作をすると警告音が鳴り、操作は受け付けません。

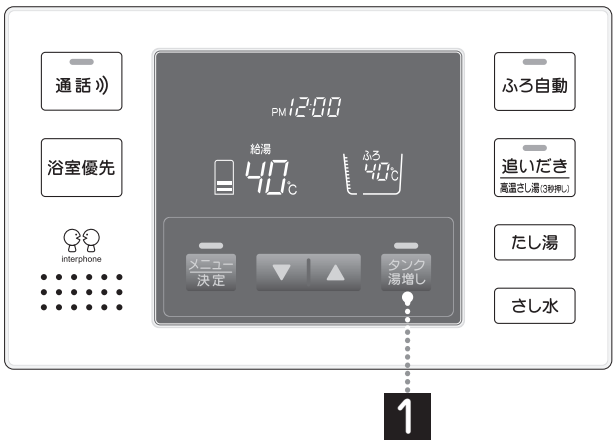
お湯がたりないとき

●お湯の使用量が多くなりお湯がたりなくなりそうな場合は、タンク湯増しで湯増しをおこなってください。（使用可能湯量をナビモードで確認できます。）（→ 53 ページ）

■台所リモコン



■浴室リモコン



1 タンク湯増しを押す。

●「湯増し」が表示され、湯増しがおこなわれます。

●湯増しランプが点灯します。
音声で「湯増しをします」とお知らせします。

■タンク湯増しスイッチ

■台所リモコン表示部

お知らせ

・タンク湯増し量は、オプション設定で「50L」、「100L」、「満タン」から選択できます。（→ 61 ページ）
・タンク湯増しを使用しているときは、運転モードの設定はできません。

湯増しを途中でやめるとき

■ 湯増し中にタンク湯増しを押す。

●湯増しランプと「湯増し」が消灯し、湯増しを中止します。

お湯がたりないとき

タンク湯増しの動作

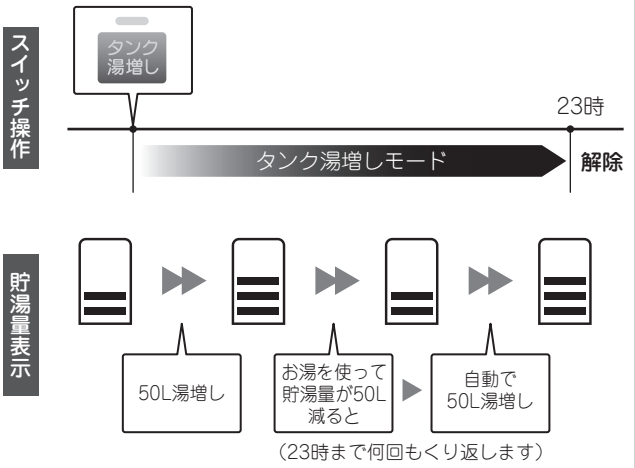
● タンク湯増しを押すと、タンク湯増しモードになり設定した湯増し量を湯増ししします。
※ タンク湯増しモード中は、タンク湯増しスイッチ部ランプが点灯します。

●給湯などでお湯を使用し、タンク湯増しを押したときの動作は以下となります。

・タンク湯増し量設定が「50L」、「100L」の場合はタンク湯増しを押したときの貯湯量まで減ると再び設定した湯増し量を自動で湯増ししします。
※ ただし貯湯量表示がバー５本の場合は、湯増しをおこないません。

・タンク湯増し量設定が「満タン」の場合は貯湯量表示がバー５本から４本に減ると、自動で湯増ししします。
※貯湯量表示が、バー４本以下でも貯湯タンク内の温度によっては湯増しをしない場合があります。

動作例 ※湯増し量を「50L」(バー約1本)に設定しているとき

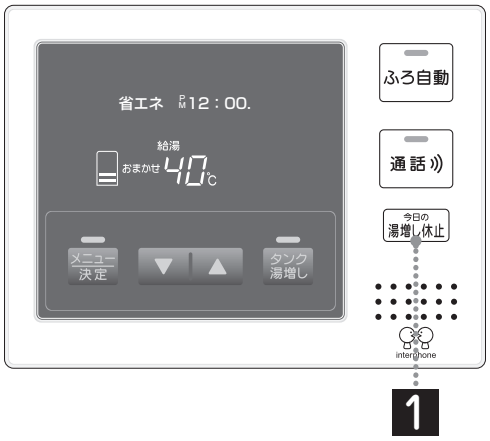


●タンク湯増しモードは、再度タンク湯増しを押すか 23 時になると解除されます。解除されるまではタンク湯増しスイッチのランプは点灯しています。

今日の湯増しを休止する（その日だけ有効な機能）

●外出などでもうお湯を使わない日や、お湯が残りそうな日は、昼間の湯増し運転を休止することができます。
●23 時になるまで湯増しを停止して、電気代を節約します。（その日だけ有効な機能です。）
●台所リモコンからおこないます。

■台所リモコン



1 今日の 湯増し休止 **を押す。**

●「設定されました」と音声と表示でお知らせし、「湯増し休止中」が表示されます。
●「湯増し休止中」は 23 時になると、自動的に解除されます。
（表示が時刻表示に戻ります。）

■台所リモコン表示部

お知らせ

・「湯増し休止中」にお湯がたりなくなりそうな場合は、タンク 湯増し を押してください。（→ 22 ページ）

湯増し休止を解除する場合

■ 湯増し休止中に 今日の 湯増し休止 を押す。

● 表示が時刻表示に戻り、湯増し休止が解除されます。

ふろ運転機能の使い方（こんなときは）

おふろを沸かす

おふろが空のとき ・・・・・・・・・・ ふろ自動 （→27ページ）

おふろに残り湯があるとき ・・・・・・・・・・ ふろ自動 （→28ページ）

入浴したら

ぬるいとき ・・・・・・・・・・ 追いだき 高温さし湯(3秒押し) （→31、32ページ）

あついとき ・・・・・・・・・・ さし水 （→33ページ）

お湯の量を増やしたいとき ・・・・・・・・・・ たし湯 （→34ページ）

その他の機能

●浴室リモコンと台所リモコンの間で通話するとき ・・・・・ 通話 （→36ページ）

●ふろ配管の洗浄をするとき ・・・・・・・・・・・・・ さし水 **を3秒以上押す** （→80ページ）

●予約した時間に入浴できるように湯はりするとき ・・・・・・・・・・・・・・・ （→55ページ）

●おふろの量を設定するとき ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ （→30ページ）

●湯はり後の保温の種類を設定するとき ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ （→48、62ページ）

●湯はり後の保温時間を設定するとき ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ （→48、62ページ）

ふろ自動運転

● ふろ自動 を押すだけで、設定したふろ温度・ふろ湯量の湯はりをします。

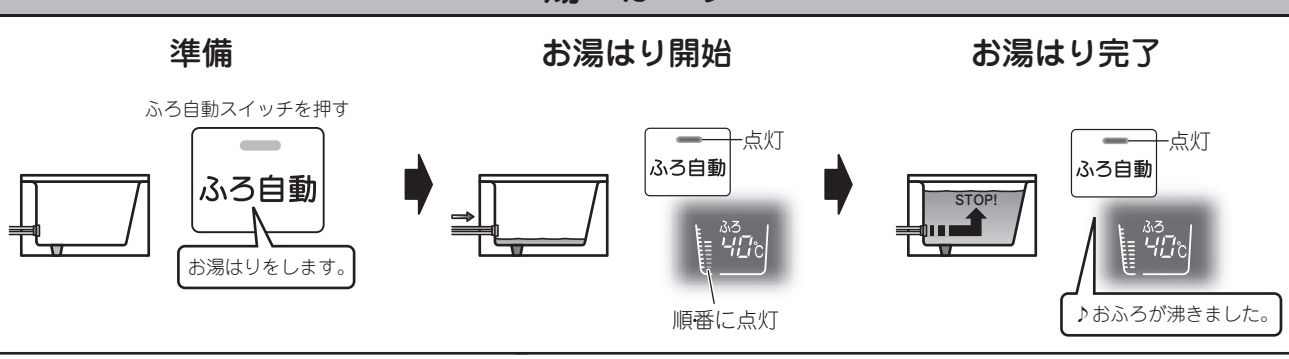
●お湯はりを完了すると、自動で保温運転をします。気温が高い夏など保温を必要としないときは保温運転を停止することができます。（→ 62 ページ）

●お買い上げ時の設定は、ふろ温度 40℃、ふろ湯量 180L、省エネ保温 2 時間です。

ふろ自動運転の動作

湯はり完了後の保温運転は、「省エネ保温」と「通常保温」から選択できます。
お買い上げ時の設定は、運転モードが「おまかせ省エネ」で「省エネ保温」となっています。

湯　は　り



ふろ自動運転

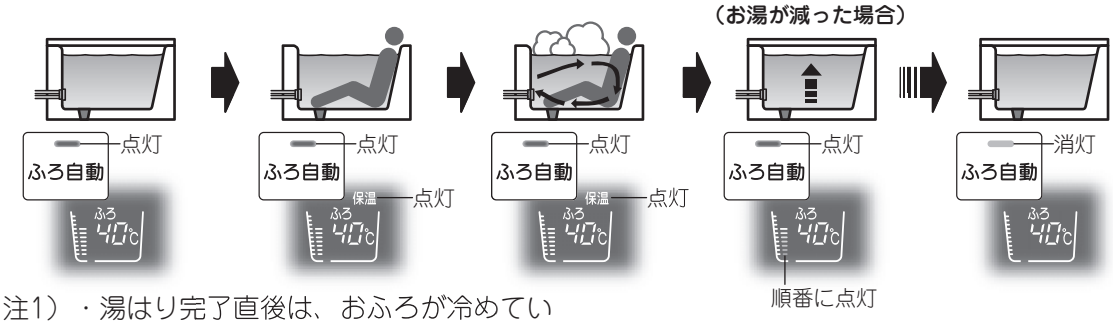
保　温　動　作

省エネ保温

●おふろに人が入ると、入浴を検知して湯温をあげます。
お湯が減った場合は、自動でたし湯をします。

ふ　ろ　自　動　運　転　継　続　中

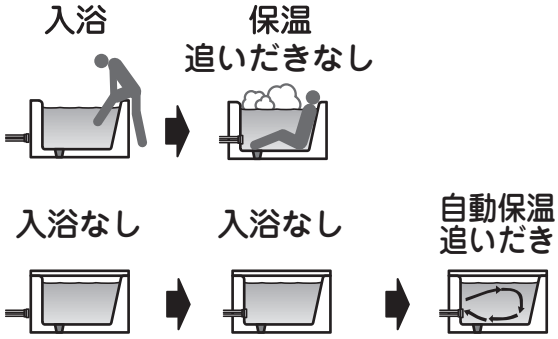
待機中 → 入浴を検知 → 保温追いだき → 自動たし湯（お湯が減った場合） → 自動運転終了



注1）・湯はり完了直後は、おふろが冷めていないので、おふろに人が入っても保温追いだきはしません。
・入浴を検知して保温追いだきをした後の約20分間は、おふろが冷めていないので入浴しても保温追いだきはしません。

注2）・長時間入浴がないと、おふろの温度が冷めるため、入浴しなくても保温追いだきをすることがあります。

注3）・ふろ配管が冷めているときは、自動保温・自動たし湯運転開始直後、ぬるいお湯が出ることがあります。

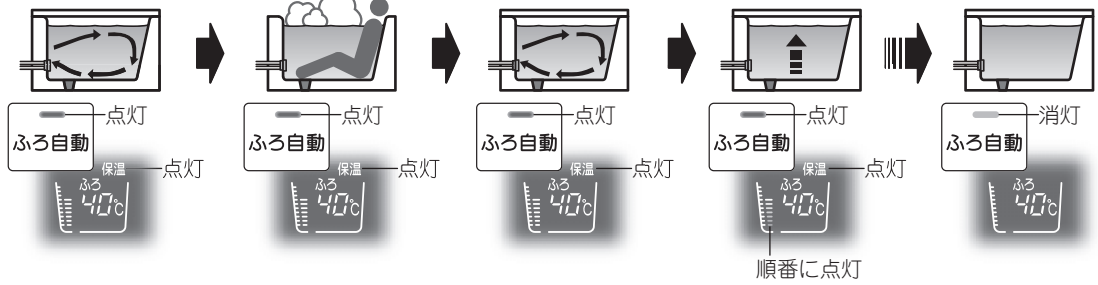


通常保温

●設定した温度と湯量になるように自動で湯温をあげたり、たし湯をおこないます。

ふ　ろ　自　動　運　転　継　続　中

一定時間ごとに湯温・湯量をチェック → 入浴 → 一定時間ごとに湯温・湯量をチェック → 自動たし湯（お湯が減った場合） → 自動運転終了



●運転モードが「おまかせ省エネ」の場合は、「省エネ保温」のみの設定となります。
その他の運転モードの場合は、「省エネ保温」または「通常保温」のいずれかを設定できます。
（→ 51 ページ）

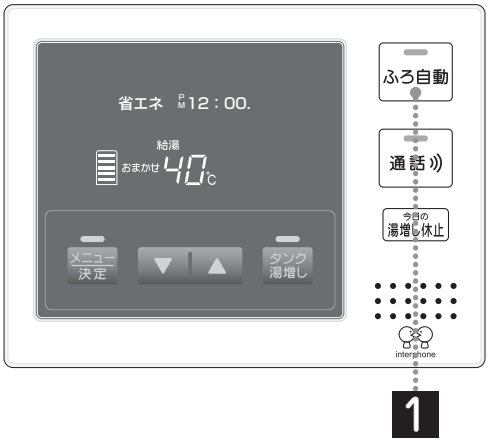
運転モード	省エネ保温	通常保温
おまかせ省エネ	○	設定出来ません
おまかせ	○	○
満タン	○	○
暖房	○	○

●湯はり完了後の保温時間は変更することができます。（→ 48、62 ページ）

ふろ自動運転（おふろを沸かす）

おふろが空のとき

■台所リモコン



■浴室リモコン

■ おふろを確認する。

- おふろの排水栓を閉じてください。
- おふろにふたをしてください。

※おふろの温度、おふろの量を変更する場合は、各設定をおこなってください。
（→ 29、30 ページ）

1 ふろ自動 を押す。

- ふろ自動ランプが点灯して、自動湯はりを開始します。
  音声で「お湯はりをします」とお知らせします。
- 湯はり中はふろ注湯表示バーが順番に点灯します。

■ 湯はり完了のお知らせ後、入浴できます。

- 「♪、おふろが沸きました　おふろが沸きました」とメロディと音声でお知らせします。

■台所リモコン表示部

■ふろ自動スイッチ

お願い

- **湯はり中は、湯水混合栓やシャワーなどからおふろへお湯や水をたしたり、おふろからお湯をくみ出したり排水したりしないでください。正常に湯はりができないことがあります。**
- **ジェットバスを使用する場合は、湯はり完了後にふろ自動運転を停止してください。**

ふろ自動運転を途中でやめるとき

■ ふろ自動運転中に ふろ自動 を押す。

- ふろ自動ランプが消灯し、ふろ自動運転を中止します。

ふろ自動運転（おふろを沸かす）

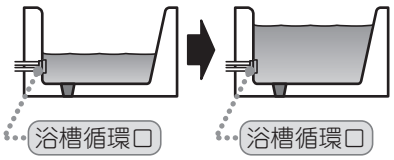
おふろの残り湯を設定温度に沸かしたいとき

●前日の残り湯を沸かす場合（一日おきに沸かす場合など）は運転モードが「おまかせ省エネ」では沸かないことがありますので、「おまかせ」または「暖房」に変更してください。

残り湯が浴槽循環口より上のとき

1 ふろ自動 **を押す。**

●設定されたふろ湯量の不足分をたし湯し、設定温度まで沸上げて保温します。



湯はり完了のお知らせ後、入浴できます。

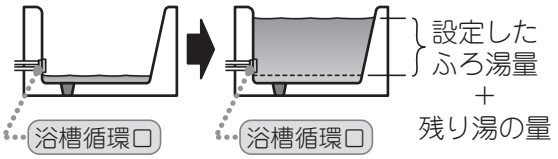
●「♪、おふろが沸きました　おふろが沸きました」とメロディと音声でお知らせします。

残り湯が浴槽循環口より下のとき

1 ふろ自動 **を押す。**

●設定されたふろ湯量を湯はりし、設定温度まで沸上げて保温します。

●おふろの残り湯の量だけお湯が増えます。
あふれるようでしたら、ふろ自動運転をする前に残り湯を排水してください。



湯はり完了のお知らせ後、入浴できます。

●「♪、おふろが沸きました　おふろが沸きました」とメロディと音声でお知らせします。

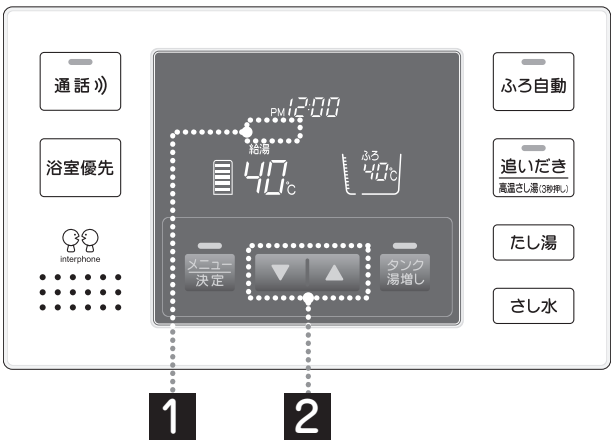
お知らせ

- ふろ配管が冷めているときは、自動保温・自動たし湯運転開始直後、ぬるいお湯が出ることがあります。
- 外気温が低いときには入浴中でもふろポンプの運転による凍結予防が働き、ふろ配管内の冷めたお湯がおふろに出ることがあります。（→ 68 ページ）
- 湯はり中に台所やシャワーなどでお湯を使用すると、湯はり時間が長くなることがあります。
- 給湯と湯はりを同時におこなったときは、給湯量が減少することがあります。
- 設置後 2 回目までの湯はりは、浴槽の容量を学習するため、湯はり時間が若干長くなります。
- お湯はりが完了すると、ふろポンプが運転してふろ配管内の気泡が浴槽循環口からボコボコ出ることがありますが、異常ではありません。
- 貯湯量表示が（点滅）のときは、ふろ自動運転を受け付けることができません。タンク湯増し（→ 22 ページ）により 以上となったら、ふろ自動運転をすることができます。
- 貯湯量が少なくなると、ふろ自動運転のふろ湯量が少なかったり、ふろ温度が低い場合があります。
- 貯湯量が不足すると、ふろ自動運転（自動保温・自動たし湯）が途中で停止する場合があります。
- おふろの残り湯の排水は、ふろ自動運転を停止してからおこなってください。
（停止せずに排水栓を抜くと、自動たし湯がおこなわれ、お湯がムダになります。）
- 前日の残り湯や水からの沸かしなおしは、効率が低下し、消費電力量が増える場合があります。水が冷たい場合は、新たに湯はりをすることをおすすめします。

おふろの温度を設定する

●ふろ自動運転の湯はり温度を設定します。
●浴室リモコンからおこないます。
●お買い上げ時の設定は、40℃です。

■浴室リモコン



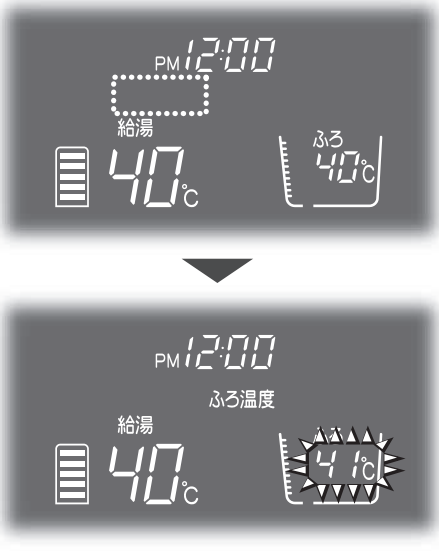
1 「浴室優先」が消灯していることを確認する。

●「浴室優先」が点灯しているときは、浴室優先を押して「浴室優先」を消灯してください。
「浴室優先」が点灯しているときは給湯温度が変更されます。

2 ▼または▲を押して、おふろの温度を設定する。

●▲を押すと1℃ずつ高くなります。
▼を押すと1℃ずつ低くなります。
●おふろの温度を46℃以上にあげるときは、▲を3秒以上長押しして、設定してください。
おふろの温度をさげるときは、長押しする必要はありません。

■浴室リモコン表示部



設定範囲（℃）	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48

3秒以上長押し　3秒以上長押し　3秒以上長押し

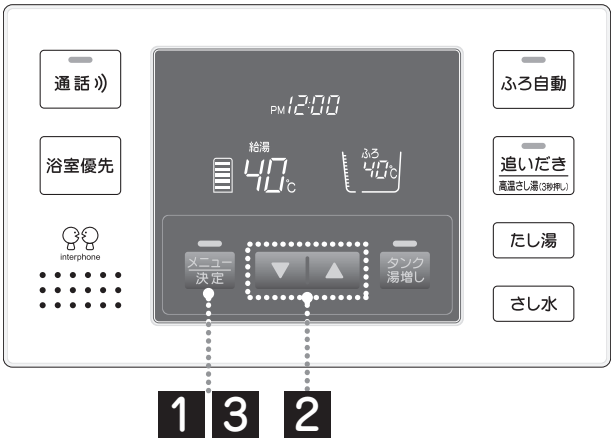
お知らせ

・おふろの湯温は、配管の放熱により異なります。リモコンの表示温度は目安としてお使いください。

おふろの量を設定する

●ふろ自動運転のふろ湯量を設定します。
●浴室リモコンからおこないます。
●お買い上げ時の設定は、180L です。

■浴室リモコン



1 メニュー決定 を押して「ふろ湯量」を選び、点滅させる。

2 ▼ または ▲ を押して、ふろ湯量を選ぶ。

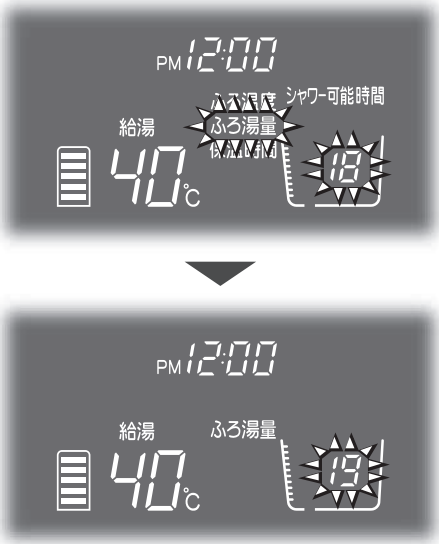
● ▲ を押すと 10L ずつ増加します。
▼ を押すと 10L ずつ減少します。

設定範囲（L）	100	110	120	・・・（10L刻み）	170	180	190	・・・（10L刻み）
リモコン表示	10	11	12	・・・	17	18	19	・・・

3 メニュー決定 を押して決定する。

● 音声で「ふろ湯量が変更されました」とお知らせします。

■浴室リモコン表示部



お知らせ

・湯はり動作中に、ふろ湯量を変更した場合は、次回の湯はりからふろ湯量が変更されます。
・スイッチ操作が 20 秒以上ないときは、設定は決定されず、通常表示に戻ります。

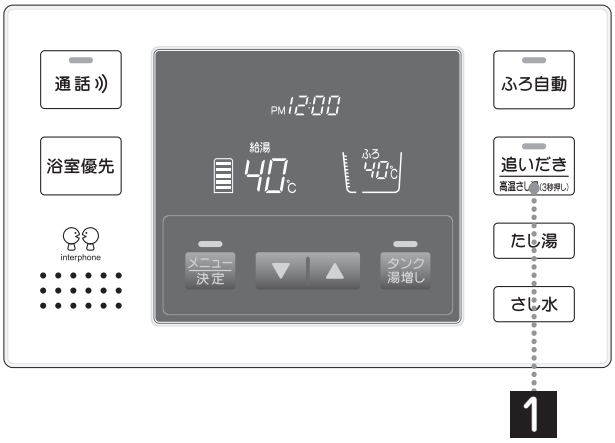
おふろの湯温をあげる（追いだき）

●入浴しておふろの湯温をあげたいときは 追いだき（高温さし湯(3秒押し)） を押してください。
●追いだきは循環ポンプでおふろのお湯を循環して、設定された温度まで湯温をあげます。
●浴室リモコンからおこないます。

お願い

●おふろに残り湯があり、設定温度まで沸かしたいときは、追いだき（高温さし湯(3秒押し)）ではなく ふろ自動 を押してください。（→ 28 ページ）

■浴室リモコン



⚠ 警告

●追いだきするときは浴槽循環口から離れる
やけどをすることがあります。
●おふろにお湯がないときは、追いだき（高温さし湯(3秒押し)）を押さない
やけどをすることがあります。

1 追いだき（高温さし湯(3秒押し)）を押す。

●追いだきランプが点灯して、追いだきがおこなわれます。
音声で「追いだきをします」とお知らせします。
●ふろ注湯表示バーが点滅します。

■追いだきスイッチ

■浴室リモコン表示部

お知らせ

・ふろ配管が冷めているときは、追いだき開始直後、ぬるいお湯が出ることがあります。
・貯湯量表示が（点滅）のとき、追いだきはできません。タンク湯増し（→ 22 ページ）により となったら、追いだきをすることができます。
・追いだきの沸上げ温度は変更することができます。（→ 49 ページ）
・次の動作中は追いだきできません。
自動湯はり中、高温さし湯中、さし水中、たし湯中、ふろ配管洗浄（配管洗浄）中。
・太陽熱温水器や他の給湯機でおふろに湯はりをおこない、追いだき専用機器としての使用はできません。

追いだきを途中でやめるとき

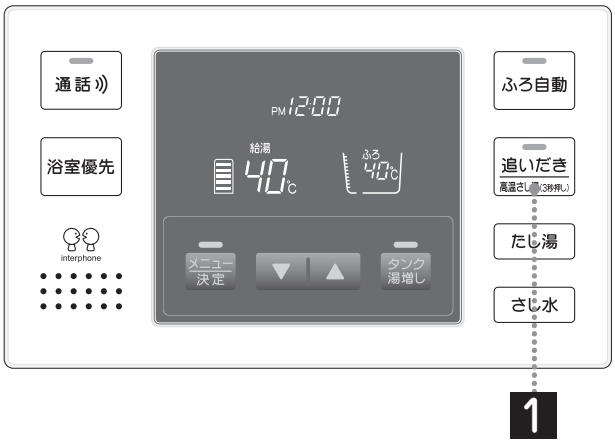
■ 追いだき中に 追いだき（高温さし湯(3秒押し)） を押す。

●追いだきランプが消灯し、追いだきを中止します。

おふろの湯温をあげる（高温さし湯）

●約 60℃のお湯を約 20L 浴槽循環口からさし湯して、おふろの湯温をあげます。
●ぬるくなったおふろの湯温をあげるときは、追いだきよりも「高温さし湯」のほうが省エネになります。
●浴室リモコンからおこないます。

■浴室リモコン



⚠ 警告

●高温さし湯をするときは浴槽循環口から離れるやけどをすることがあります。
●おふろにお湯がないときは、追いだき 高温さし湯(3秒押し) を押さないやけどをすることがあります。

1 追いだき 高温さし湯(3秒押し) を 3 秒以上長押しします。

●追いだきランプが点灯して、高温さし湯がおこなわれます。
音声で「高温さし湯をします」とお知らせします。
●ふろ注湯表示バーが点滅します。
● 追いだき 高温さし湯(3秒押し) を長押ししないで押しただけのときは、追いだき運転になります。

■追いだきスイッチ

■浴室リモコン表示部

お知らせ

・ふろ配管が冷めているときは、高温さし湯開始直後、ぬるいお湯が出ることがあります。
・貯湯量表示が（点滅）のとき、高温さし湯はできません。タンク湯増し（→ 22 ページ）により 以上となったら、高温さし湯をすることができます。
・次の動作中は高温さし湯できません。
自動湯はり中、追いだき中、さし水中、たし湯中、ふろ配管洗浄（配管洗浄）中。
・高温さし湯のときは、浴槽循環口から出るお湯の分だけおふろの水位が上昇します。

高温さし湯を途中でやめるとき

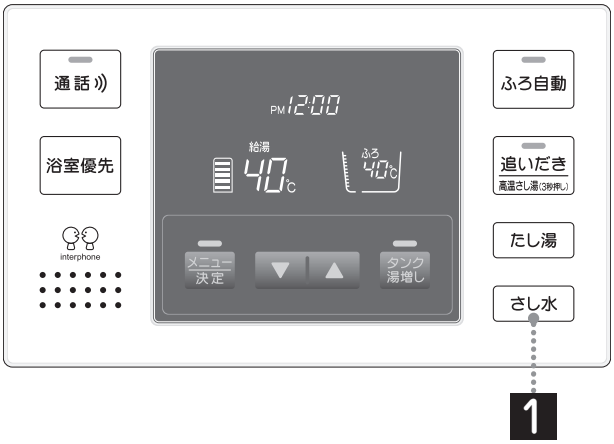
■ 高温さし湯中に 追いだき 高温さし湯(3秒押し) を押す。

●追いだきランプが消灯し、高温さし湯を中止します。

おふろの湯温をさげる（さし水）

●約 10L の水が浴槽循環口から出て、おふろの湯温を約 1℃下げます。
●浴室リモコンからおこないます。

■浴室リモコン



1 さし水 を押す。

●「さし水」が点灯して、さし水がおこなわれます。
音声で「さし水をします」とお知らせします。
●ふろ注湯表示バーが順番に点灯します。
●1 回の「さし水」運転では、まだあついときは、2 回、3 回の「さし水」運転をしてください。

■浴室リモコン表示部

さし水を途中でやめるとき

さし水中に さし水 を押す。

●「さし水」が消灯し、さし水を中止します。

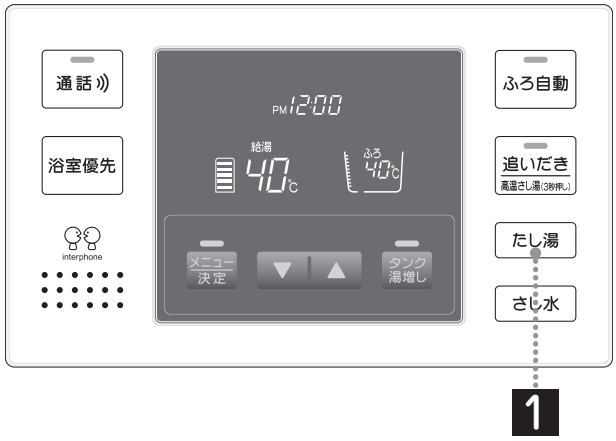
お知らせ

・次の動作中はさし水できません。
自動湯はり中、追いだき中、高温さし湯中、たし湯中、ふろ配管洗浄（配管洗浄）中。

浴槽のお湯をふやす（たし湯）

●設定されているふろ温度のお湯（約 30L）が浴槽循環口から出て湯量をふやします。
●浴室リモコンからおこないます。

■浴室リモコン



1 たし湯 を押す。

●「たし湯」が点灯して、たし湯がおこなわれます。
音声で「たし湯をします」とお知らせします。
●たし湯中はふろ注湯表示バーが順番に点灯します。

■浴室リモコン表示部

お知らせ

・ふろ配管が冷めているときは、たし湯開始直後、ぬるいお湯が出ることがあります。
・貯湯量表示が（点滅）のとき、たし湯はできません。タンク湯増し（→ 22 ページ）により 以上となったら、たし湯をすることができます。
・次の動作中はたし湯できません。
自動湯はり中、追いだき中、高温さし湯中、さし水中、ふろ配管洗浄（配管洗浄）中。

たし湯を途中でやめるとき

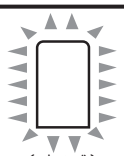
■ たし湯中に たし湯 を押す。

●「たし湯」が消灯し、たし湯を中止します。

貯湯量表示について

●貯湯量表示は、貯湯タンクの残湯量を目安で次のように表示しています。
●貯湯タンクの残湯量が少ないときは タンク湯増し を押して貯湯量を確保してください。
●貯湯量が少なくなると、おふろや床暖房の機能が一部制限される場合があります。

ふろ運転機能の制限と貯湯量表示の関係（目安）

貯湯量表示 （約50℃以上のお湯の量）	 （点滅）					
貯湯量（目安）	※1 50L未満	50L以上	100L以上	150L以上	200L以上	300L以上
ふろ自動	できません	できます（できない場合があります ※2）				
追いだき	できません	できます（途中で終了する場合があります ※3）				
高温さし湯 （追いだきスイッチ3秒以上長押し）	できません	できます				
たし湯	できません	できます				
床暖房運転	できません	できます（できない場合があります ※4）				

※1 「ピピピピッ」と警告音でお知らせします。
※2 バー表示がある場合でも、貯湯温度によっては運転に必要な貯湯量が不足する場合があります。
この場合はふろ自動運転はできないことがあります。また、途中で終了する場合があります。
※3 追いだき途中に給湯などを使用すると、貯湯量が減り自動で終了することがあります。
※4 バー表示がある場合でも、貯湯温度によっては運転に必要な貯湯量が不足する場合があります。
この場合、床暖房運転ができないことがありますが、自動で湯増しをおこない、貯湯量が十分になると床暖房運転を再開します。

お知らせ

- 貯湯量表示は、約 50℃以上のお湯の量を段階的に示しています。運転モードを切り替えるとバーの数が変わることがあります。実際の使用可能湯量は、ナビモードで確認してください。（→ 53 ページ）
- お湯を使用しなくても、追いだきやふろ自動保温や床暖房により貯湯タンク内のお湯の温度が低下すると、貯湯量表示が減ります。また、お湯の温度は、途中の配管からの放熱や時間の経過による放熱のため低下し、貯湯量表示が減ることがあります。（外気温度や風の影響にもよりますが、朝から夕方（半日）までの間に約 5℃～ 10℃程度低下します。）※お湯が漏れているわけではありません。
- 外泊などによって 1 日以上お湯を使用されなかったときは、貯湯タンク内のお湯の温度が低下しているので、いつもより早めに貯湯量表示が減少することがあります。
- お湯の使用量が少ないときは、満タンまで沸上げない場合があります。

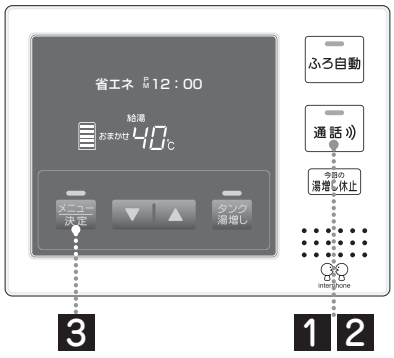
湯切れをしないために

●湯はりなどで多量にお湯を使用されるときは、使用される前に メニュー決定 でナビモードを選び「使用可能湯量」の確認をおこなってください。（→ 53 ページ）お湯がたりなくなりそうなときは タンク湯増し を押してください。

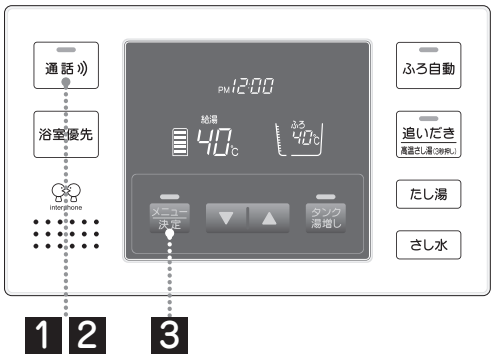
通話をする

●浴室リモコンと台所リモコンの間で通話することができます。

■台所リモコン



■浴室リモコン



通話の開始

1 通話 を押す。

- ●通話ランプが点灯し「ピピピピッ、ピピピピッ」と呼出音が鳴ったあとに、相手と話すことができます。
- ●送話側に「話す」が点灯します。受話側に「聞く」が点灯します。

■通話ランプ

■台所リモコン表示部
〈送話の場合〉

■浴室リモコン表示部
〈受話の場合〉

通話の切り替え

2 通話 を押して、「話す」側と「聞く」側を切り替える。

- ●「話す」「聞く」の表示が切り替わります。
- ●送話側、受話側のどちらのリモコンでも通話を切り替えることができます。

※ 通話 を押さない場合でも、1 ではじめた最初の送話のみ、10 秒経過すると、自動的に送話と受話が切り替わります。この時間は変更できます。(→ 49 ページ)

通話 を押すごとに切り替わります。

〈受話の場合〉

〈送話の場合〉

通話の終了

3 メニュー決定 を押して、通話を終了する。

- ●通話ランプが消灯します。

※ メニュー決定 を押さない場合でも、設定した時間が経過すると、自動的に通話が終了します。

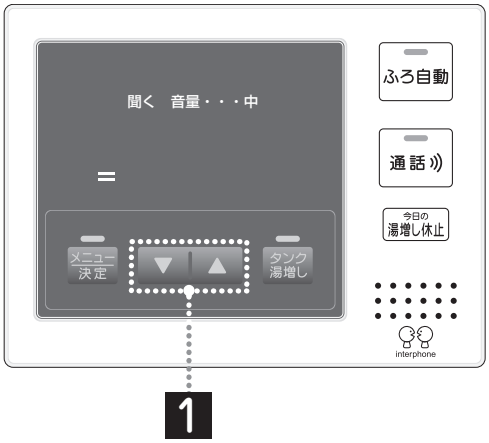
お知らせ

- **通話は合計で最長 4 分間までおこなえます。**
- **通信時間をなしに設定すると、呼出音のみとなり通話はできなくなります。**
- **リモコンから 30cm 程度離れて通話をしてください。近くで大きな声を出すと聞きにくくなります。**
- **ハウリング（キーンなどの大きな音）を起こす場合、音量を下げてください。(→ 37 ページ)**
- **ふろ自動、保温中、湯増しの運転中に通話をすると、通話ランプ以外のランプが一時消灯します。**
- **台所リモコンと浴室リモコンの間が通話中のとき、増設リモコンでのスイッチ操作はできません。**

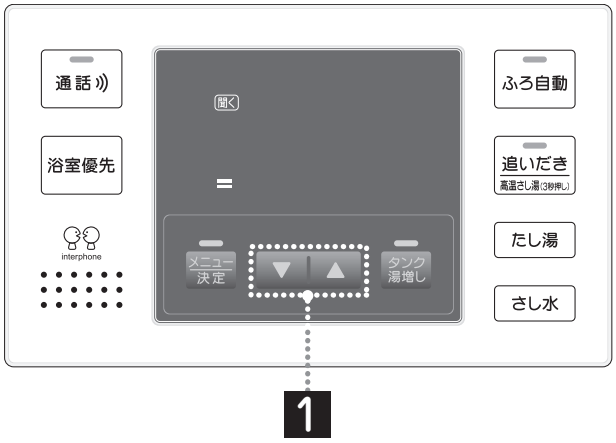
通話音量を変える

●通話中に、音量を変えることができます。
●お買い上げ時の設定は、「中」です。

■台所リモコン



■浴室リモコン



音量の変更

1 通話中に ▼ または ▲ を押して、音量を変える。

- 音量は３段階で変えることができます。
- ▲を押すと音量が大きくなります。
  ▼を押すと音量が小さくなります。

■台所リモコン表示部

〈音量　大〉

〈音量　中〉

〈音量　小〉

■浴室リモコン表示部

〈音量　大〉

〈音量　中〉

〈音量　小〉

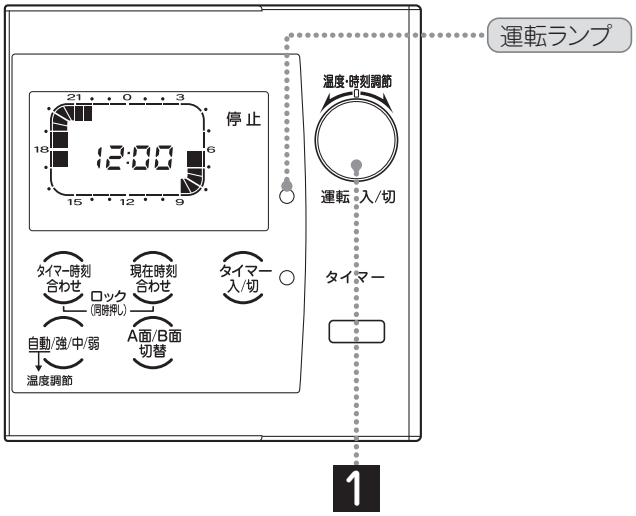
お知らせ

・呼出音「ピピピピッ」の音量は変わりません。

床暖房運転のしかた

●貯湯タンクのお湯を利用して床暖房運転をおこないます。
●床暖房リモコンから運転をおこなうことができます。

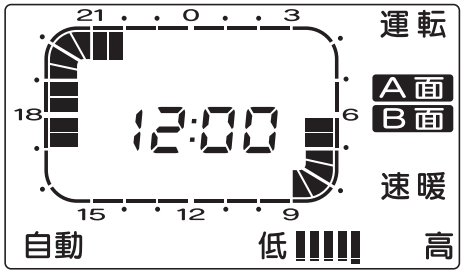
■床暖房リモコン



1 ◯ を押す。

- 運転ランプが緑色に点灯し、床暖房運転を開始します。
  表示部には「運転」表示が点灯します。
- 速暖運転中は「速暖」表示が点灯し、運転ランプが赤色に点灯します。
- 台所リモコン表示部に「暖房」表示が点灯します。

■床暖房リモコン表示部



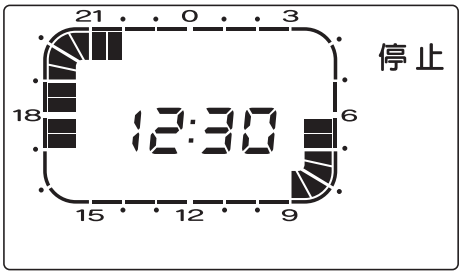
■台所リモコン表示部

床暖房運転をやめるとき

2 床暖房運転中に ◯ を押す。

- 運転ランプが消灯し、床暖房運転を停止します。
- 台所リモコンの「暖房」表示が消灯します。

■床暖房リモコン表示部



床暖房運転のしかた

暖房表示が点滅しているとき

■ 貯湯量が足りないため、床暖房運転を一旦停止しています。

- ●自動で湯増しをおこない、貯湯量が十分になると床暖房運転を再開します。

※休止中、今日の湯増し休止中は、自動湯増しはおこないません。休止設定を解除してください。（→ 24、58 ページ）

■台所リモコン表示部

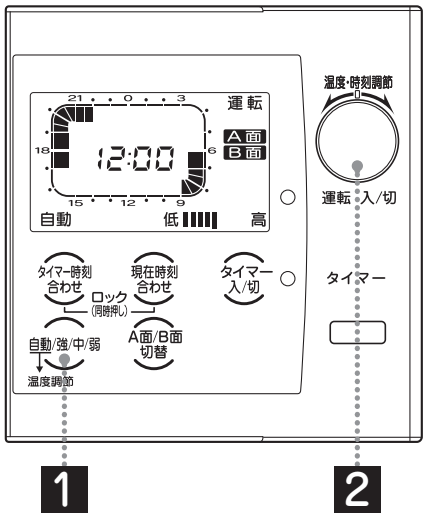
お知らせ

- **長時間床暖房をお使いになったときや、床暖房を使い始める時期などには、湯切れをするおそれがあります。お湯が足りなくなりそうなときは、タンク湯増し をご利用ください。**
  （外気温などの使用条件や施工条件によって異なります。）
- **床暖房の運転始めや温度設定の変更をおこなったときは、設定温度になるまでに時間がかかる場合があります。**
- **床暖房パネルを早く温める「速暖運転」をすることができます。**
  オプション設定の「床速暖モード」で速暖運転の有・無を設定します。（→ 63 ページ）
  速暖運転をするとお湯を多く使用するため、電気料金が高くなる場合があります。また、他の部屋で床暖房を運転している場合など速暖運転をおこなわない場合があります。

床暖房温度の設定

●床暖房パネルの温度をお好みの温度に設定します。
「自動」では、◯で、細かな温度調節ができます。また、自動/強/中/弱で、床暖房の温度設定をワンタッチで切り替えることができます。
●温度の設定は、床暖房運転中におこなうことができます。
●床暖房リモコンから設定できます。
●お買い上げ時の設定は、「自動」（レベル 5）です。

■床暖房リモコン



⚠ 警告

●低温やけどに注意する
床暖房パネルの上で長時間寝ていたり、床暖房の温度を高くして触れていると、低温やけどをすることがあります。

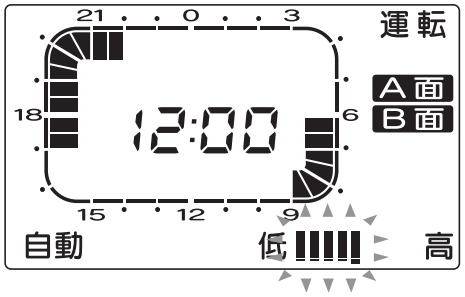
温度を細かく調節したいとき

1 自動/強/中/弱を押して、「自動」を表示する。
● 温度表示（バー表示）が点滅します。

2 ◯をまわす。
● 床暖房温度を9段階に調節することができます。
● 右へまわすと 1 段階ずつ温度が上がります。
● 左へまわすと 1 段階ずつ温度が下がります。

3 10 秒待つと決定します。
● 通常表示に戻ります。

■床暖房リモコン表示部



床暖房温度の設定

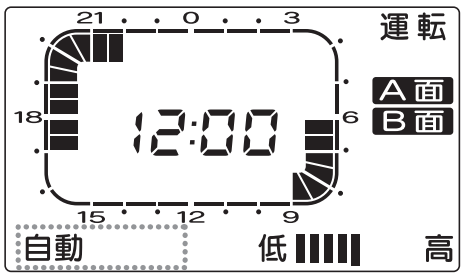
ワンタッチで温度設定したいとき

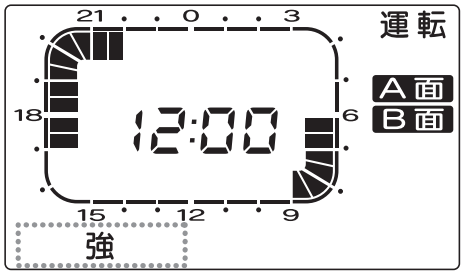
1 自動/強/中/弱 **を押す。**

● 自動/強/中/弱 を押すごとに、温度設定が切り替わります。

自動 → 強 → 中 → 弱

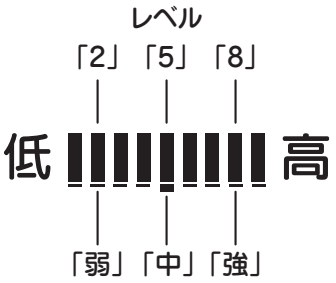
■床暖房リモコン表示部





お知らせ

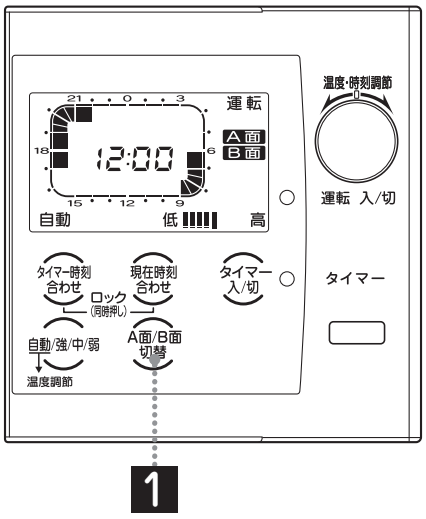
・床面温度は、「自動」のとき 9 段階に調節できます。
　レベル「2」：約 23 ～ 24℃・・・レベル「5」：約 25 ～ 28℃・・・レベル「8」：約 27 ～ 32℃
床面温度は、室温や床暖房パネルの種類などにより変わりますので、目安としてください。
・「強」はレベル「8」、「中」はレベル「5」、「弱」はレベル「2」に相当します。
「強」「中」「弱」のときは、温度表示（バー表示）は表示されません。
・床暖房リモコンを 2 つ以上ご使用の場合、一方をレベル「8」、もう一方を
レベル「2」など大きく異なる設定温度で同時に運転すると、低い設定温度の
床暖房パネルの温度が変動することがあります。



運転面を切り替える

●床暖房パネルが複数接続されているとき、暖房運転する床暖房パネル（運転面）を切り替えることができます。
●お買い上げ時の設定は、「A・B 両面」です。

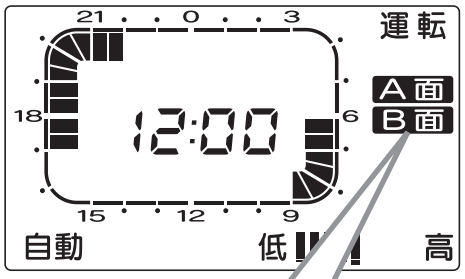
■床暖房リモコン

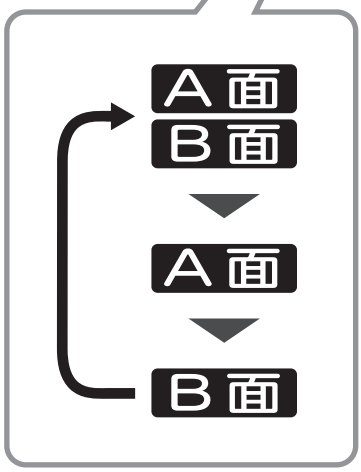


1 A面/B面切替 **を押す。**

● A面/B面切替を押すごとに、運転面が切り替わります。

■床暖房リモコン表示部





お知らせ

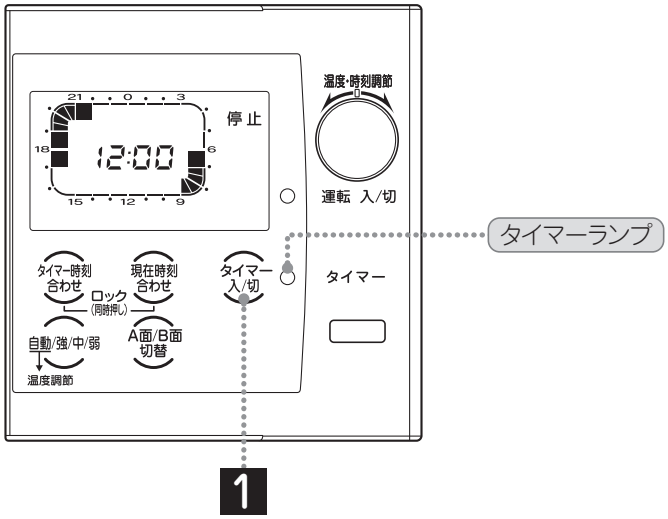
・A 面、B 面いずれかが未接続の場合、接続面のみ表示が点灯します。
・A・B 両面接続の場合は、A 面・B 面両方で運転します。
・床暖房停止中は、運転面の切り替えはできません。
・1 つの床暖房リモコンで A 面･B 面を接続している場合は、A 面･B 面それぞれに異なる温度設定やタイマー運転はできません。

タイマー運転のしかた

●1 日のうち必要な時間帯だけに床暖房運転を自動的におこなうことができます。
●床暖房リモコンから設定します。
●お買い上げ時の設定は、「6:00 ～ 9:00、17:00 ～ 22:00」です。

タイマー予約のしかた

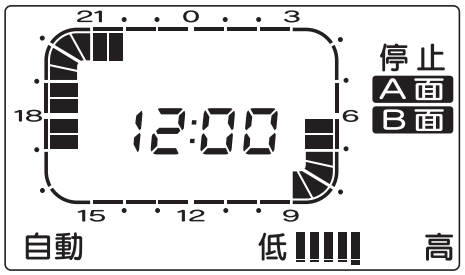
■床暖房リモコン



1 タイマー入/切 **を押す。**

- タイマーランプが点灯します。
- タイマーで設定した運転時刻になると自動で運転を開始し、運転終了時刻になると自動で運転を終了します。

■床暖房リモコン表示部



タイマー予約を解除する場合

2 タイマー予約中に タイマー入/切 **を押す。**

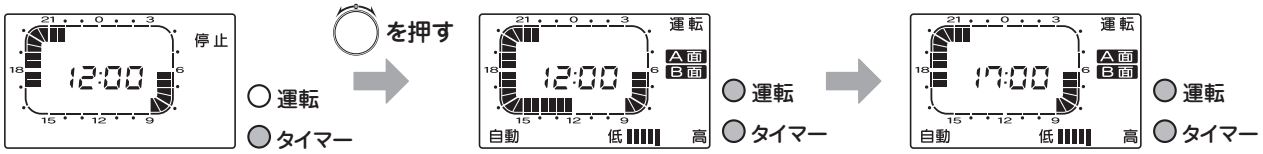
- タイマーランプが消灯します。
- 床暖房運転（タイマー運転）中に、タイマー予約を「切」にした場合、タイマーランプは消灯しますが、設定していた終了時刻まで運転します。

タイマー運転のしかた

お知らせ

・タイマー予約中は、タイマーランプが点灯します。
・時刻が設定されていないときは、タイマー運転できません。
・タイマー運転中にも床暖房温度を設定・調節できます。
・タイマー予約中も床暖房運転の「入」「切」ができます。その場合の動作は次のようになります。

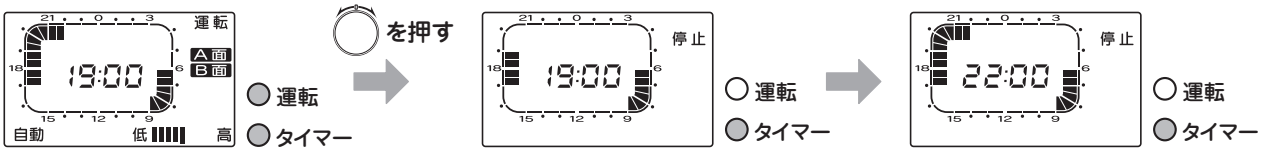
例:停止中の12:00に、床暖房運転を「入」にしたとき
（タイマー予約 6:00～9:00,17:00～22:00の場合）



次のタイマー運転開始時刻
（17:00）まで運転します。

17:00に引き続きタイマー運転に
なり、22:00で停止します。

例:タイマー運転中の19:00に、床暖房運転を「切」にしたとき
（タイマー予約 6:00～9:00,17:00～22:00の場合）



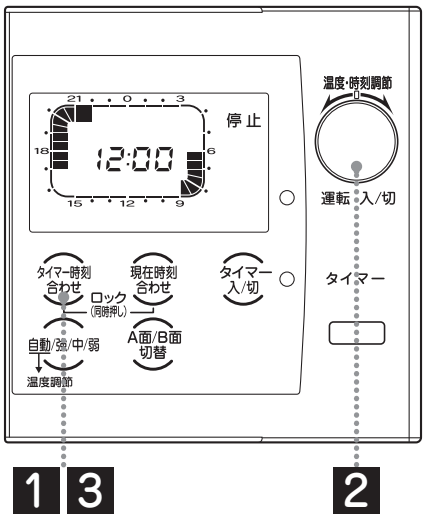
タイマー運転の残り時間が
キャンセルされます。

22:00に再びタイマー予約となり、
運転開始時刻（6:00）になると
タイマー運転を開始します。

タイマー運転のしかた

タイマー運転時間の設定

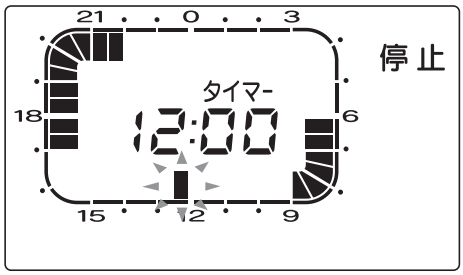
■床暖房リモコン



1 タイマー時刻合わせ **を押す。**

●「タイマー」表示が点灯し、現在時刻が 30 分単位で表示され、タイマー設定表示の現在時刻部分の目盛りが点滅します。

■床暖房リモコン表示部

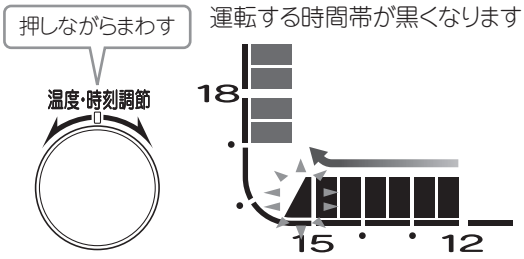


2 ◯ **をまわして、床暖房運転をしたい時間帯を選択します。**

運転したい時間帯

◯ **を押しながらまわします。**

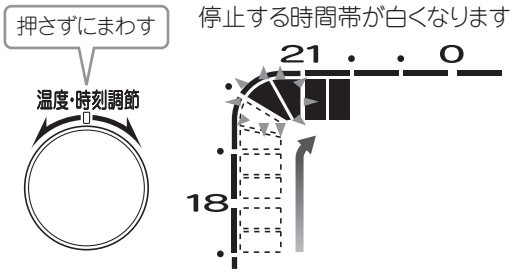
●選択された目盛りが黒くなり、「運転時間帯」を示します。



停止したい時間帯

◯ **を押さずにまわします。**

●選択された目盛りが白くなり、「停止時間帯」を示します。

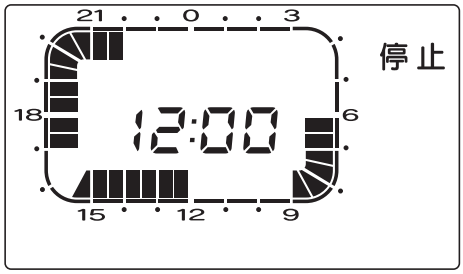


タイマー運転のしかた

3 タイマー時刻合わせ を押す。

- 「タイマー」表示が消灯し、タイマー時間が設定されます。
- タイマー時刻合わせ を押さずに 30 秒以上経過すると、設定が決定されます。

■床暖房リモコン表示部



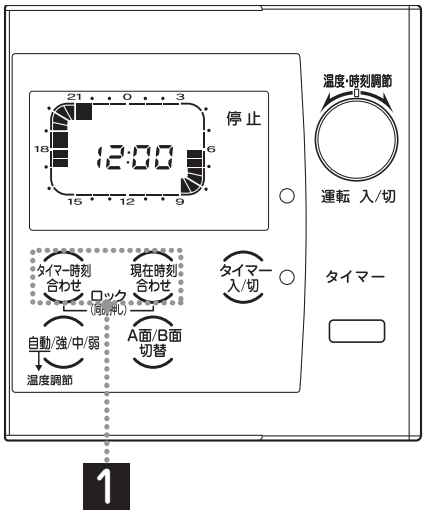
お知らせ

・設定は 30 分単位で、1 日に何度でもタイマー運転することができます。

ロック機能について

●お子様が誤って床暖房を運転しないよう床暖房リモコンのスイッチをロックします。

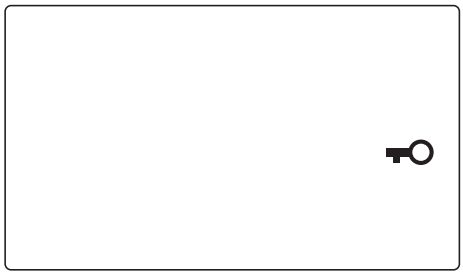
■床暖房リモコン



1 タイマー時刻合わせ と 現在時刻合わせ を 1 秒以上同時に押す。

●「ロック」表示のみが点灯し、すべてのスイッチ操作を受け付けなくなります。

■床暖房リモコン表示部



ロックを解除するとき

タイマー時刻合わせ と 現在時刻合わせ を 1 秒以上同時に押す。

●通常表示に戻り、ロック機能が解除されます。

お知らせ

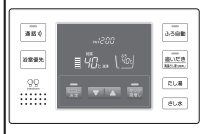
・床暖房運転中、タイマー運転中はロックできません。
・ロック中に○を押すと「ピピピピピッ」と警告音が鳴り、ロック状態であることをお知らせします。
・ロック機能は、ロック操作をおこなった床暖房リモコンに対してのみ有効です。
床暖房リモコンが複数台接続されている場合は、各リモコンごとにロック操作をおこなってください。

設定項目と設定方法

メニュー設定

● お買い上げ時の設定は、　になっています。

メニュー決定 → ▼ ▲ → メニュー決定

操作するリモコン	項目選択	設定項目（リモコン表示）	設定内容	設定・表示項目の変更	変更の確定／表示の終了	参照ページ
台所リモコン 増設リモコン	1回押し	**1.運転モード**	運転モードを設定します。	①運転モードの設定 **おまかせ省エネ⇔おまかせ⇔暖房⇔満タン（1週間）** ②ふろ保温の設定 **省エネ保温⇔通常保温** ③ふろ保温時間の設定 **0⇔1⇔2⇔3⇔4⇔5⇔6時間**	メニュー決定 確　定	50 51 52
	2回押し	**2.ナビモード**	使用可能湯量などを表示します。	**使用可能湯量⇔1週間使用量⇔保温残り時間⇔サービス店TEL**	メニュー決定 表示終了	53
	3回押し	**3.ふろ予約**	湯はり予約の入／切、入浴できる時刻を設定します。	①湯はり予約の設定 **入⇔切** ②**予約時刻の設定** 1分刻みで変更できます。 ※長押しで10分刻みになります。		55
	4回押し	**4.休止設定**	沸上げ休止日数を設定します。	**0⇔1⇔2⇔……⇔14⇔15日**	メニュー決定 確　定	57
	5回押し	**5.現在時刻設定**	現在時刻を設定します。	1分刻みで変更できます。 ※長押しで10分刻みになります。		18
	6回押し	**6.自動消灯設定**	リモコンの自動消灯／常時点灯の設定をします。	**あり⇔なし**		59
 浴室リモコン	1回押し	**ふろ温度**	ふろ湯はり温度を設定します。	**35⇔36⇔……⇔39⇔40⇔41⇔……※⇔46⇔47⇔48℃** ※46℃以上にあげるときは、▲を3秒以上長押しします。		—
	2回押し	**ふろ湯量**	ふろ湯はり湯量を設定します。	10L単位で設定します。 **100⇔110⇔……⇔170⇔180⇔190L⇔……**	メニュー決定 確　定	30
	3回押し	**保温時間**	ふろ自動運転の保温時間を設定します。	**0⇔1⇔2⇔3⇔4⇔5⇔6時間**		—
	4回押し	**シャワー可能時間**	シャワーの使用可能時間を表示します。	表示された時間を確認してください。	メニュー決定 表示終了	—

設定項目と設定方法

オプション設定

● お買い上げ時の設定は、　になっています。

3秒以上の長押し

メニュー 決定 → メニュー 決定 → ▼ ▲ → メニュー 決定

操作するリモコン	項目選択	設定項目（リモコン表示）	設定内容	設定・表示項目の変更	変更の確定／表示の終了	参照ページ
台所リモコン 増設リモコン	1回押し	保温 ※1	ふろ保温運転の省エネ保温／通常保温を設定します。	省エネ保温⇔通常保温	メニュー 決定 確　定	62
	2回押し	保温時間	ふろ自動運転の保温時間を設定します。	0⇔1⇔2⇔3⇔4⇔5⇔6時間		
	3回押し	TEL登録	故障時の連絡先（サービス店）の電話番号を登録します。	▼ ▲ ボタンで数字を増減し、メニュー 決定 ボタンで1桁右に移動します。	右端の桁を選択後、メニュー 決定 登録確定	63
	4回押し	湯増し量	タンク湯増しの1回の湯増し量を設定します。	50L⇔100L⇔満タン	メニュー 決定 確　定	—
	5回押し	床速暖モード	床暖房の速暖運転の有／無を設定します。	有⇔無		63
	6回押し	追いだき	追いだきの沸上げ温度を設定します。	おふろの設定温度プラス 0℃⇔1℃⇔2℃⇔3℃ を設定します。		—
	7回押し	フロ自動洗浄	おふろの残り湯を排水したときに、ふろ配管の自動洗浄の有／無を設定します。	有⇔無		
	8回押し	フロ凍結予防 ※2	ふろポンプ凍結予防運転の有／無を設定します。	有⇔無		
	9回押し	台所音量 ※3	台所リモコンの音量を設定します。	なし⇔小⇔中⇔大		
	10回押し	浴室音量 ※3	浴室リモコンの音量を設定します。	なし⇔小⇔中⇔大		
	11回押し	増設音量 ※3 ※4	増設リモコンの音量を設定します。	なし⇔小⇔中⇔大		
	12回押し	台所輝度	台所リモコン表示部の明るさを設定します。	明⇔暗		
	13回押し	浴室輝度	浴室リモコン表示部の明るさを設定します。	明⇔暗		
	14回押し	増設輝度 ※4	増設リモコン表示部の明るさを設定します。	明⇔暗		
	15回押し	操作音	リモコン操作音のあり／なしを設定します。	あり⇔なし		
	16回押し	通話時間 ※5	台所リモコンと浴室リモコンの間で1回（一方向）に通話できる時間を設定します。	なし⇔10秒⇔20秒⇔30秒		
	17回押し	終了	オプション設定の終了を設定します。	する⇔しない 「しない」を選ぶと保温に戻ります。		

※1 運転モードが「おまかせ省エネ」の場合は、「省エネ保温」のみの設定になります。
※2 基本的にふろ凍結予防運転は「有」で使用してください。ふろ凍結予防運転を「無」にした場合は、ふろ凍結予防運転が働かなくなりふろ配管が凍結する場合があります。必ずふろ配管の凍結防止ヒータの追加、保温材の追加等十分な処置をおこなってください。
（凍結予防対策をしない、または不十分な対策によりふろ配管が凍結した場合の修理は有料です。）
※3 音量を「なし」に設定しても警告音と湯はり終了後のメロディは鳴ります。
※4 増設リモコン（別売品）を使用した場合に表示します。
※5 通話時間を「なし」に設定すると通話できません。呼出音のみになります。

運転モードについて

●お買い上げ時の運転モードの設定は、最も省エネとなる「おまかせ省エネ」になっています。必要に応じて運転モードを変更してください。

運転モードの種類

おまかせ省エネ

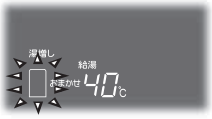
■おすすめの省エネモード〈学習機能付き〉

- 毎日の使用湯量を学習して、最適なお湯の量を自動で沸かします。
  （夏場などお湯の使用量が少ないときは、満タンまで沸かさない場合があります。）
- 昼間でも必要に応じて、自動で湯増し運転をします。

こんなときは、運転モードを「おまかせ」に変更してください。

※効率が低下し、消費電力量が増える場合があります。

①貯湯量表示の点滅がひんぱんに出るとき



②ひんぱんに タンク湯増し を押して必要な湯量を確保しなければならないとき

③床暖房を使用して、ひんぱんに タンク湯増し を押して必要な湯量を確保しなければならないとき

おまかせ

■「おまかせ省エネ」ではお湯がたりない場合

- 「おまかせ省エネ」より、多めにお湯を沸かします。〈学習機能付き〉
- 昼間でも必要に応じて、自動で湯増し運転をします。

こんなときは、運転モードを「おまかせ省エネ」に変更してください。

リモコンの1週間の使用量表示が「最大 500L／日」を超えないとき（→53ページ「ナビモード」）

暖房

■「おまかせ」でもお湯がたりない場合〈学習機能付き〉

- 昼間でも必要に応じて、自動で湯増し運転をします。

- 〈学習機能付き〉とは…季節や過去の使用湯量を計算し、ムダなお湯を作らないよう、効率的に沸上げをおこないます。
- お湯の使用量の目安
  - ・洗面と台所：約20～30L／1人
  - ・ふろ湯はり：約200L／回
  - ・シャワー　：約50～80L／回

満タン（1週間）

■いつもより多くお湯を使う予定がある場合・終日お湯を使う場合

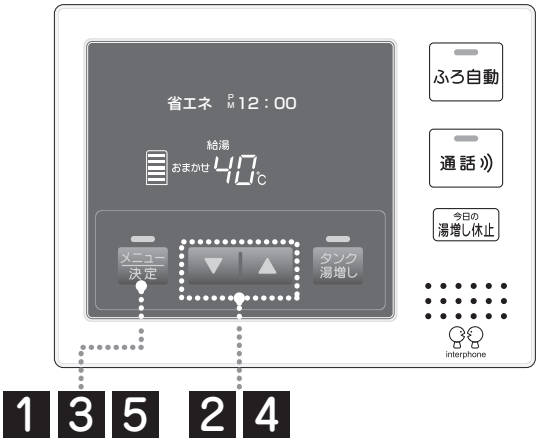
- 満タンになるように沸上げます。
  リモコンの貯湯量表示 のバーが1本減るとタンク湯増し運転をします。
- 「満タン」設定後、1週間経過すると「満タン」設定前に使用していた運転モードになります。

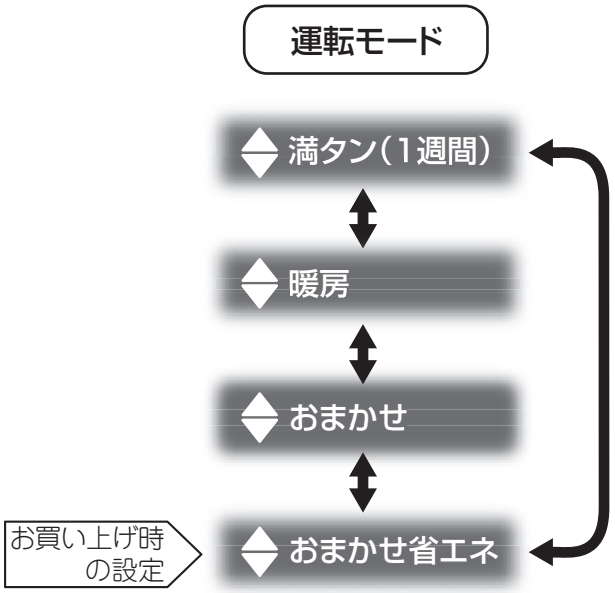
- 運転モードの変更方法は、51ページをご覧ください。

運転モードの変更

●お使いになるお湯の量に合わせて、運転モードを変更することができます。また、同時に保温の種類の設定および保温時間の設定も変更できます。
●台所リモコン・増設リモコンからおこないます。
●お買い上げ時の運転モードは最も省エネとなる「おまかせ省エネ」です。

■台所リモコン





運転モードの変更

1 メニュー決定 を押して「1 運転モード」を選び、表示させる。

2 ▼ または ▲ を押して、運転モードを選ぶ。

3 メニュー決定 を押して決定する。

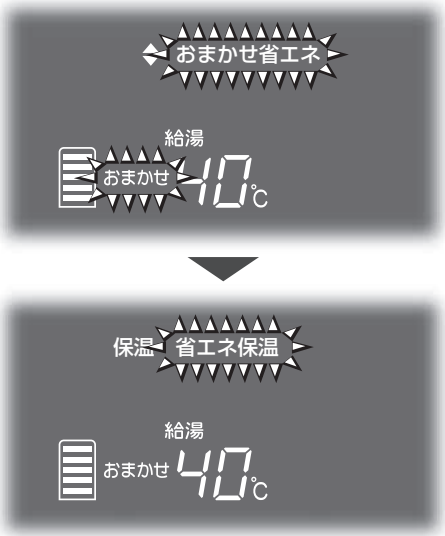
ふろ保温の設定

4 ▼ または ▲ を押して「省エネ保温」または「通常保温」を選ぶ。

●運転モードが「おまかせ省エネ」の場合は、「省エネ保温」のみの設定になります。

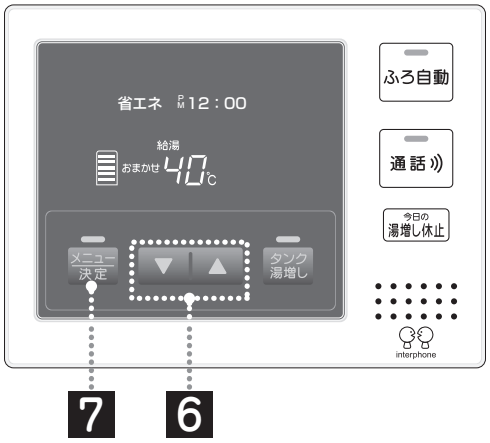
5 メニュー決定 を押して決定する。

■台所リモコン表示部



運転モードの変更

■台所リモコン



ふろ保温時間の設定

6 ▼ または ▲ を押して、ふろ保温時間を選ぶ。

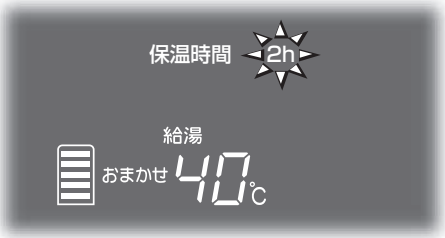
設定範囲（h）	0	1	2	3	4	5	6

※保温運転を停止したいときは「0h」にしてください。

7 メニュー決定 を押して決定する。

●「設定されました」と音声と表示でお知らせします。

■台所リモコン表示部



お知らせ

- スイッチ操作が 20 秒以上ないときは、設定は決定されず、通常表示に戻ります。「運転モードの変更」をはじめからやり直してください。
- 設置日から 1 週間ほどは、マイコン学習期間のためその後の動作とは一部異なる場合があります。
- 次のときは運転モードの設定はできません。
  時刻未設定時、休止中、今日の湯増し休止中、タンク湯増し運転中。

ナビモード

●使用可能湯量などの情報を表示します。（表示される内容は目安です。）
●台所リモコン・増設リモコンから情報を見ることができます。

表示項目一覧

使用可能湯量表示

現在の貯湯量で使用できるお湯の量と時間の目安を表示します。

●浴槽マークは、貯湯タンクの貯湯量をもとに、湯はりを1回できるかどうかを判断して回数（0または1回）を表示します。
●シャワーマークは、湯はり回数を除いた残りの湯量でシャワーを使用できる時間の目安を表示します。
シャワーに使用できる時間は5分単位で表示します。
シャワー使用時間は給湯温度、前日までのお湯の使い方等によって変わります。

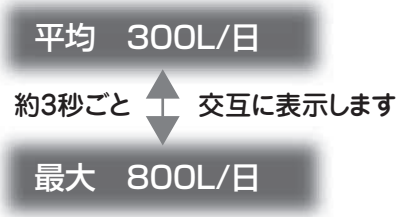
保温残り時間表示

ふろ自動運転（自動保温）の残り時間の目安を表示します。

●ふろ自動運転がおこなわれていないときは、「0時間0分です」と表示します。

1 週間使用量表示

過去1週間で使用した平均給湯量と最大給湯量の目安を表示します。



サービス店 TEL 表示

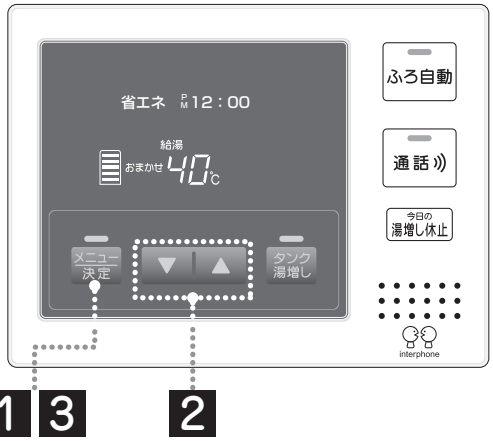
故障時の連絡先の電話番号を表示します。

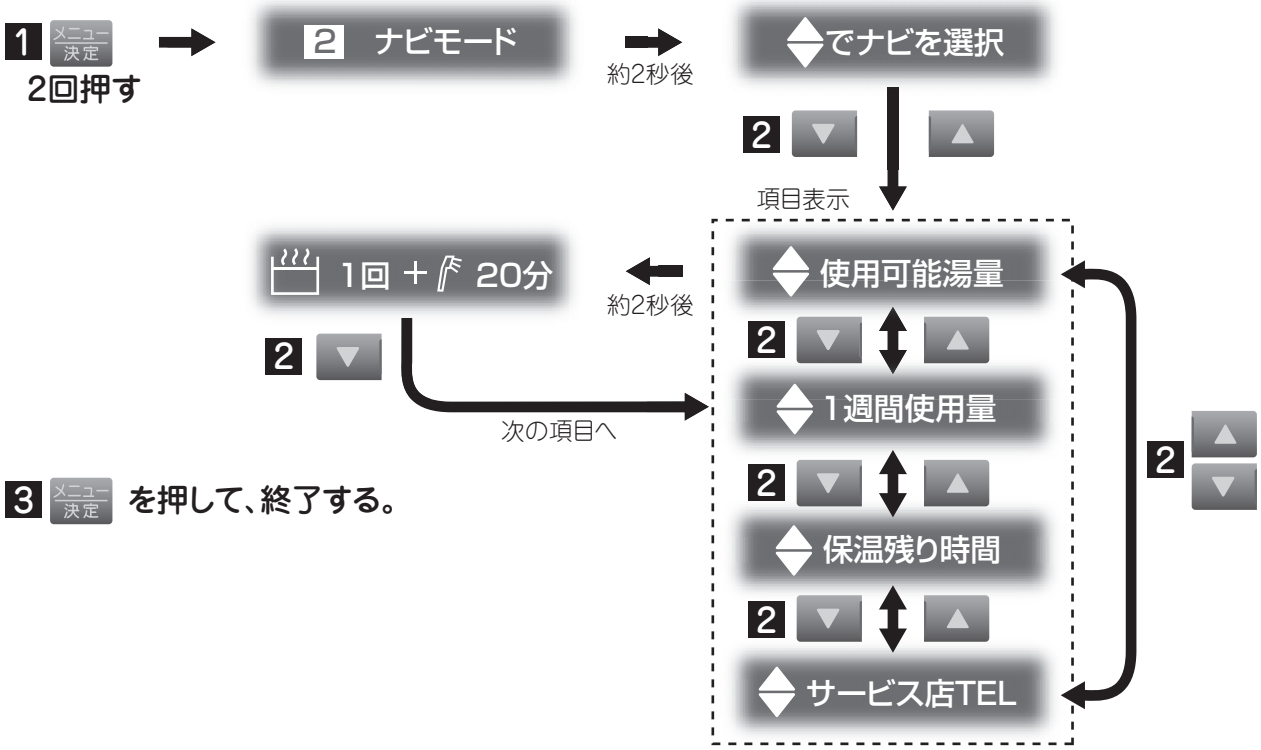
●オプション設定で登録したTEL番号を表示します。
●TEL番号が設定されていない場合はこの項目は表示しません。
●サービス店の電話番号が設定されていない場合は、オプション設定で電話番号登録が必要です。
（→63ページ）

ナビモード

操作概要

■台所リモコン



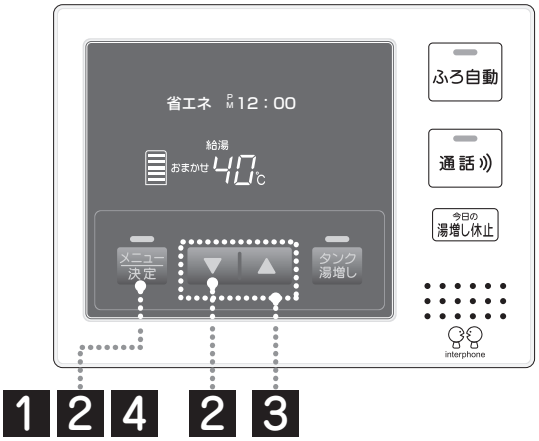


● メニュー 決定 を押さない場合は、内容を約 30 秒間表示すると通常表示に戻ります。

湯はりの予約（ふろ予約）

●ふろ予約を設定すると、予約した時刻に入浴できるよう自動湯はりをおこないます。
●台所リモコン・増設リモコンからおこないます。

■台所リモコン



おふろを確認する。

●おふろの排水栓を閉じてください。
●おふろにふたをしてください。

1 メニュー決定 を押して「3 ふろ予約」を選び、表示させる。

●その後現在のふろ予約設定が表示されます。

2 ▼ を押して「入」を選び、メニュー決定 を押す。

●「時刻を合わせてください」と音声でお知らせし、「時・分」が点滅します。
（前回設定した予約時刻を表示します。）

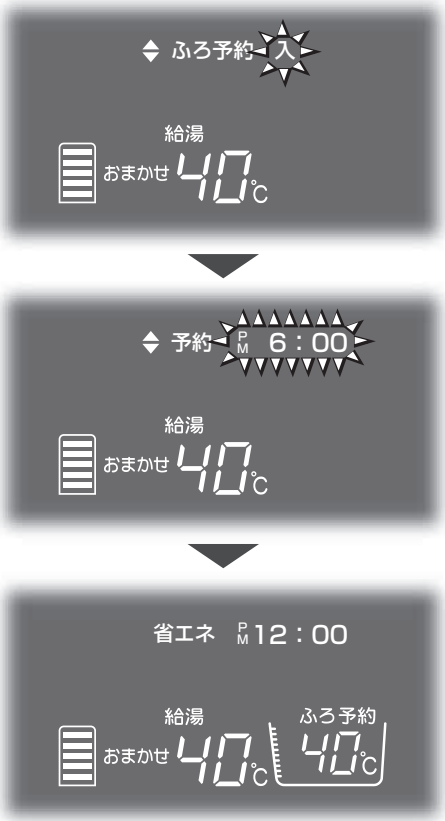
3 ▼ または ▲ を押して、予約時刻を合わせる。

● ▲ を押すと 1 分ずつ進みます。
▼ を押すと 1 分ずつ戻ります。
●押し続けると、10 分単位で切り替わります。

4 メニュー決定 を押して決定する。

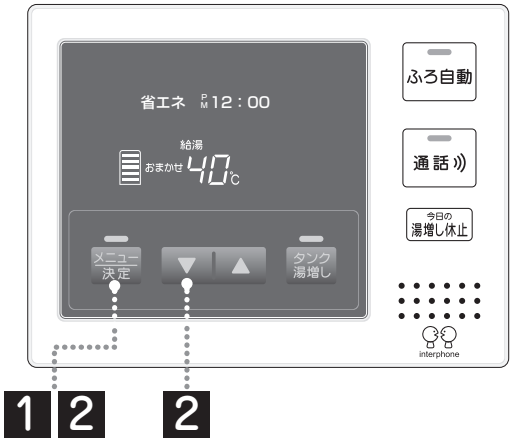
●「設定されました」と音声と表示でお知らせし、「ふろ予約」が点灯して、現在時刻表示に戻ります。
浴室リモコンにも「ふろ予約」が点灯します。

■台所リモコン表示部



湯はりの予約（ふろ予約）

■台所リモコン



湯はりの予約を解除する場合

1 **予約中に メニュー 決定 を押し「3 ふろ予約」を選び、表示させる。**

●ふろ予約の「入」が表示されます。

2 **▼ を押して「切」を選び、 メニュー 決定 を押す。**

●「設定されました」と音声と表示でお知らせし、「ふろ予約」が消灯して、ふろ予約が解除されます。

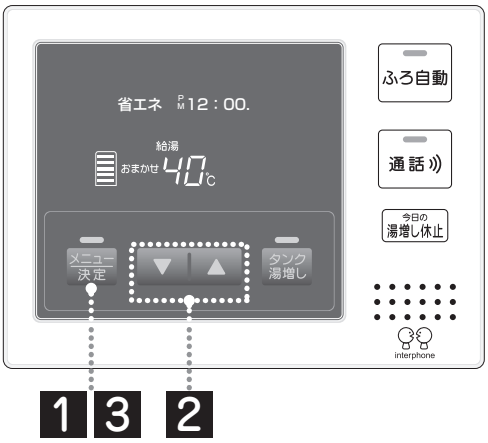
お知らせ

- ふろ予約は、入浴時刻（湯はり完了時刻）の 30 分以上前におこなってください。30 分以内に予約した場合は、予約した時刻に湯はりが完了しないことがあります。
- 現在時刻が正確でないと、予約した時刻に湯はりが完了しません。
- ふろ予約は、湯はり動作が開始すると自動的に解除されますので、ふろ予約をおこなう場合は、毎回その都度予約操作をおこなってください。
- ふろ予約中に ふろ自動 、 追いだき 高温さし湯（3秒押し） 、 たし湯 、 さし水 を押すと、予約は解除されます。
  また、ふろ配管洗浄（配管洗浄）を開始すると予約は解除されます。
- 湯はり中に、台所やシャワーなどでお湯を使用すると、湯はり量が減り予約時刻までに湯はりが完了しないことがあります。
- 次の動作中はふろ予約できません。
  ふろ自動運転中、追いだき中、高温さし湯中、たし湯中、さし水中、ふろ配管洗浄（配管洗浄）中。
- スイッチ操作が 20 秒以上ないときは、設定は決定されず、通常表示に戻ります。

休止設定

●旅行などで数日間お湯を使用しないときは、沸上げを休止させることができます。
最長 15 日間までの設定ができます。
●台所リモコン・増設リモコンからおこないます。

■台所リモコン



⚠ 注意

●電源を「OFF」にしない
冬の凍結のおそれがあるときには、自動的に凍結予防運転をおこない、ヒートポンプ配管およびヒートポンプユニットの凍結を予防します。また、貯湯ユニットは凍結防止ヒータで凍結を予防します。

お願い

●15 日間までの休止設定はできますが、16 日間以上の長期間不在の場合は、水抜きをおこなってください。（→ 69 ページ）

1 メニュー決定 を押して「4 休止設定」を選び、表示させる。

● その後現在の設定が点滅します。

2 ▼ または ▲ を押して、休止日数を選ぶ。

設定範囲（日）	0	1	2	・・・	13	14	15

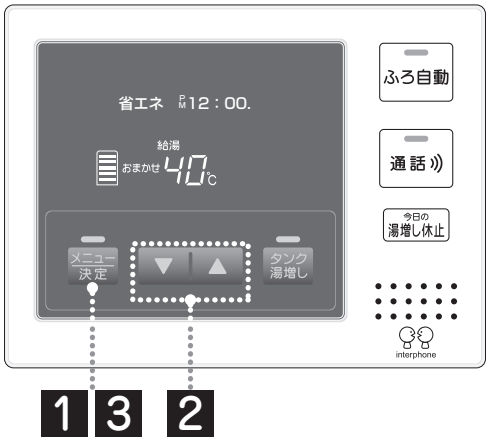
3 メニュー決定 を押して決定する。

●「設定されました」と音声と表示でお知らせし、「○日後に帰宅」が表示されます。

■台所リモコン表示部

休止設定

■台所リモコン



休止設定を解除する場合

1 メニュー決定 **を押して「4 休止設定」を選び、表示させる。**

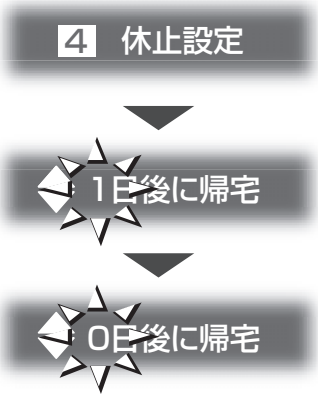
●その後現在の設定が点滅します。

2 ▼ **または** ▲ **を押して、休止日数「0」を選ぶ。**

3 メニュー決定 **を押して決定する。**

●「設定されました」と音声と表示でお知らせします。

■台所リモコン表示部



お知らせ

・お湯を使用しない期間を設定する際は、下記の設定例を参考にしてください。

【設定例 1】

12 月 1 日に出発し、12 月 5 日に帰宅する 4 泊 5 日の旅行の場合（1 日から 4 日まで入浴せず、5 日は入浴する）、「4 日後に帰宅」を設定します。

【設定例 2】

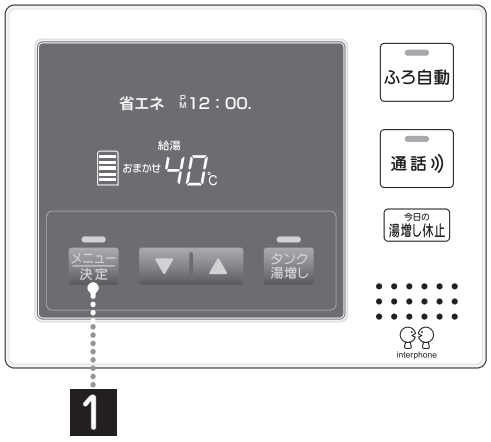
「1 日後に帰宅」に設定した場合、設定したときから翌日の午前 0 時までの沸上げが休止します。

・スイッチ操作が 20 秒以上ないときは、設定は決定されず、通常表示に戻ります。

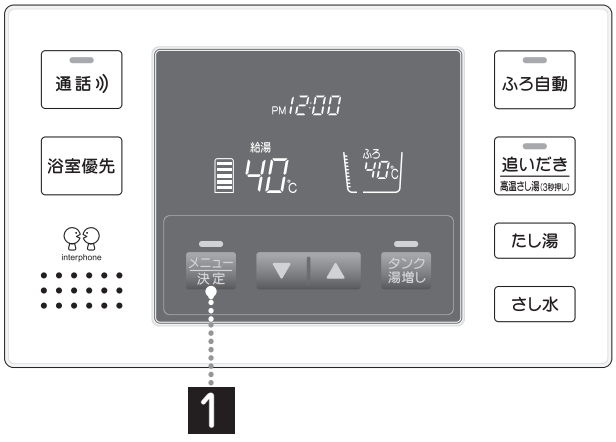
リモコンの自動消灯設定

●台所リモコン・浴室リモコン・増設リモコンの表示は、一定の時間スイッチ操作や給湯をしないとき、自動的に消灯します。
●台所リモコン・増設リモコンから自動消灯するか、常時点灯するかの設定をおこなうことができます。
●お買い上げ時の設定は、自動消灯「あり」です。

■台所リモコン



■浴室リモコン



（浴室リモコンからは自動消灯の設定はできません。）

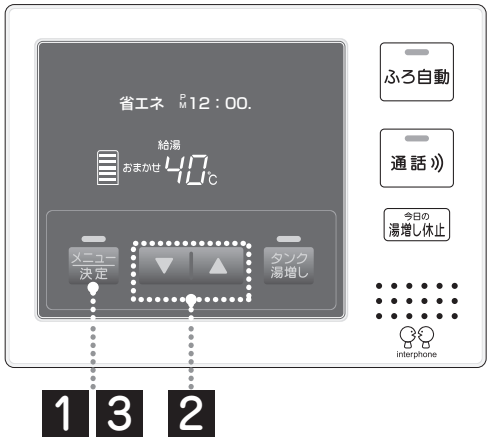
表示を点灯させる

1 メニュー 決定 **を押す。**

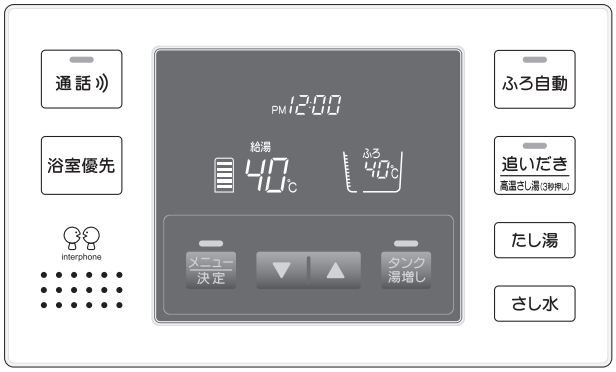
● すべてのリモコンが点灯します。

リモコンの自動消灯設定

■台所リモコン



■浴室リモコン



（浴室リモコンからは自動消灯の設定はできません。）

自動消灯設定（台所リモコン）

1 メニュー決定 **を押して「6 自動消灯設定」を選び、表示させる。**

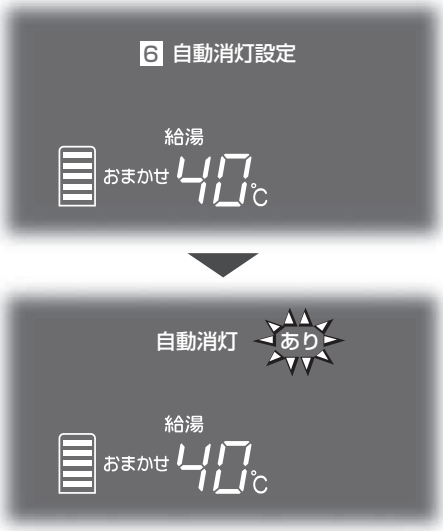
●その後現在の設定が点滅します。

2 ▼ **または** ▲ **を押して、自動消灯を設定する。**

3 メニュー決定 **を押して決定する。**

●「設定されました」と音声と表示でお知らせします。

■台所リモコン表示部



お知らせ

- **リモコンは、1 分（※）以上スイッチ操作や給湯を使用しないと表示は自動的に消灯します。**
  ※運転モードが「おまかせ省エネ」以外に設定されている場合は、約 25 分で消灯します。
- **貯湯量が少ない（貯湯量表示が点滅中）ときは、自動消灯「あり」の設定でも表示は消えません。貯湯量が確保されれば消灯します。**
- **消灯時にリモコンのスイッチ操作および蛇口から給湯するとリモコンの表示が点灯します。**
- **給湯温度が 60℃に設定されている場合（「高温」表示中）、表示は消灯しません。**
- **自動消灯中は** メニュー決定 **のランプが点灯します。**
- **スイッチ操作が 20 秒以上ないときは、設定は決定されず、通常表示に戻ります。**

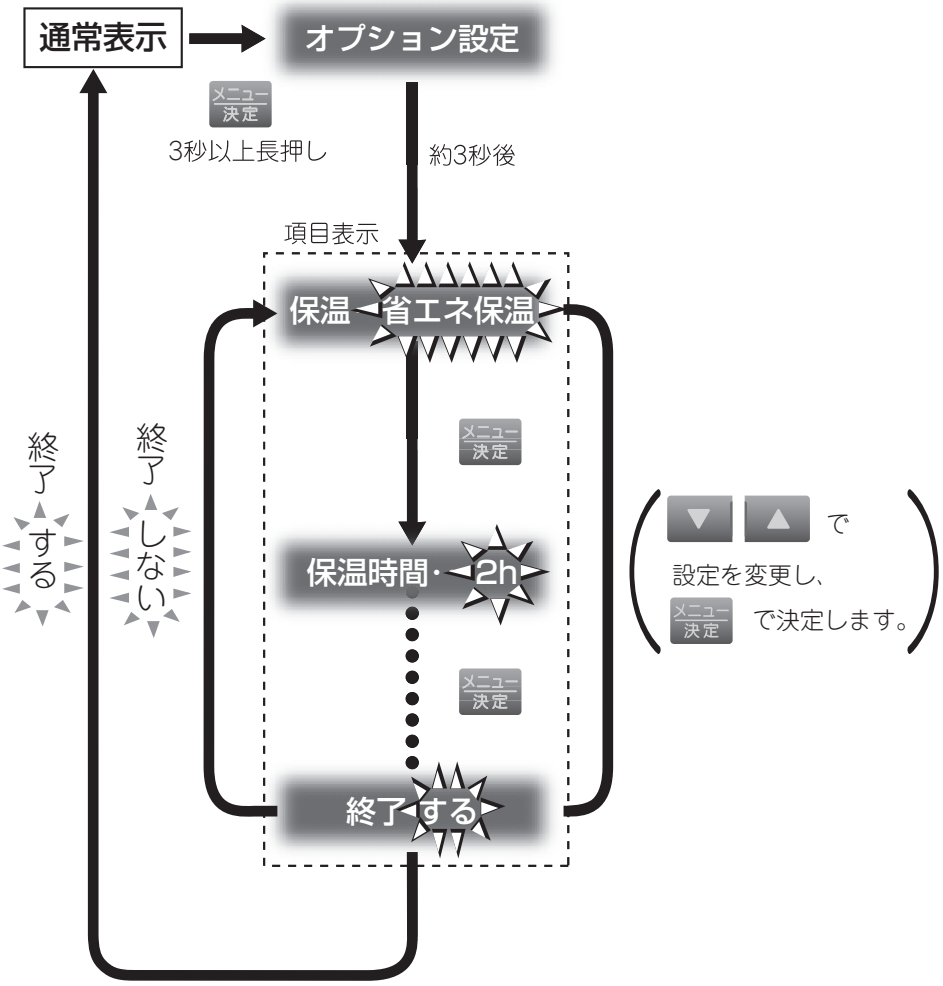
オプション設定

●台所リモコン・増設リモコンの メニュー 決定 を 3 秒以上押すことにより設定をおこなうことができます。

操作概要

オプション設定項目

1回押し	保温
2回押し	保温時間
3回押し	TEL登録
4回押し	湯増し量
5回押し	床速暖モード
6回押し	追いだき
7回押し	フロ自動洗浄
8回押し	フロ凍結予防
9回押し	台所音量
10回押し	浴室音量
11回押し	増設音量※
12回押し	台所輝度
13回押し	浴室輝度
14回押し	増設輝度※
15回押し	操作音
16回押し	通話時間
17回押し	終了

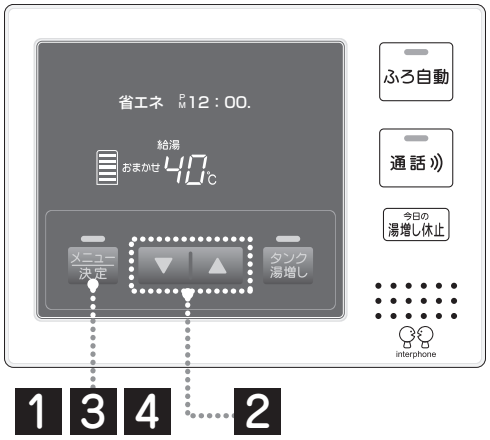


※増設リモコン（別売品）を使用した場合に表示します。

●20 秒以上スイッチ操作をしないと通常表示に戻ります。

オプション設定

■台所リモコン



ふろ保温の種類

1 メニュー決定 を 3 秒以上押す。

●「オプション設定」が表示され、その後「保温」が表示されます。

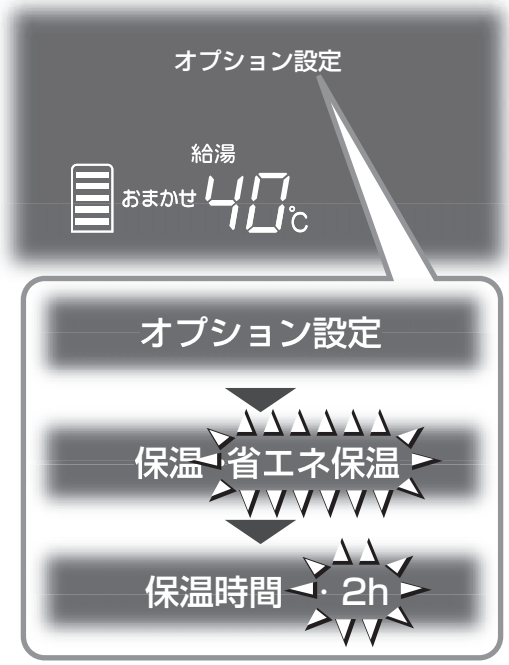
2 ▼ または ▲ を押して、「省エネ保温」または「通常保温」を選ぶ。

●運転モードが「おまかせ省エネ」の場合は、「省エネ保温」のみの設定になります。
（→ 26 ページ）

3 メニュー決定 を押して決定する。

●「設定されました」と音声と表示でお知らせし、次の項目に進みます。

■台所リモコン表示部



ふろ保温時間

1 設定項目として「保温時間」を選ぶ。

2 ▼ または ▲ を押して、保温時間を選ぶ。

設定範囲（h）	0	1	2	3	4	5	6

※保温運転を停止したいときは「0h」にしてください。

3 メニュー決定 を押して決定する。

オプション設定

TEL 登録

故障時の連絡先（サービス店）の電話番号を登録できます。

1 設定項目として「TEL 登録」を選ぶ。

2 ▼ または ▲ を押して、登録する電話番号の数字を入力する。

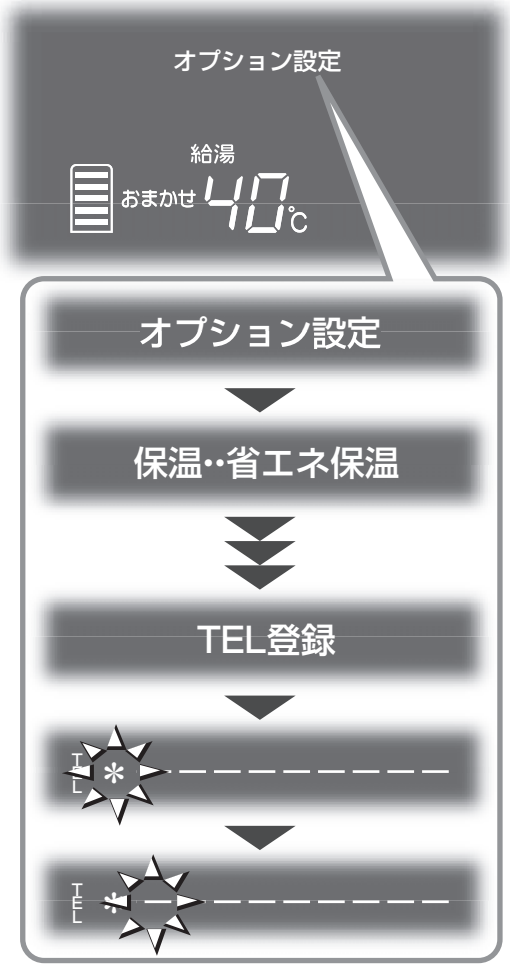
3 メニュー 決定 を押して 1 桁ずつ決定する。

- メニュー 決定 を押すと、表示の点滅部が 1 桁右に移動します。

4 2、3 の動作を繰り返し、電話番号を入力する。

- 番号表示の右端の数字を入力（最大 13 桁）するか － 表示がでたら メニュー 決定 を押すと、「設定されました」と音声と表示でお知らせします。

■台所リモコン表示部



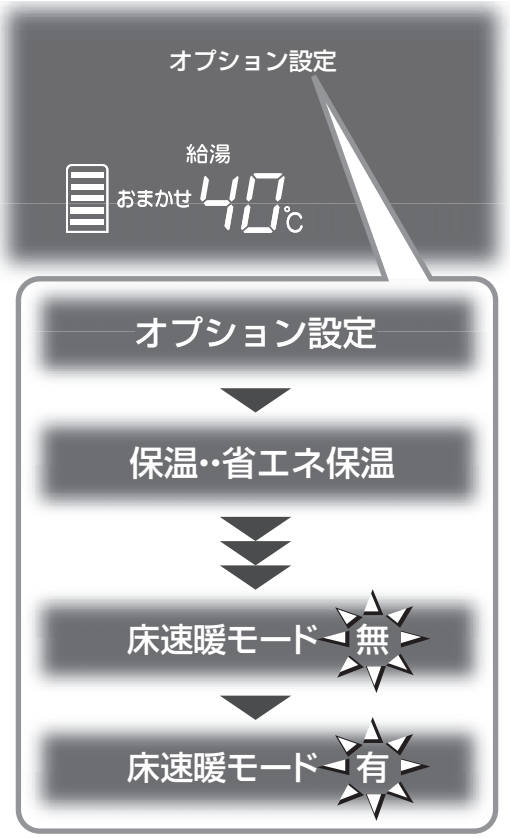
床速暖モード

1 設定項目として「床速暖モード」を選ぶ。

2 ▼ または ▲ を押して、「有」または「無」を選ぶ。

3 メニュー 決定 を押して決定する。

■台所リモコン表示部



オプション設定

オプション設定を終了するとき

1 メニュー 決定 を押して「終了する」を選び、表示させる。

2 メニュー 決定 を押して決定する。

■台所リモコン表示部

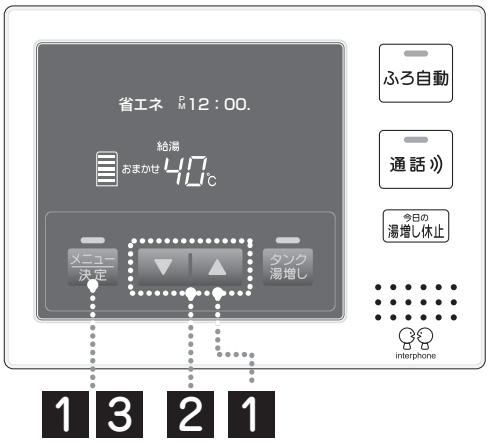
お知らせ

- 機器に異常が発生したとき、リモコンにエラー表示と登録した電話番号が交互に表示されます。TEL 登録されていない場合は、「修理必要」と表示されます。（→ 85 ページ）
- 設定された電話番号は、ナビモードで確認することができます。（→ 53 ページ）
- スイッチ操作が 20 秒以上ないときは、設定は決定されず、通常表示に戻ります。
- 床速暖モードの設定を「有」にすると、床暖房パネルは早く暖まりますが、お湯を多く使用するため電気料金が高くなる場合があります。
- 床速暖モードの設定が「有」でも、他の部屋の床暖房を運転している場合などは作動しないことがあります。

電力契約の設定

●時間帯別電灯契約の種類によって深夜時間帯および安価な時間帯が異なります。設定が合っていないと電気代が高くなることがありますので、正しい電力契約を選択してください。
●台所リモコン・増設リモコンからおこないます。

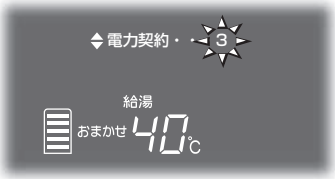
■台所リモコン



1 メニュー決定 と ▲ を同時に５秒以上押す。

●現在の設定が点滅します。
（お買い上げ時の設定は３です。）

■台所リモコン表示部



2 ▼ または ▲ を押し、電力契約を切り替える。

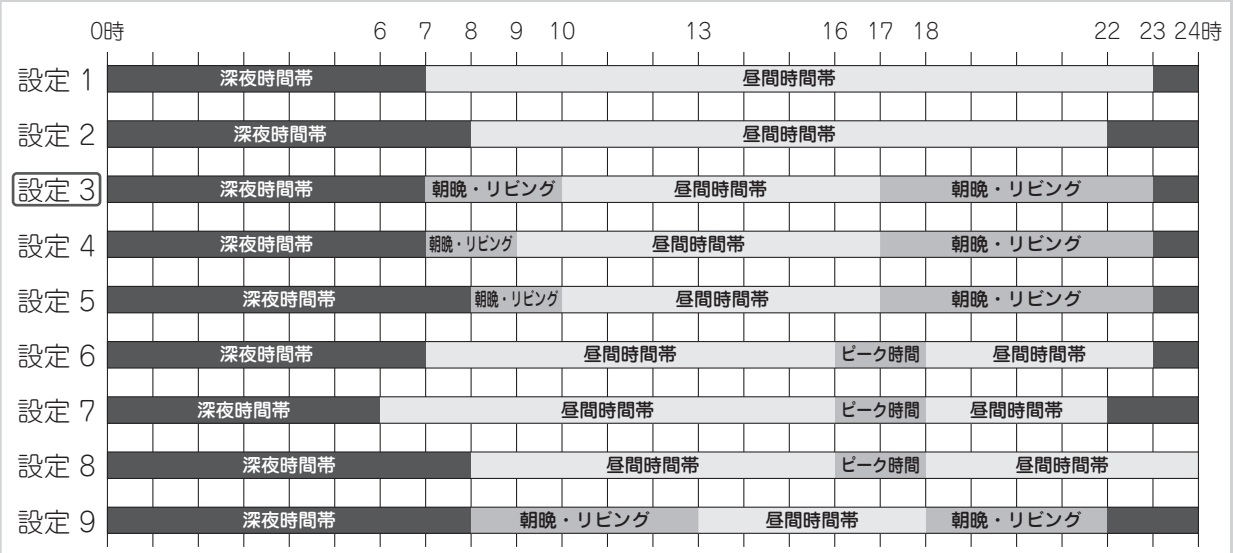
1 ↔ 2 ↔ 3 ↔ 4 ↔ 5 ↔ 6 ↔ 7 ↔ 8 ↔ 9

3 メニュー決定 を押して決定する。

●「設定されました」と音声と表示でお知らせします。

電力契約の内容

電力契約の内容は、次のようになっています。地域の電力会社によっては異なりますので、詳しくはお買い上げの販売店または最寄りの当社営業所にお問い合わせください。


0時 6 7 8 9 10 13 16 17 18 22 23 24時
設定 1 深夜時間帯 昼間時間帯
設定 2 深夜時間帯 昼間時間帯
設定 3 深夜時間帯 朝晩・リビング 昼間時間帯 朝晩・リビング
設定 4 深夜時間帯 朝晩・リビング 昼間時間帯 朝晩・リビング
設定 5 深夜時間帯 朝晩・リビング 昼間時間帯 朝晩・リビング
設定 6 深夜時間帯 昼間時間帯 ピーク時間 昼間時間帯
設定 7 深夜時間帯 昼間時間帯 ピーク時間 昼間時間帯
設定 8 深夜時間帯 昼間時間帯 ピーク時間 昼間時間帯
設定 9 深夜時間帯 朝晩・リビング 昼間時間帯 朝晩・リビング

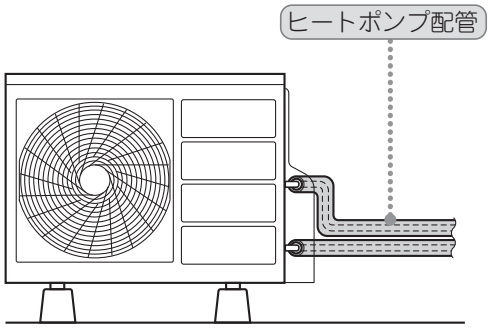
	北海道電力	東北電力	東京電力	中部電力	北陸電力	関西電力	中国電力	四国電力	九州電力	沖縄電力
設定１		やりくりナイト８	おトクなナイト８	タイムプラン	エルフナイト８	時間帯別電灯		得トクナイト 電化deナイト	時間帯別電灯	時間帯別電灯
設定２		やりくりナイト10 やりくりナイトS	おトクなナイト10		エルフナイト10 エルフナイト10プラス				よかナイト10 電化deナイト	
設定３			電化上手			はぴeタイム				Eeらいふ
設定４				Eライフプラン						
設定５							ファミリータイム エコノミーナイト			
設定６	ドリーム8エコB									
設定７	ドリーム8エコA									
設定８	ドリーム8エコC									
設定９	eタイム3									

冬期の凍結予防について

●冬期は暖かい地域でも、給水・給湯配管、ふろ配管、ヒートポンプ配管内の水が凍結し、破損事故が起こることがあります。
お買い上げの販売店または工事店へ相談し、適切な凍結防止対策をしてください。

ヒートポンプ配管の凍結予防

●凍結しそうな外気温になると、ヒートポンプユニットを自動的に運転してヒートポンプ配管内の凍結を予防します。



⚠注意

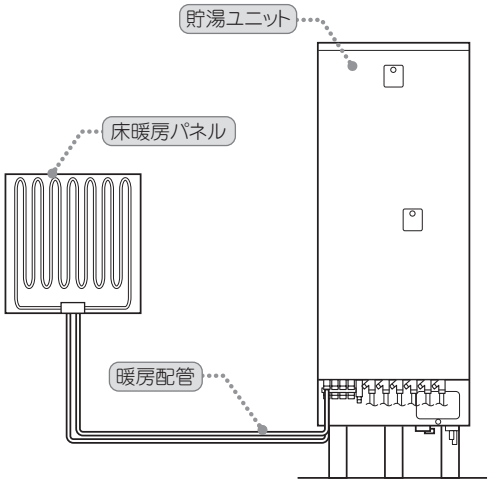
●電源を「OFF」にしない
冬期は凍結して機器が破損することがあります。
電源を「OFF」にする場合は、貯湯ユニットとヒートポンプユニットの排水をしてください。
（→ 69 ページ）

■ 電源を入れたままにしておく。

●外気温が約 3℃以下になると、自動でヒートポンプ配管に水を循環させます。また、外気温がさらに低いときには、ヒートポンプユニットが運転する場合があります。

暖房配管の凍結予防

●凍結しそうな外気温度になると、暖房回路の循環液を循環させて凍結を予防します。



■ 電源を入れたままにしておく。

●外気温が約 3℃以下になると、暖房ポンプを運転し、暖房配管に循環液を循環させます。

※外気温が約 3℃以下になると、凍結予防運転により、運転していない床暖房パネルが暖まる場合があります。

お知らせ

・暖房回路の循環液に「不凍液」を使用している場合には、凍結予防運転をしないよう設定している場合があります。

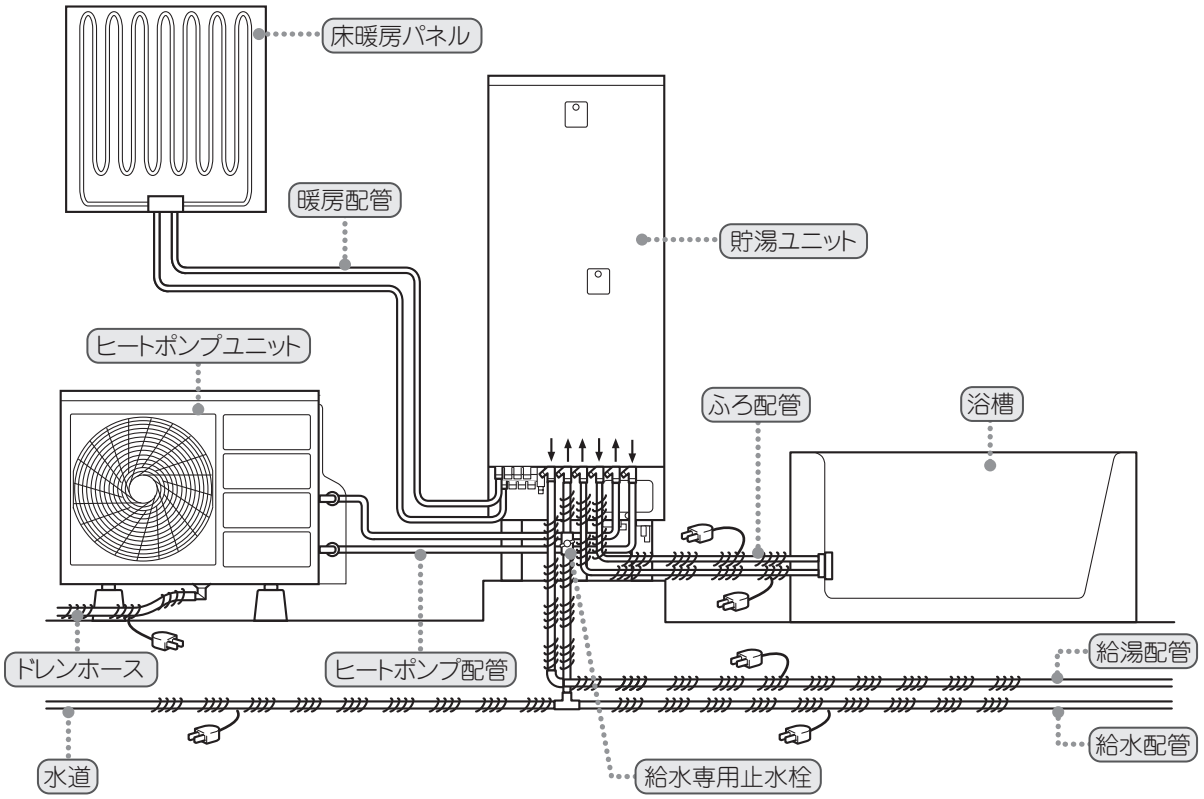
冬期の凍結予防について

凍結防止ヒータ（その他配管の凍結予防）

● 凍結防止ヒータを使用するときは、すべての電源プラグをコンセントに差し込みます。
● 凍結防止ヒータを使用しないときは、すべての電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠ 注意

●配管の凍結防止対策を確認する
凍結すると機器が破損したり配管が破裂し、やけどや水漏れをすることがあります。



お願い

●配管が凍結した場合は、給水専用止水栓を閉じて、お買い上げの販売店または工事店へご連絡ください。

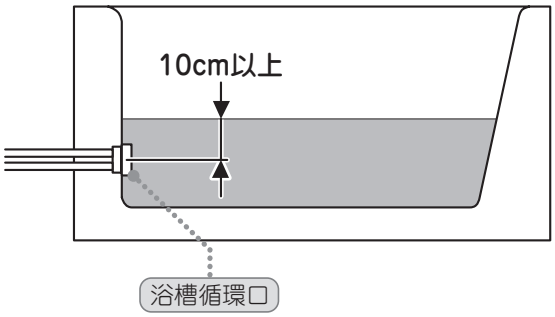
お知らせ

・暖房配管の循環液に「不凍液」を使用している場合は、暖房配管へ凍結防止ヒータを取り付ける必要はありません。

冬期の凍結予防について

ふろ配管の凍結予防（おふろの残り湯循環）

●ふろ自動保温または追いだき終了後、凍結しそうな外気温になると、循環ポンプを自動的に運転してふろ配管の凍結を予防します。凍結するおそれのある地域では、凍結防止ヒータでの凍結予防もおこなってください。



■ 入浴後、おふろのお湯を排水せず残しておく。

●循環ポンプが凍結するおそれのある気温になると、循環ポンプが自動的に運転して凍結を予防します。凍結のおそれのあるときは、おふろに循環口より10cm 以上水を残して、循環ポンプが空運転しないよう注意してください。

この方法は、循環ポンプの凍結は予防しますが、ふろ配管の凍結は防げませんので、ふろ配管は必ず保温材を巻くなどして凍結予防の処置をしてください。
また、貯湯ユニットや浴槽循環口との接続部についても、露出していると凍結のおそれがありますので必ず保温してください。

お知らせ

- **ふろ自動保温または追いだき終了後、入浴中でも凍結予防運転が働き、配管内の冷めたお湯がおふろに出ることがあります。**
- **残り湯がある場合は、凍結予防の条件になると繰り返し凍結予防運転をおこないます。**
- **残り湯が少ないときや、ない場合は、浴槽循環口からボコボコと音がしたり、水が出たりすることがありますが、異常ではありません。**

長期間お湯を使用しないとき

水抜きをする（16 日間以上使用しないとき）

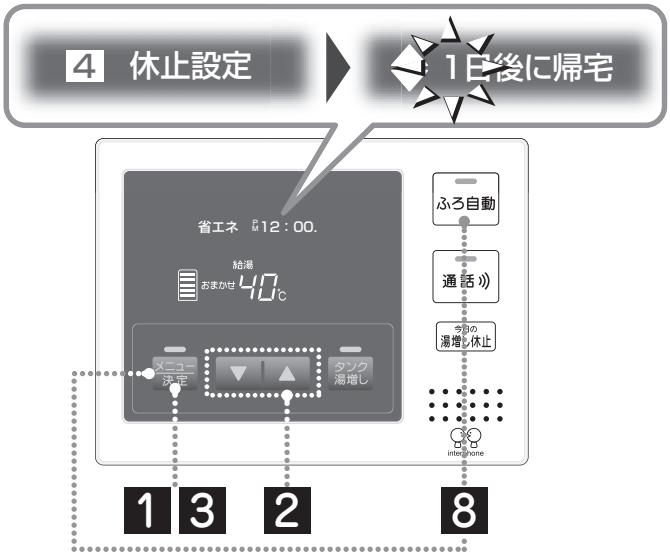
⚠ 警告

- **排水時はお湯に手を触れない**
  やけどをすることがあります。
- **貯湯ユニットの内部配管には手を触れない**
  やけどすることがあります。
- **漏電ブレーカを操作するときは、ぬれた手でおこなわない**
  感電することがあります。

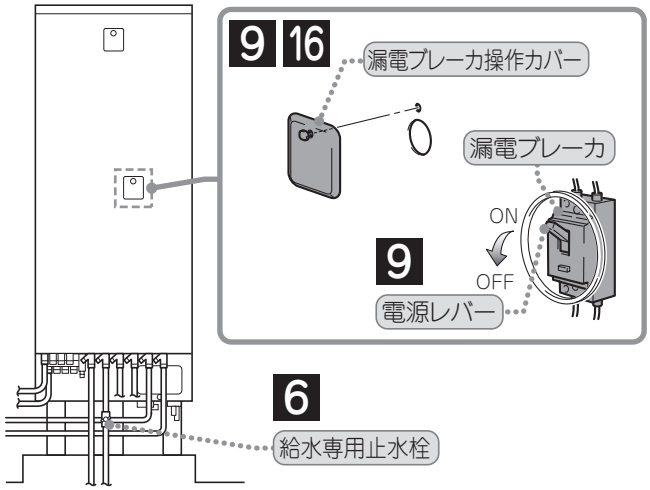
⚠ 注意

- **16 日間以上使用しないときは、漏電ブレーカの電源レバーを「OFF」にして貯湯ユニットとヒートポンプユニットの排水をする**
  排水をしないと水質が変化することがあります。また、冬期は凍結して機器が破損することがあります。
- **操作カバーを閉じる**
  開けたままにしておくと雨水やゴミが入り、漏電や感電することがあります。

■台所リモコン



■貯湯ユニット

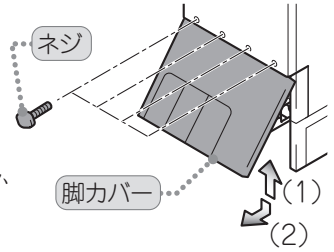


別売品の配管カバーまたは脚カバーを装着している場合は、カバーをはずしてください。
（カバーの端面で手を切らないよう注意してください。）

【はずし方】

(1) ネジ4本をはずす。

(2) カバーを上方へずらしてツメをはずし、手前に引く。



1 メニュー 決定 **を押して、「4 休止設定」を選び、表示させる。**
- 「0 日後に帰宅」が表示され、「0」が点滅します。

2 ▲ **を押す。**
- 「1 日後に帰宅」を選びます。

3 メニュー 決定 **を押して決定する。**
- 「設定されました」と音声と表示でお知らせし、「1 日後に帰宅」が表示されます。

4 湯水混合栓を湯側全開にして、貯湯ユニット内をほぼ水の状態にする。

5 お湯がぬるくなったら、湯水混合栓を閉じる。
- 貯湯ユニットの熱湯を下水に流さないための必要な操作です。

6 給水専用止水栓を閉じる。

7 おふろの排水栓を抜く。
- 8 の操作をするとふろ配管の水抜きをします。

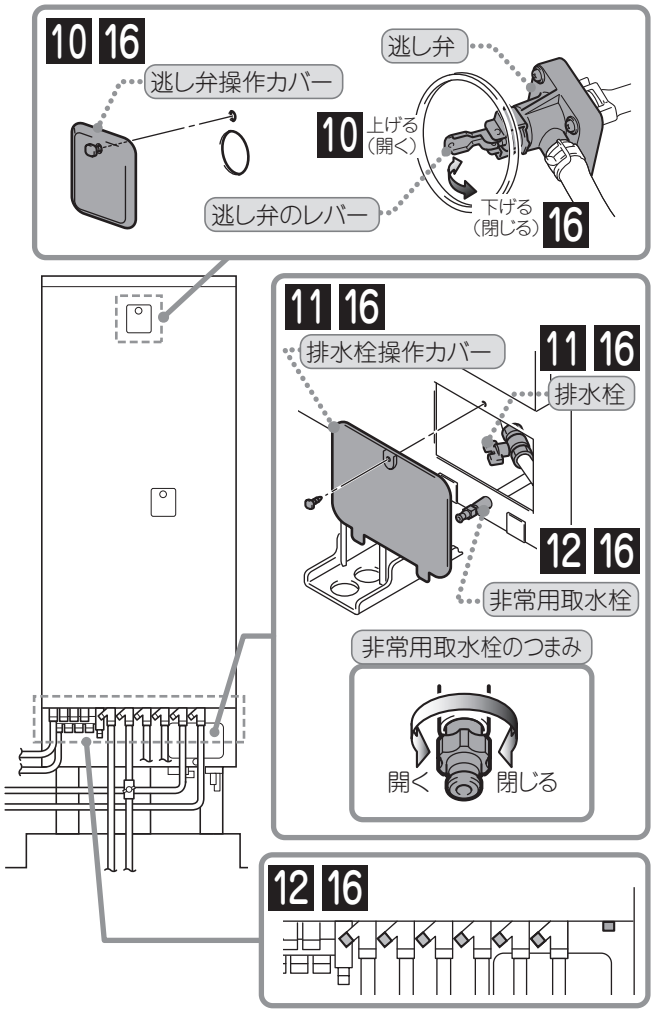
8 メニュー 決定 **と** ふろ自動 **を同時に５秒以上押す。**
- 「水抜き中」が表示されます。
  （「水抜き」をやめる場合は メニュー 決定 を押す。）

9 漏電ブレーカ操作カバーをはずし、漏電ブレーカの電源レバーを「OFF」にする。

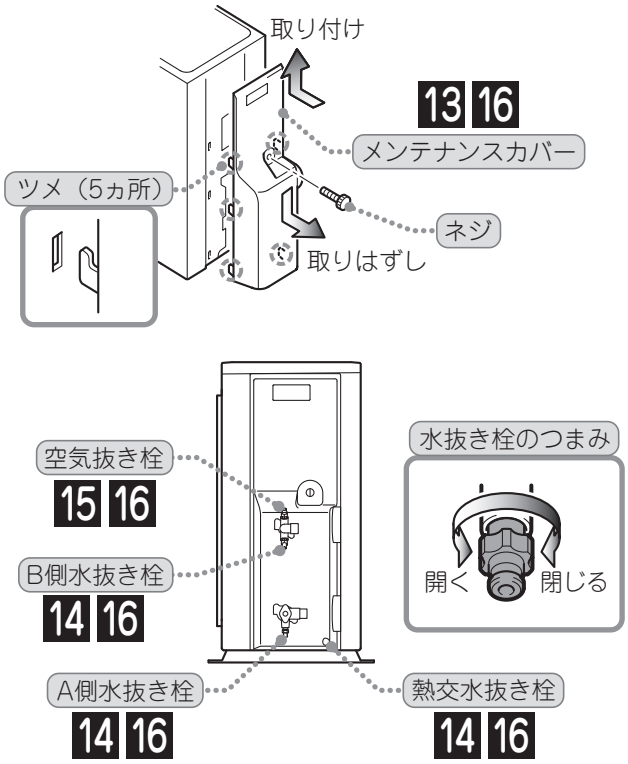
〈以下次ページに続く〉

長期間お湯を使用しないとき

■貯湯ユニット



■ヒートポンプユニット



10 逃し弁操作カバーをはずし、逃し弁のレバーを上げる。

11 排水栓操作カバーをはずし、排水栓を開く。

※ 排水が終わるまでに 30 ～ 40 分かかります。

12 排水が終わったら貯湯ユニットの水抜き栓（7 ヵ所）と非常用取水栓を開く。

（必要な場合はバケツ等で水を受けてください。）

■ヒートポンプユニット

13 ヒートポンプユニットのメンテナンスカバーを止めているネジをはずし、下へスライドさせツメ（5 ヵ所）をはずしカバーを取りはずす。

● 必要以上にスライドさせるとツメ部が破損するおそれがあります。

14 ヒートポンプユニットの熱交水抜き栓を開き、次に A 側および B 側の水抜き栓を開く。

15 ヒートポンプユニットの空気抜き栓を開き、各水抜き栓からの排水を確認する。

※ 排水が終わるまでに約 20 分かかります。

16 排水が終わったら、逃し弁のレバーを下げて、すべての栓と操作カバーおよびヒートポンプユニットのメンテナンスカバーを元どおりに戻す。

お願い

- 長期間お湯を使用しない間に、凍結のおそれがある場合で、水抜き作業が困難な場合は、お買い上げの販売店（工事店）に依頼してください。
- 冬期に長期間使用しない場合には、お買い上げの販売店（工事店）に依頼し、暖房配管から循環液を抜いてください。

※循環液に「不凍液」を使用している場合は抜く必要はありません。

次にご使用になるとき（タンクに水がないとき）――

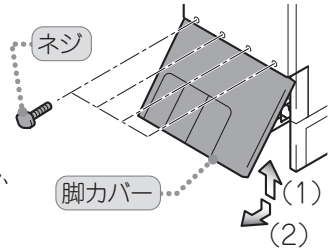
●貯湯ユニットとヒートポンプユニットを満水にし、漏電ブレーカの電源レバーを「ON」にします。また、台所リモコンで時刻を合わせ、各種設定（給湯温度、ふろ温度）をしてください。

別売品の配管カバーまたは脚カバーを装着している場合は、カバーをはずしてください。
（カバーの端面で手を切らないよう注意してください。）

【はずし方】

(1)ネジ4本をはずす。

(2)カバーを上方へずらしてツメをはずし、手前に引く。



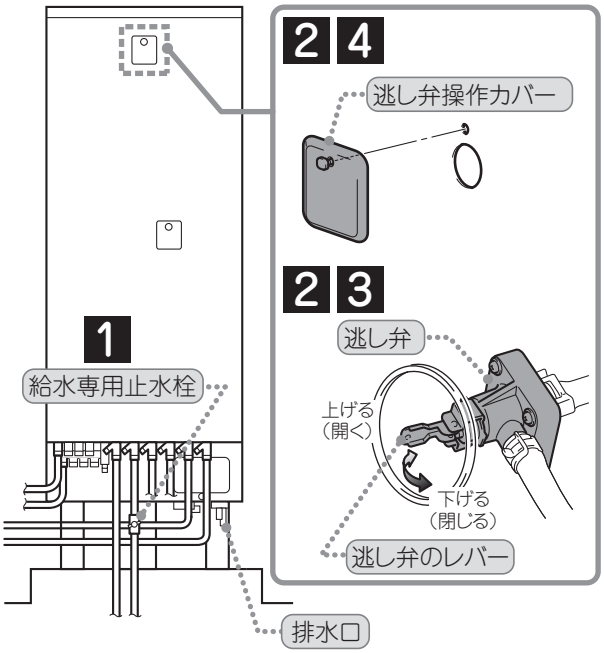
⚠ 警告

●**漏電ブレーカを操作するときは、ぬれた手でおこなわない**
感電することがあります。

⚠ 注意

●**貯湯ユニット・ヒートポンプユニットを満水にしてから電源を入れる**
満水にしないで電源を入れると故障の原因になります。

■貯湯ユニット



貯湯ユニットとヒートポンプユニットを満水にする

1 給水専用止水栓を開く。

2 逃し弁操作カバーをはずし、逃し弁のレバーを上げる。
- ●約 30 分で貯湯ユニットが満水になります。

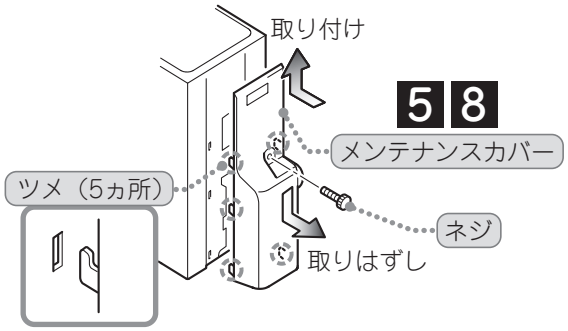
3 排水口から水が出たら逃し弁のレバーを下げる。

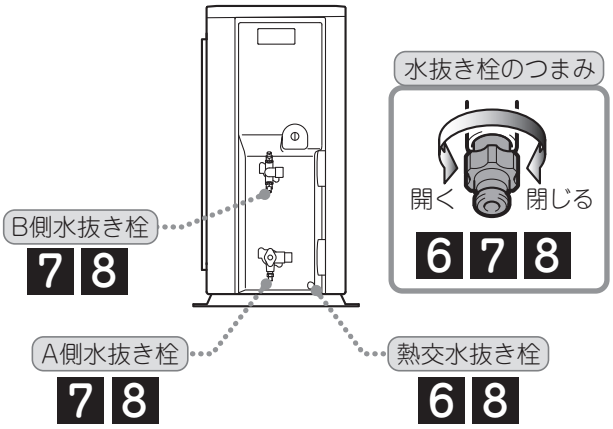
4 逃し弁操作カバーを元どおりに取り付ける。

〈以下次ページに続く〉

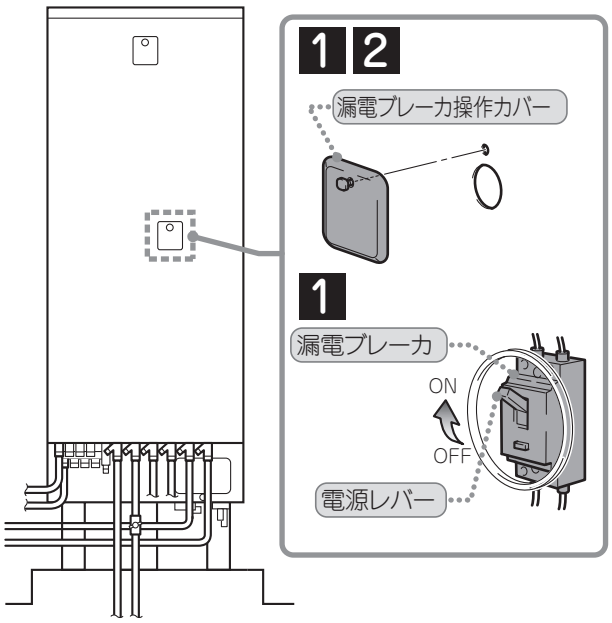
次にご使用になるとき（タンクに水がないとき）

■ヒートポンプユニット





■貯湯ユニット



5 ヒートポンプユニットのメンテナンスカバーを止めているネジをはずし、下へスライドさせツメ（5ヵ所）をはずしカバーを取りはずす。

●必要以上にスライドさせるとツメ部が破損するおそれがあります。

6 ヒートポンプユニットの熱交水抜き栓を開き、エア抜きをする。

●2分以上、十分にエアが抜けるまでおこなってください。

7 ヒートポンプユニットのA側およびB側の水抜き栓を開き、エア抜きをする。

●十分なエア抜きをおこなってください。

8 エア抜きが終わったら水抜き栓（A側、熱交、B側）を閉じ、メンテナンスカバーを元どおりに取り付ける。

電源を入れる

1 漏電ブレーカ操作カバーをはずし、漏電ブレーカの電源レバーを「ON」にする。

●ヒートポンプ配管のエア抜き運転を開始します。

「HP エア抜き中」が表示されます。

※電源を「OFF」にしていた期間が24時間以内であれば、エア抜き運転はおこないません。

●約20分でエア抜き運転が終了します。

●エア抜き運転が終了すると、ヒートポンプユニットが運転をはじめ、「湯増し」が表示されます。

2 漏電ブレーカ操作カバーを元どおりに取り付ける。

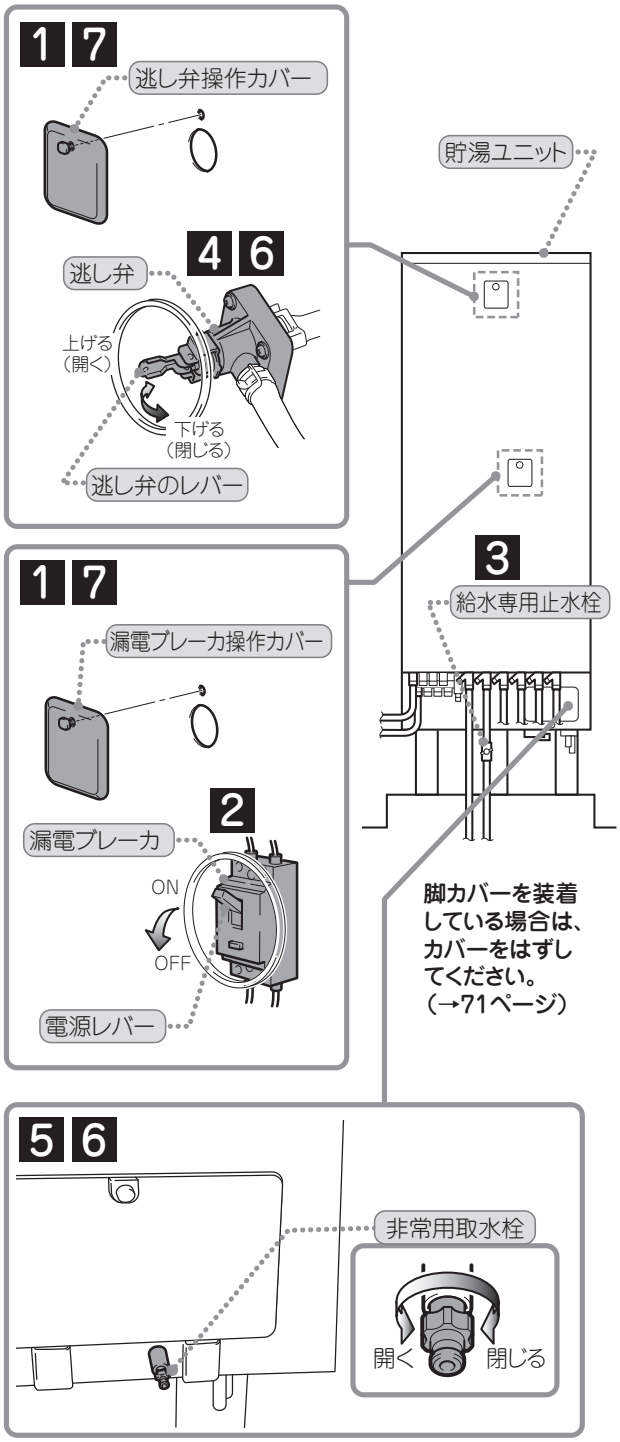
お願い

●暖房配管から循環液が抜かれている場合は、お買い上げの販売店（工事店）に依頼し、循環液を入れてください。

非常用取水栓の使い方

●地震などの災害時や断水時は、貯湯ユニットのお湯（水）を生活用水として使用してください。

■貯湯ユニット



⚠ 警告

●取水時はお湯に手を触れない
やけどをすることがあります。

●漏電ブレーカを操作するときは、ぬれた手でおこなわない
感電することがあります。

⚠ 注意

●飲用には用いないでください
貯湯ユニットに滞留していた水なので、生活用水として使用してください。

※ 準備するもの
容器（やかん、バケツなど）

1 貯湯ユニットの操作カバー（逃し弁、漏電ブレーカ）をはずす。

2 漏電ブレーカの電源レバーを「OFF」にする。

3 給水専用止水栓を閉じる。

4 逃し弁のレバーを上げる。

5 非常用取水栓を開き、容器に水を受ける。

6 取水が終わったら、非常用取水栓を閉じ、逃し弁のレバーを下げる。

7 操作カバー（逃し弁、漏電ブレーカ）を元どおりに取り付ける。

お願い

●再びご使用になるときは「次にご使用になるとき」（→ 71 ページ）の手順で作業をおこなってください。

停電したときや断水・水道工事がおこなわれるとき

停電したとき

- この給湯機は、停電してもお客様の設定した「時刻」、「運転モード」などの設定は記憶しています。ただし、24 時間以上停電が続いた場合、下記の設定がお買い上げ時の設定に戻りますので、その場合は再度設定をしなおしてください。
- 床暖房リモコンは、一度 6 時間以上通電すれば、以後停電してもタイマー設定、温度設定、ロック設定は記憶しています。
  時刻設定は停電が 10 分以上続いた場合解除されますので、再度時刻合わせをしてください。（→ 19 ページ）

停電した場合

ふろ自動運転が停止することがあります。

- 停電によってふろ自動運転が停止し浴槽の湯が冷めてしまった場合は、浴槽内の湯を全部排水してから、ふろ自動運転をおこなってください。
  停電終了後、再度ふろ自動運転をおこなってください。
- 瞬時の停電であれば、停電終了後、ふろ自動運転を再開します。

停電が 24 時間以上続いた場合

各設定がリセットされています。

- 給湯温度（→ 20、21 ページ）、ふろ温度（→ 29 ページ）がお買い上げ時の設定に戻ります。再度設定をしてください。

湯切れする場合があります。

- 「タンク湯増し」（→ 22 ページ）をおこなうか、運転モードを「満タン」に設定してください。（→ 51 ページ）

湯はりの予約（ふろ予約）が解除されています。

- 再度予約をしてください。（→ 55 ページ）

長時間の停電となる場合

- 冬期は凍結して機器が破損することがあります。貯湯ユニットとヒートポンプユニットの排水をしてください。（→ 69 ページ）

リモコンの表示が「－－：－－」で点滅している場合

時刻がリセットされています。

- 時刻合わせをしてください。（→ 18、19 ページ）

断水・水道工事がおこなわれるとき

- 断水したときや、近くで水道工事がおこなわれるときは、貯湯ユニットの給水専用止水栓を閉じてください。
- 断水・水道工事が終了したら、水道用の蛇口を開き、水の汚れがなくなったことを確認してから、貯湯ユニットの給水専用止水栓を開いてください。水の汚れがなくならないうちに開くと、にごった水が貯湯ユニット内のストレーナを目詰まりさせ、お湯の出が悪くなったり、お湯がにごる原因になります。
- 断水・水道工事中は、床暖房やお湯を使用しないでください。エラーを表示する場合があります。

定期点検（有料）

●自然冷媒 CO_2 家庭用ヒートポンプ給湯機を長くお使いいただくために、3 ～ 4 年に一度定期点検（有料）をおこなってください。

なお、給水用具（逆流防止装置）に関しては、（社）日本水道協会発行の給水用具の維持管理指針に示されている定期点検（有料）の実施をおすすめします。時期は 4 ～ 6 年に 1 回程度をおすすめします。

定期点検の主な内容

定期点検については、販売店・工事店または株式会社コロナへご相談ください。
点検の結果、部品交換が必要なものは、有料で交換します。

項　目	内　容
据付状態	設置面、配管状態、配管その他の保温処置、電気配線などの確認。
機能部品	電気部品（配線、導通、動作の確認）、弁類（逃し弁、減圧弁）などの点検。
清　掃	貯湯ユニット内の清掃。（タンク内沈澱物の除去など）

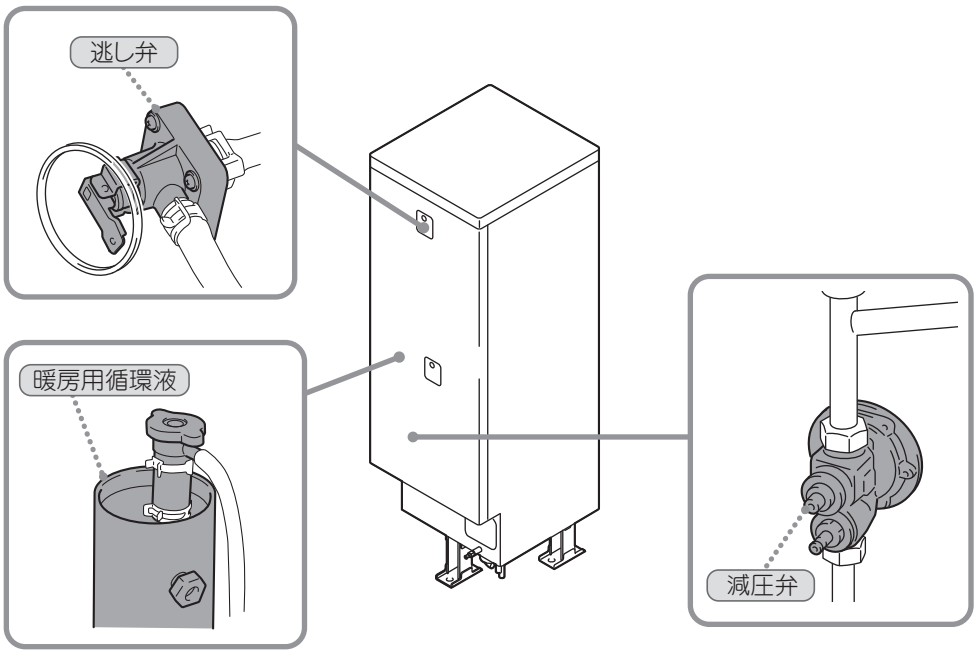
定期点検（有料）

消耗部品の交換・補充

●逃し弁、減圧弁は消耗品です。
●暖房用循環液（不凍液）は、3 年を目安に交換が必要です。
暖房用循環液（不凍液：長寿命タイプ）は、10 年を目安に交換が必要です。
防錆循環液（エコスタミナ）は、3 年を目安に補充が必要です。
交換・補充については、販売店へご相談ください。
有料で交換・補充します。

お客様がご使用の循環液は（不凍液）（不凍液（長寿命タイプ））（防錆循環液）です。

ご依頼の際は、コロナ暖房用循環液（不凍液）、コロナ暖房用循環液（不凍液：長寿命タイプ）、防錆循環液（エコスタミナ）のいずれかを指定してください。
交換・補充せずに使用された場合は凍結予防と防錆の効果がなくなり、機器や床暖房が破損するおそれがあります。
また、同時に貯湯ユニット内暖房回路のゴムホースの点検もご依頼ください。
ゴムホースは劣化により思わぬときに液漏れになるおそれがあります。



⚠注意

●循環液（不凍液）の交換
循環液（不凍液）は 3 年に 1 度、指定の循環液（不凍液）に交換してください。
交換せずに使用された場合は凍結防止と防錆の効果がなくなり、機器や床暖房が破損するおそれがあります。
交換の際は、販売店へご相談ください。

●循環液（不凍液：長寿命タイプ）の交換
循環液（不凍液）は 10 年に 1 度、指定の循環液（不凍液）に交換してください。
交換せずに使用された場合は凍結防止と防錆の効果がなくなり、機器や床暖房が破損するおそれがあります。
交換の際は、販売店へご相談ください。

●防錆循環液（エコスタミナ）の補充
防錆循環液（エコスタミナ）は 3 年に 1 度、補充してください。
補充せずに使用された場合は防錆の効果がなくなり、機器や床暖房が破損するおそれがあります。
また、凍結のおそれのある地域では使用しないでください。破損や故障の原因になります。
補充の際は、販売店へご相談ください。

お手入れと日常点検

日常のお手入れ

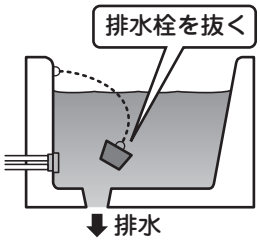
ふろ配管の洗浄（自動配管洗浄）

●おふろのお湯を排水すると、自動でふろ配管をきれいな水で洗浄します。

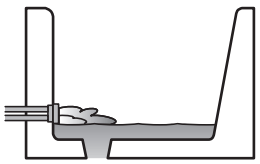
⚠ 警告

●洗浄するときは浴槽循環口から離れる
やけどをすることがあります。

1 おふろの排水栓を抜き、排水する。



■ 浴槽循環口付近まで減ると、自動でふろ配管を洗浄します。



お知らせ

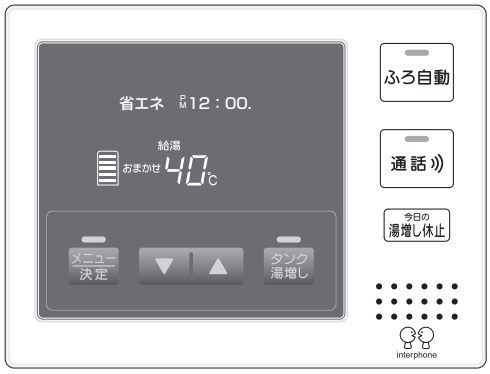
・市販または洗濯機付属のふろポンプなどで洗濯用にくみ上げて残り湯が減った場合は、機器が排水を検知できないため、自動配管洗浄が作動しない場合があります。
・洗浄剤を使ってふろ配管の洗浄をおこなうこともできます。「ふろ配管のお手入れ」（→ 80 ページ）をご覧ください。
・自動配管洗浄をおこなわないようにするには、オプション設定の「フロ自動洗浄」で「無」に設定してください。（→ 49 ページ）

お手入れと日常点検

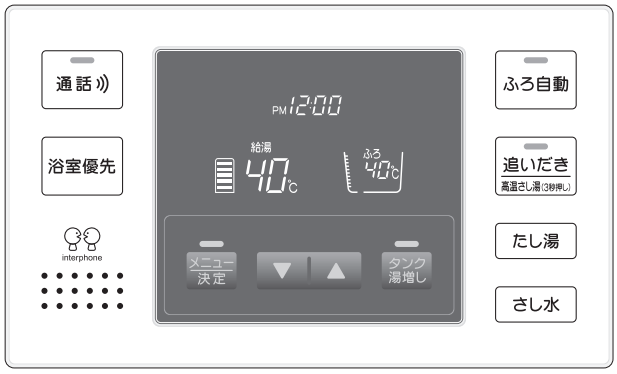
日常のお手入れ

リモコンのお手入れ

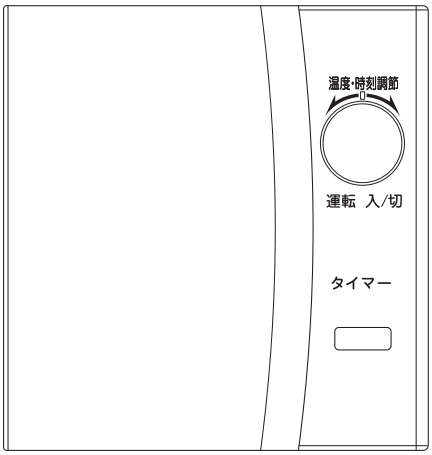
■台所リモコン



■浴室リモコン



■床暖房リモコン



■ リモコンの表面が汚れたときは、水にぬらした柔らかい布をかたく絞って、軽く拭き取る。

お願い

- リモコン内部には電気部品が入っていますので、水をかけないようにしてください。
- 洗剤およびベンジン・シンナー等は使用しないでください。

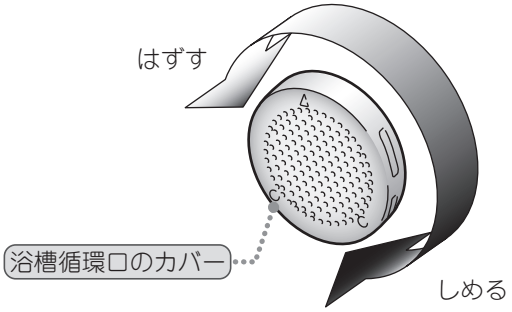
時刻の確認

● 時刻がずれている場合は、台所リモコンで時刻を合わせてください。
時刻がずれていると、電気料金が高くなる場合があります。（→ 18 ページ）

お手入れと日常点検

1 週間に 1 回程度のお手入れ

浴槽循環口のお手入れ



■ 浴槽循環口のカバーを取りはずし、歯ブラシなどでフィルター部のゴミや湯アカ等の汚れを落とす。

お願い

●取り付けがゆるいと、運転中にはずれ故障の原因になります。確実に元どおりに取り付けてください。

お知らせ

・フィルターが詰まると、ふろ自動運転のときにふろ湯量やふろ温度が設定したとおりにならないことがあります。
・浴槽循環口の形状は、メーカーによって若干異なります。

1 年に 2 ～ 3 回程度のお手入れ

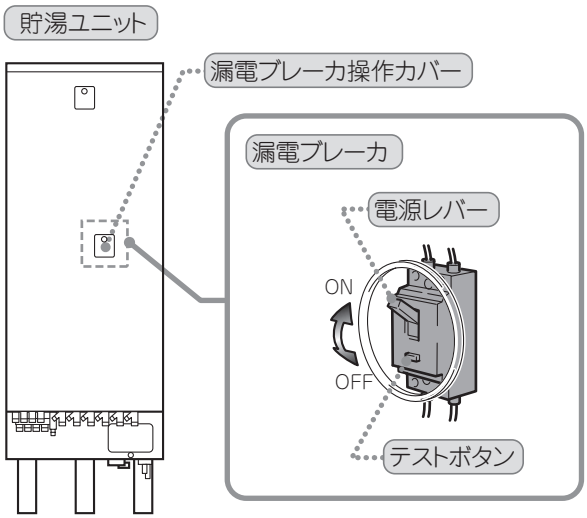
漏電ブレーカの動作確認

⚠ 警告

●**漏電ブレーカの動作を確認する**
故障のまま使用すると、感電することがあります。
●**漏電ブレーカを操作するときは、ぬれた手でおこなわない**
感電することがあります。

⚠ 注意

●**動作確認後、漏電ブレーカ操作カバーを閉じる**
開けておくと雨水やゴミが入り、漏電や感電することがあります。



1 漏電ブレーカ操作カバーをはずし、漏電ブレーカのテストボタンを押す。
●電源レバーが「ON」から「OFF」になれば正常です。

2 点検終了後、電源レバーを「ON」に戻し、操作カバーを元どおりに取り付ける。

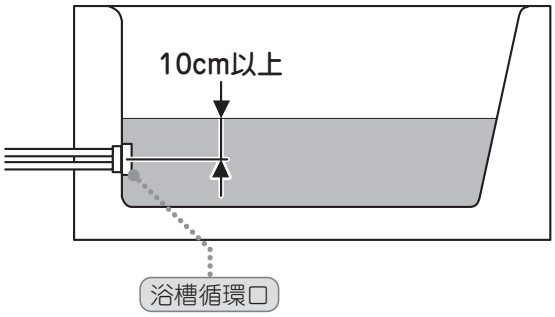
お手入れと日常点検

1年に2～3回程度のお手入れ

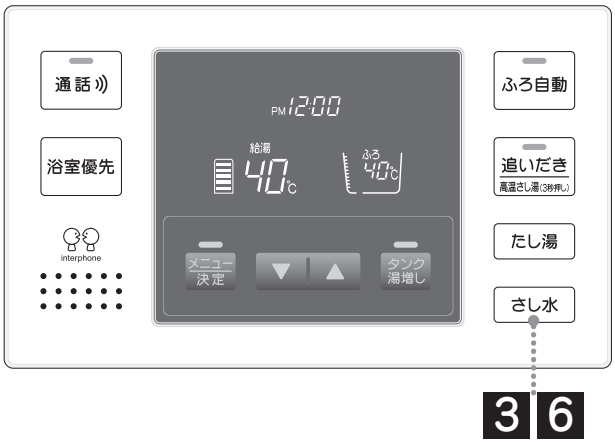
ふろ配管のお手入れ

⚠警告

●洗浄するときは浴槽循環口から離れる
やけどをすることがあります。



■浴室リモコン



■浴室リモコン表示部

お願い

●正しい手順で最後まで作業をおこなってください。
6すすぎ作業を途中でやめると、次回の湯はり時に洗浄剤のまじったお湯が出ます。

●ふろ配管からの汚れが気になるような場合は、洗浄剤を使ってふろ配管を洗浄することができます。

●洗浄剤は、株式会社コロナ製「クリーンエース」（UKB-53）をお使いください。
お求めは、お買い上げの販売店にご依頼ください。

1 入浴後、おふろのお湯を排水せずに残しておく。
●残り湯が浴槽循環口中心より10cm以上あることを確認してください。

2 おふろに洗浄剤を入れる。
●使用量などの取扱いについては、洗浄剤付属の説明書にしたがってください。

3 おふろに水があることを確認して、さし水を3秒以上押す。（洗浄）
●「配管洗浄」が点灯して、ふろ配管を洗浄します。
音声で「配管洗浄をします」とお知らせします。
●ふろ注湯表示バーが点滅します。
●配管洗浄運転では、約15Lの水を浴槽循環口から出した後、ふろ配管に水（お湯）を約15分循環させます。

4 「配管洗浄」が消灯したら、おふろの水（お湯）を排水する。

5 浴槽循環口のカバーを取りはずし、歯ブラシなどでフィルター部のゴミや湯アカ等の汚れを落とす。

6 おふろに水がないことを確認して、さし水を3秒以上押す。（すすぎ）
●「配管洗浄」が表示され、ふろ配管に水を約15L流します。
●ふろ注湯表示バーが点滅します。

7 洗浄剤のまじった水が出なくなるまで数回6を繰り返す。浴槽内の汚れはシャワー等で流し、浴槽循環口のカバーを元どおりに取り付ける。

お手入れと日常点検

1年に2～3回程度のお手入れ

逃し弁の点検

⚠警告

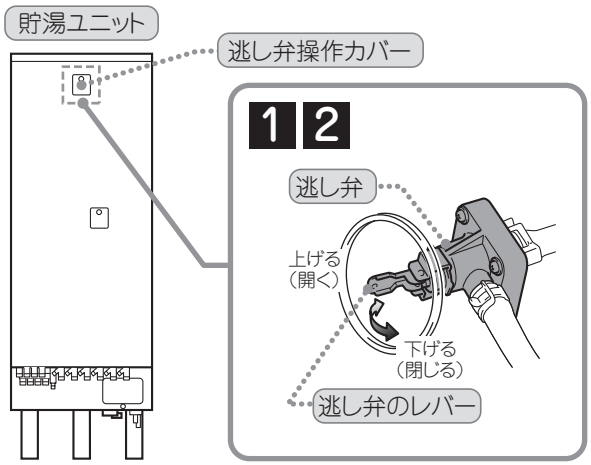
●逃し弁点検時は内部の配管に手を触れない
やけどをすることがあります。

⚠注意

●逃し弁の点検をする
正しく作動しないと貯湯ユニットや配管が破損したり、逃し弁から水漏れしたりすることがあります。

●点検後、逃し弁操作カバーを閉じる
開けたままにしておくと雨水やゴミが入り、漏電や感電することがあります。

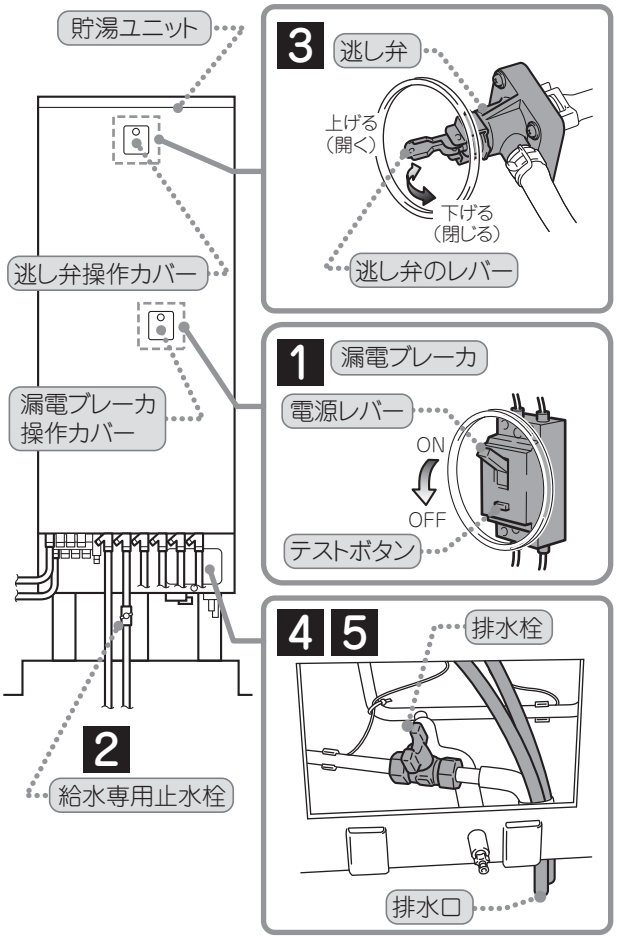
■貯湯ユニット



1 逃し弁操作カバーをはずし、逃し弁のレバーを2～3回上下に動かす。
- 上げたときのみ、排水口から水（お湯）が出れば正常です。

2 点検終了後、逃し弁のレバーを下げ、操作カバーを元どおりに取り付ける。

貯湯ユニット（タンク）のお手入れ



●貯湯ユニット（タンク）内の汚れなどを排水してください。

⚠警告

●排水時にはお湯に手を触れない
やけどをすることがあります。

●漏電ブレーカを操作するときは、ぬれた手でおこなわない
感電することがあります。

1 漏電ブレーカ操作カバーをはずし、漏電ブレーカの電源レバーを「OFF」にする。

2 給水専用止水栓を閉じる。

3 逃し弁操作カバーをはずし、逃し弁のレバーを上げる。

4 排水栓を開き、貯湯ユニット内の水を排水する。

5 1～2分間排水し、汚れがなくなったら排水栓を閉じる。

6 お手入れ完了後「次にご使用になるとき」の手順で作業をおこなう。
（→71ページ）

お手入れと日常点検

1 年に 1 回程度のお手入れ

貯湯ユニット（タンク）のお手入れ

1 貯湯ユニット内の水をすべて排水する。

●「長期間お湯を使用しないとき」（→ 69 ページ）を参照してください。

2 排水完了後、水のにごりがなくなるまで、給水・排水を繰り返す。

3 お手入れ完了後、貯湯ユニット内を満水にする。

●「次にご使用になるとき」（→ 71 ページ）を参照してください。

循環液の点検と交換・補充

●循環液（不凍液）は3年に1度の交換、循環液（不凍液:長寿命タイプ）は10年に1度の交換、防錆循環液（エコスタミナ）は 3 年に 1 度の補充が必要です。

交換・補充せずに使用された場合は凍結予防と防錆の効果がなくなり、機器や床暖房が破損するおそれがあります。

また、同時に貯湯ユニット内暖房回路のゴムホースの点検も必要です。

ゴムホースは劣化により思わぬときに液漏れになるおそれがあります。

詳しくは、「定期点検（有料）」（→ 76 ページ）を参照してください。

よくあるご質問

こんなときは故障ではありません

Q ヒートポンプユニットが運転／停止を繰り返す。

A 気温が低いときは、熱交換器の除霜のためファンの運転／停止を繰り返します。
また、ヒートポンプ配管およびヒートポンプユニット内の凍結予防のため、運転／停止を繰り返します。

Q ヒートポンプユニットが深夜時間帯に運転していない。

A 運転開始時間は、今までの使用湯量を考慮して自動制御しています。（早く沸かしすぎて冷めないように制御しています。）

Q 沸上げ運転中、ヒートポンプユニットの背面の熱交換器が霜で白くなる

A 冬期運転中は熱交換器に霜がつくことがあります。

Q 沸上げ運転中、ヒートポンプユニットの下部から水が出る。

A ヒートポンプユニットが大気から熱を吸収するときに、結露した水が出ます。
また、気温が低いときは、熱交換器の除霜のため、溶けた水が多く出ます。

Q リモコンの表示が「- - : - -」で点滅している。

A 時刻がリセットされています。「時刻を合わせる」（→18ページ）を参照して時刻を合わせてください。

Q お湯を使っていないのに、リモコンの貯湯量表示が減る。

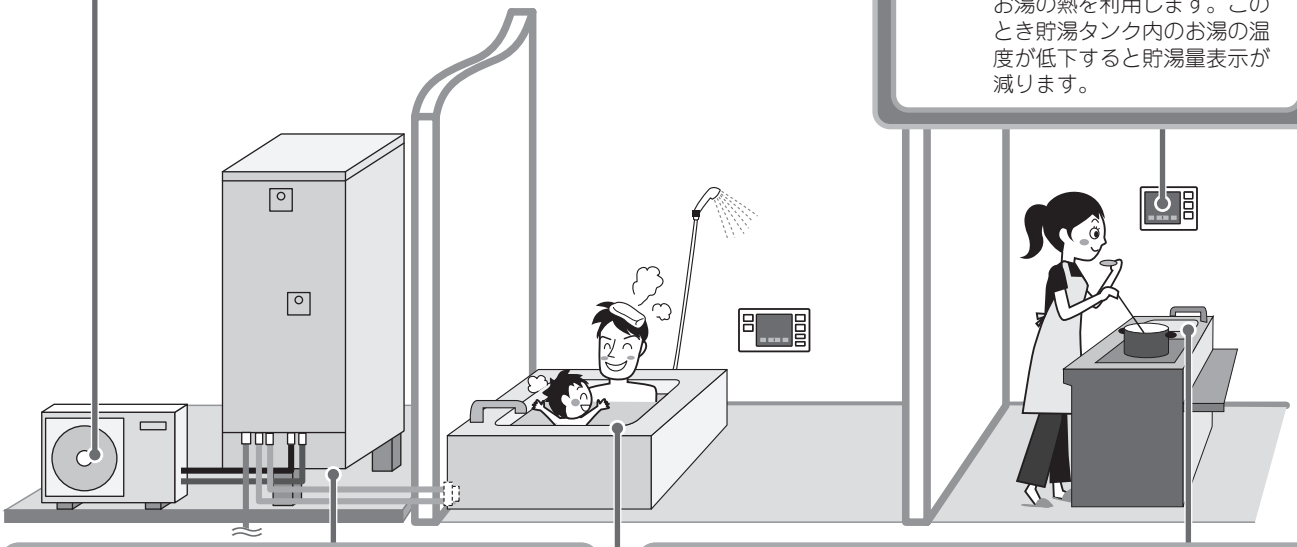
A リモコンの貯湯量表示は、貯湯タンク内の約50℃以上のお湯の量を表示しています。

例1）朝は貯湯量表示が5本なのに、帰宅すると貯湯量表示が減っている場合

答1）貯湯タンク内のお湯は自然放熱により冷めます。お湯を使わない場合でも、貯湯タンク内のお湯の温度が低下すると貯湯量表示が減ります。

例2）追いだきをすると貯湯量表示が減る場合

答2）追いだきは、貯湯タンク内のお湯の熱を利用します。このとき貯湯タンク内のお湯の温度が低下すると貯湯量表示が減ります。



Q 貯湯ユニットの排水口からお湯が出ている。

A 沸上げ運転時は、貯湯タンク内の水の温度が上昇し膨張します。この膨張分が逃し弁から排水されます。

Q お湯が出ない。

A どこの蛇口からもお湯が出なければ凍結の可能性があります。お買い上げの販売店（工事店）にご相談ください。（「冬期の凍結予防について」66、67、68ページを参照してください。）

Q 浴槽循環口からボコボコ音がする。

A 気温が低いとき、ふろ配管の凍結予防のため、おふろの残り湯をポンプで循環させます。特に残り湯がない場合または残り湯の水面が浴槽循環口付近の場合は、ボコボコ音が出ます。
（「冬期の凍結予防について」68ページを参照してください。）

Q 浴槽や洗面器具に青いすじがつく。

A 水中に含まれる銅イオンと石けんなどに含まれている脂肪酸が反応してできた青色の銅石けんが付着したものです。処置の方法は88ページを参照してください。

Q ふろ専用の洗浄剤は使えますか？

A 洗浄剤の利用は可能です。洗浄方法は「ふろ配管のお手入れ」80ページを参照してください。

Q お湯から油がでる、お湯が臭い。

A 初めて使用するときは、配管工事のときの油や臭いがお湯に混ざって出る場合がありますが、しばらくすると消えます。

Q お湯が白くにごって見える。

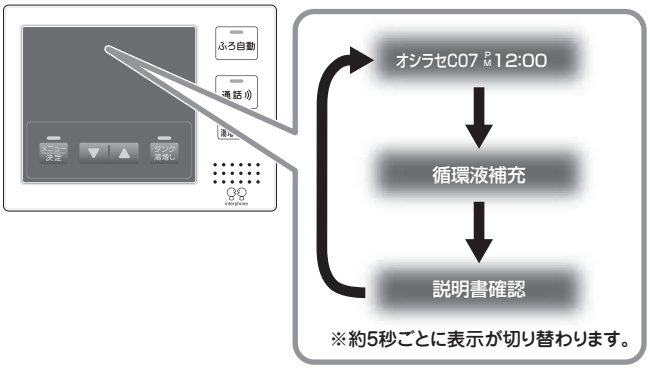
A 水に溶け込んでいた空気が、蛇口を開けたときに細かい泡となって出てくる現象です。

故障かなと思ったら

お知らせ表示（故障ではありません）

動作の異常を検知したとき、リモコンに次のように表示し、警告音が鳴って異常をお知らせします。その場合は、次の処置をしてください。（台所リモコンは約 5 秒ごとに表示が切り替わります。）

■台所リモコン



■浴室リモコン

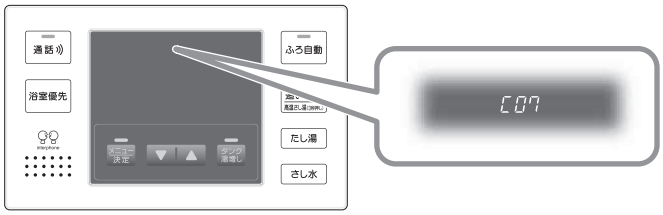


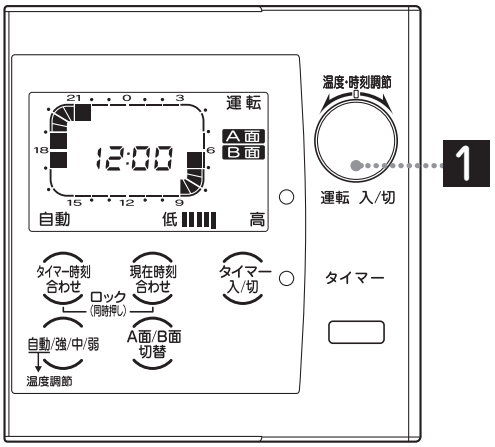
表　示	原　因	処　置
C07	暖房用循環液が少なくなったとき	お買い上げの販売店（工事店）に点検（補充）をご依頼ください。（暖房運転は継続します。）

お知らせ表示を解除するとき

1 ◯を押して、床暖房運転を止める。

● お知らせ表示が消えます。

■床暖房リモコン



暖房表示が点滅しているとき

貯湯量が足りないため、床暖房運転を一旦停止しています。

● 自動で湯増しをおこない、貯湯量が十分になると床暖房運転を再開します。

※ 休止中、今日の湯増し休止中は、自動湯増しはおこないません。休止設定を解除してください。（→ 24、58 ページ）

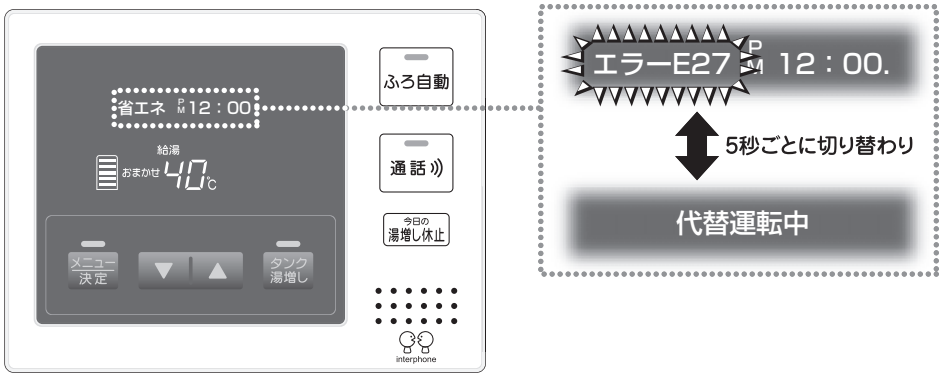
■台所リモコン表示部

故障かなと思ったら

エラー表示

機器に異常が発生したとき、リモコンに次のように表示し、警告音が鳴って異常をお知らせします。
（約５秒ごとに表示が切り替わります。）

■台所リモコン



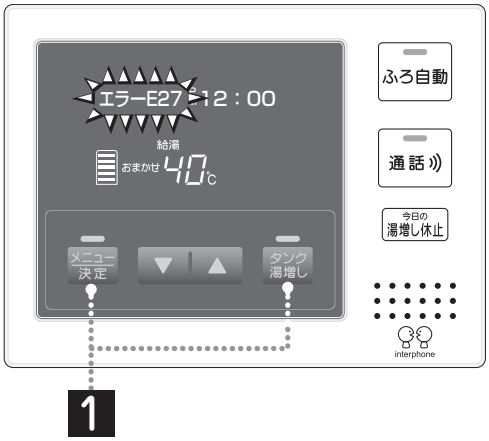
●「エラー＊＊＊ TEL ＊＊＊」や「エラー＊＊＊修理必要」と表示されたときは、機器は停止しています。
●「代替運転中」や「湯はり停止中」などと表示されたときは、機器は作動しています。

表　示	原　因	処　置
E01 ～ E52	貯湯ユニット関係の故障	エラー表示を解除して、再度運転を開始してください。再度エラーコードを表示する場合は、使用を中止してエラー表示内容を控えていただき、お買い上げの販売店（工事店）に点検・修理をご依頼ください。
H03 ～ H31	ヒートポンプユニット関係の故障	
U05 ～ U24 U51 ～ U54	暖房回路関係の故障	
E12	給湯高温異常	給湯の使用を中止して、お買い上げの販売店（工事店）までご連絡ください。
E37	別売品の漏水センサ作動	貯湯ユニットの専用止水栓（給水配管）を閉じ、お買い上げの販売店（工事店）までご連絡ください。

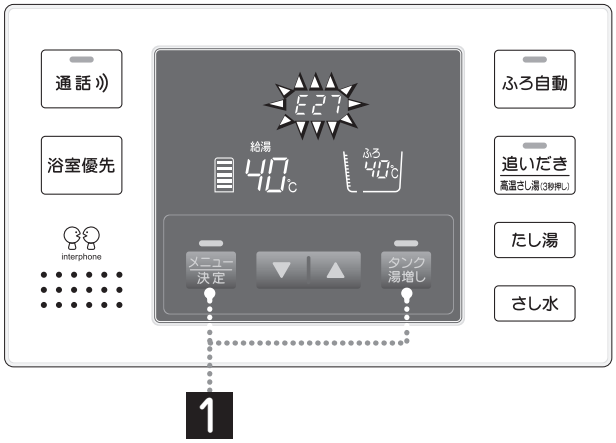
故障かなと思ったら

エラー表示を解除するとき

■台所リモコン



■浴室リモコン



1 台所リモコンまたは浴室リモコンの メニュー決定 と タンク湯増し を同時に 5 秒以上押す。

- エラー表示が消え、通常表示に戻ります。
- エラーコードを表示しない場合は、そのままご使用ください。
- 再度エラーコードを表示する場合は、使用を中止してエラー表示内容を控えていただき、お買い上げの販売店（工事店）に点検・修理をご依頼ください。
- 増設リモコンからも操作をおこなうことができます。

故障かなと思ったら

エラー表示がない場合

	症　状	調べるところ・原因	処置・説明
沸上げ	**貯湯量表示の減りが早い** ●貯湯量表示は、約 50℃以上のお湯の量を表示しています。	外泊などで 1 日以上お湯を使用していない。	貯湯タンク内のお湯の温度が低下し、早めに表示が減少することがあります。
		給水温度が低い。	貯湯タンク内のお湯と水道水を混ぜて、約 40℃で給湯します。 給水温度が低い冬は夏よりも貯湯量表示が早く減ります。
		ふろの追いだきをすると貯湯量表示が減る。	追いだき運転やふろ自動運転をおこなうと、貯湯タンクの貯湯量表示が減ることがあります。 湯増しをしてください。（→ 22 ページ）
	深夜時間帯以外に沸上げしている	お湯の使用量によっては、昼間でも湯増し運転をおこないます。 （→ 50 ページ）	その日だけ休止できる「今日の湯増し休止」スイッチを押すことにより、23 時までの湯増しを休止させることができます。（→ 24 ページ）

	症　状	調べるところ・原因	処置・説明
給湯	**お湯がぬるい** **お湯がたりない**	台所リモコンに「○日後に帰宅」が表示されている。	休止設定で、休止解除をおこなってください。 （→ 58 ページ）
		運転モードの設定が適正でない。	運転モードを変更して使用してください。 （→ 51 ページ）
		沸上げ運転時以外でも、排水口からお湯（水）がでている。	逃し弁の点検をしてください。（→ 81 ページ） 止まらない場合は、お買い上げの販売店（工事店）に点検・修理をご依頼ください。
		お湯の使用量が多いとき。 追いだきが増えたとき。	追いだき運転やふろ自動運転をおこなうと、貯湯タンクの貯湯量表示が減ることがあります。 湯増しをしてください。（→ 22 ページ）
	お湯が出ない	給水専用止水栓が閉じている。	給水専用止水栓を開いてください。
		断水している／給水圧が低い。	水道局へ問い合わせてください。
		配管が凍結している。	お買い上げの販売店（工事店）に点検・修理をご依頼ください。
	お湯の出が悪い	ガス（石油）給湯機と比べると、若干お湯の出が弱くなります。	水道の圧力を減圧して、一定の水圧に調整しています。
		湯水混合栓の種類によっては蛇口を全開にしてもお湯の出が悪い場合があります。	リモコンの給湯温度を 5 ～ 10℃高めに設定してご使用ください。（→ 20、21 ページ）
		貯湯ユニット内のストレーナにゴミがつまっている。	お買い上げの販売店（工事店）に点検・修理をご依頼ください。
	給湯温度が変更できない	リモコンに優先権がない。	浴室リモコンの浴室優先スイッチを押してから、給湯温度を変更してください。（→ 20、21 ページ）

故障かなと思ったら

エラー表示がない場合

	症　状	調べるところ・原因	処置・説明
ふろ	ふろ自動を受け付けない	貯湯量表示が （点滅）を表示している。 貯湯タンク内のお湯が少ない。	タンク湯増しをおこなって、湯量を確保してからおこなってください。（→ 22 ページ）
	ふろ自動運転が途中でとまる	貯湯タンク内のお湯が少ない。	タンク湯増しをおこなって、湯量を確保してからおこなってください。（→ 22 ページ）
		運転モードの設定が適正でない。	運転モードを変更して使用してください。（→ 51 ページ）
	浴槽循環口からボコボコ音がする	気温が低い時、ふろ配管の凍結予防運転をします。	「冬期の凍結予防について」（→ 68 ページ）を参照してください。
	ふろ保温運転をしない	ふろ保温時間が「0h」になっている	ふろ保温時間を「0h」以外に設定してください。（→ 48、62 ページ）
	ふろ保温運転が途中でとまる	貯湯タンク内のお湯が少ない。	タンク湯増しをおこなって、湯量を確保してからおこなってください。（→ 22 ページ）
	追いだきができない	貯湯量表示が （点滅）を表示している。 貯湯タンク内のお湯が少ない。	タンク湯増しをおこなって、湯量を確保してからおこなってください。（→ 22 ページ）
		浴槽循環口のフィルター部がつまっていると追いだきが早く終了します。	浴槽循環口のフィルター部を掃除してください。（→ 79 ページ）
		湯はり中、高温さし湯中、たし湯中、さし水中、配管洗浄中	湯はり等動作が完了してから使用してください。
	追いだきの時間が長い	貯湯タンク内の湯温が低いとき追いだきに時間がかかります。	高温さし湯をしてください。（→ 32 ページ）
	おふろのお湯が少ない おふろのお湯が多い	ふろ湯量の設定が適正でない。	ふろ湯量を再度設定してください。（→ 30 ページ） またはたし湯をしてください。（→ 34 ページ）
	おふろのお湯の量がいつもと違う	浴槽循環口のフィルターが汚れている。	浴槽循環口のフィルター部を掃除してください。（→ 79 ページ）
	おふろのお湯がぬるい おふろのお湯があつい	ふろ温度の設定が適正でない。	ふろ温度を再度設定してください。（→ 29 ページ） または追いだき、高温さし湯、さし水を使用してください。（→ 31、32、33 ページ）
	自動配管洗浄がはたらかない	オプション設定のフロ自動洗浄が「無」になっている。	オプション設定のフロ自動洗浄を「有」にしてください。（→ 49、61 ページ）
		浴槽の排水口にゴミ等がつまり、ゆっくり排水している。	浴槽の排水口を掃除してください。
		浴槽循環口が浴槽の高い位置に取り付けられている場合。 極端に早く排水する場合。 凍結予防運転中に排水した場合。	自動配管洗浄がはたらかないことがありますので、手動で配管洗浄をしてください。 手動で配管洗浄する方法……おふろのお湯を排水した後、［さし水］を 3 秒以上押してください。
		湯はり後の水位が浴槽循環口より 10cm 以上ない場合。	水位を浴槽循環口より 10cm 以上にするか、または手動で配管洗浄をしてください。
	浴槽や洗面器具に青いすじがつく	水中に含まれる銅イオンと、石けんなどに含まれる脂肪酸が反応してできた青色の銅石けんが付着したものです。人体に害はありません。	浴槽用洗剤をスポンジなどにつけてこすり、洗い流してください。こまめに掃除することでつきにくくなります。汚れが落ちない場合は、アルカリ系洗剤等をご使用ください。

故障かなと思ったら

エラー表示がない場合

	症　状	調べるところ・原因	処置・説明
床暖房	床暖房が温まらない	設定温度が低い。	床暖房の設定温度を高くしてください。
	床暖房の温度が高い	設定温度が高い。	床暖房の設定温度を低くしてください。
	床暖房を使用するとゴボゴボ音がする	暖房配管内にエアが混入している。	お買い上げの販売店（工事店）に点検・修理をご依頼ください。

	症　状	調べるところ・原因	処置・説明
リモコン	リモコンの表示部が点灯しない	AC200V 電源ブレーカが「OFF」になっている。	電源ブレーカを「ON」にしてください。
		漏電ブレーカの電源レバーが「OFF」になっている。	漏電ブレーカの電源レバーを「ON」にしてください。 再度「OFF」になる場合は、そのままお買い上げの販売店（工事店）に点検･修理をご依頼ください。
		停電している。	停電が終わるまで待ってください。
	リモコンの表示が消えている	自動消灯設定になっているため、表示が消えている。 節電のため、リモコンやお湯を使っていない時には消灯します。（お買い上げ時の設定は 1 分です。）	どれかスイッチを押すと表示が点灯します。 （→ 59 ページ）
	リモコンの表示が暗い	リモコンの輝度設定が「暗」になっている。	リモコンの輝度設定を「明」にしてください。 （→ 49、61、62、63、64 ページ）
	音声案内をしない 音声案内が小さい	リモコン音量が「なし」や「小」になっている。	リモコン音量を「中」「大」などに設定してください。（→ 49、61、62、63、64 ページ）
	リモコンの操作音が出ない	リモコン操作音の設定が「なし」になっている。	リモコン操作音設定を「あり」にしてください。 （→ 49、61、62、63、64 ページ）

仕様

［システム］

形式	CTF-46MK1
適用電力制度	時間帯別電灯型、季節別時間帯別電灯型（通電制御型）
相数　定格電圧　定格周波数	単相　200V　50/60Hz
最大電流	22A
沸上げ温度範囲	約65℃～約90℃
年間給湯効率（JRA）　※1	3.4
仕向地	次世代省エネルギー基準Ⅲ地域以南（※2）
設置可能最低外気温度	-10℃

［貯湯ユニット］

形式		TFT-46MK1
種類		屋外形・屋内形　兼用
タンク容量		460L
水側最高使用圧力		190kPa（減圧弁設定圧：170kPa）
外形寸法（高さ×幅×奥行）		1870mm×700mm×795mm
質量（製品質量／満水時質量）		97kg／557kg
消費電力	ふろ保温	65W：循環ポンプ
	凍結防止ヒータ	0.030kW（ただし冬期のみ作動）
	制御用	12W（リモコン消灯時7W）
貯湯機能		おまかせ省エネ・おまかせ・暖房・満タン
ふろ給湯機能		自動湯はり・自動保温・省エネ保温・自動たし湯・追いだき・たし湯・さし水・高温さし湯（追いだきスイッチ3秒押し）
基準浴槽		有効水量180L～220L（満水容積340L以下の浴槽）
暖房機能		床暖房
暖房1次ポンプ		28W
暖房2次ポンプ		83W

※1　年間給湯効率（JRA）は（社）日本冷凍空調工業会の規格であるJRA4050：2007Rに基づき、消費者の使用実態を考慮に入れた給湯効率を示すために、1年を通して、ある一定の条件※のもとにヒートポンプ給湯機を運転した時の単位消費電力量あたりの給湯熱量を表したものです。
なお値は、省エネモードである「おまかせ省エネ」で測定した値であり、実際には地域条件・運転モードの設定やご使用状況等により変わります。
※一定の条件とは、東京・大阪を平均した気象条件・給水温度で42℃のお湯を1日に約425L使用する条件等を想定したものです。
年間給湯効率（JRA）＝1年で使用する給湯に係る熱量÷1年間で必要な消費電力量

※2　次世代省エネルギー基準Ⅲ地域：主に宮城、山形、福島、栃木、新潟、長野県の一部など

仕様

［ヒートポンプユニット］

形式	CFH-6011T
外形寸法（高さ×幅×奥行）	690mm×820mm×300mm （メンテナンスカバー部　幅+80mm）
質量	58kg
中間期標準加熱能力／消費電力　※3※4	6.0kW／1.230kW
中間期標準運転電流　※4	7.0A
中間期標準エネルギー消費効率	4.9
夏期加熱能力／消費電力　※3※5	4.5kW／0.815kW
冬期高温加熱能力／消費電力　※3※6※7	6.0kW／2.000kW
ヒートポンプ運転音　※8（中間期　※4／冬期　※6）	42dB／45dB
冷媒名及び封入量	CO_2　0.875kg
設計圧力（高圧／低圧）	14.0MPa／8.5MPa

※3　沸上げ終了直前では加熱能力が低下する場合があります。

※4　作動条件：外気温（乾球温度／湿球温度）16℃／12℃、水温17℃、沸上げ温度65℃

※5　作動条件：外気温（乾球温度／湿球温度）25℃／21℃、水温24℃、沸上げ温度65℃

※6　作動条件：外気温（乾球温度／湿球温度）7℃／6℃、水温9℃、沸上げ温度90℃

※7　低外気温時は加熱能力が低下することがあります。

※8　運転音はJRA4050規格に準拠して、反響の少ない無響室で測定した数値です。実際に据え付けた状態で測定すると、周囲の騒音や反響等の影響を受け、表示数値より大きくなるのが普通です。

保証とアフターサービス

故障、修理については・・・

お買い上げの販売店、工事店または株式会社コロナにご連絡ください。

当社または当社指定の取扱販売店以外で点検、修理した場合の故障および損傷は、保証期間内でも有料修理となります。

● 工事説明書及び工事説明書別紙に記載されていない方法や指定部品を用いないで施工され、事故や故障が生じた場合は、責任を負いかねますので、必ず当社指定部品をご使用ください。

保証について

保証書は、貯湯ユニットに添付されています。「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りになり、大切に保管してください。
保証期間はお買い上げいただいた日から 2 年間です。
ただし、コンプレッサー・熱交換器は 3 年間、缶体は 5 年間です。
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造打切り後 10 年です。

次のような原因による故障および、事故につきましては、保証の対象になりませんのでご注意ください。（詳しくは保証書をお読みください。）

- 誤った使用方法による故障や事故。
- 一般家庭用以外（例えば、業務用の長時間使用、車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷。
- 水道水以外をご使用になったことに起因する不具合。（温泉水・井戸水は使用不可）
  水道水を使用しないと、故障や水漏れの原因になります。
- 凍結による故障・破損。
- 当製品の工事説明書に基づかない施工や、専門業者以外による移動・分解等に起因する故障や不具合。

修理を依頼されるとき

本書の「故障かなと思ったら」（84 ～ 89 ページ）にしたがって調べてもよくならないときは、お買い上げの販売店または 0120-917-567（365 日 24 時間受付け）の窓口にご連絡ください。
保証期間中であれば、保証書の規定に従って無料修理させていただきます。

保証期間がすぎているときは・・・

お買い上げの販売店にご相談ください。

● 修理によって使用できる製品については、お客様のご要望により有償にて修理させていただきます。

MEMO

MEMO

愛情点検	長年ご使用のエコキュートの点検を！			
	こんな症状はありませんか	●漏電ブレーカが自動的に「OFF」になる。 ●コゲくさい臭いがしたり、異常な音や振動がする。 ●熱いお湯が出続ける。 ●運転中以外に逃し弁から水が漏れる。 ●本体、配管から水が漏れる。 ●その他の異常、故障がある。	ご使用中止	故障や事故防止のため、電源ブレーカを切り、給湯機専用止水栓を閉じてから販売店、工事店または株式会社コロナに点検・修理をご依頼ください。

販売元　積水ホームテクノ株式会社

製造元　株式会社コロナ

●アフターサービスなどのお問い合わせは株式会社コロナが対応します。

積水商品受付番号　0120-917-567（365 日 24 時間受付け）

148017-8210[2011.11]
225WA3059-00